

# 「健康長寿やまなし」に関する実態調査 (追跡調査) 調査結果報告書

令和 5 年3月

山梨県 福祉保健部 健康長寿推進課



やまなし

## 目次

はじめに .....	1
1. 調査の概要 .....	2
2. 前回（2019（令和元）年度）調査結果の概要 .....	3
3. 今回調査結果概要 .....	5
4. 高齢者調査結果 .....	9
4-1. ご本人の属性に関する調査項目 .....	9
4-2. ご本人の生活に関する調査項目 .....	13
4-3. ご本人の社会参加・役割に関する調査項目 .....	22
4-4. 介護保険利用に関する調査項目 .....	26
5. 家族調査結果（家族のみの設問） .....	43
6. 圏域別結果 .....	47
7. 調査結果からの考察 .....	56
7-1. 前回（3年前）調査と今回（2022年）調査比較から見る現状 .....	56
7-1-1. 主観的健康観と認定率 .....	56
7-1-2. 家族の介護負担 .....	57
7-1-3. 外出機会・集まりへの参加意欲・日中の過ごし方 .....	59
7-1-4. 介護保険制度の周知 .....	62
7-1-5. サービス利用の特徴 .....	63
7-1-6. 社会参加・役割に関する圏域別の特徴 .....	63
7-1-7. 人間関係について .....	64
7-2. 高齢者の変化に関する分析 .....	66
7-2-1. 高齢者の変化に対する影響分析 .....	66
7-2-2. 4つの層の分析 .....	67
7-3. まとめ .....	73
7-3-1. クラスター分析による分類 .....	73
7-3-2. まとめ .....	75
7-4. 調査結果を踏まえた今後の支援のポイント .....	76
7-4-1. 外出・つながる機会づくり、メンタルケアと生きがいづくり .....	76
7-4-2. 家族介護者の負担軽減 .....	76
7-4-3. 地域包括ケアセンターの認知度向上 .....	76
7-4-4. クラスター分析からの示唆 .....	77
資料編 .....	78

## はじめに

2022（令和4）年、日本の年齢別人口において最も層の厚い団塊の世代（1947（昭和22）～1949（昭和24）年生）の方々が75歳を迎え始めました。国立社会保障・人口問題研究所の調査では、山梨県の総人口は、2025（令和7）年には、76万3千人、そのうち高齢者人口は25万7千人（高齢化率33.7%）に、2040（令和22）年には総人口64万2千人、そのうち高齢者人口は26万6千人（高齢化率41.4%）と推計され、特に、介護の必要性が高くなるといわれる85歳以上の人口は、2025（令和7）年には5万3千人、2040（令和22）年には7万2千人へ増加が見込まれています。また、健康上の問題で日常生活を制限されることなく生活できる期間である健康寿命（山梨県・2019（令和元）年）は、女性が76.74歳、男性が73.57歳と延びているものの、今後、介護を必要とする方が増えていくことが予測されます。

一方で、生産年齢人口（山梨県）は、2025（令和7）年には42万4千人、2040（令和22）年には31万2千人への減少が見込まれ、山梨県においては、高齢化が進む中、65歳以上の人口増加率よりも現役世代の人口減少率が大きくなり、若年層が高齢層を支えてきた“ピラミッド型”から、いわゆる“肩車型”への変化が進み始めています。

さらに、2020（令和2）年1月に国内初の「新型コロナウイルス感染症」患者が確認されて以降、社会・経済活動は大きく制約され、様々な対策が講じられてきたものの、今なお感染症との闘いが続いています。

こうした厳しい状況下で、私たちの生活は大きな変化を強いられ、高齢者の通いの場や介護現場においても大きな制約を受けてきました。

2019（令和元）年度、県では、県内にお住まいの高齢者の状況を明らかにし、市町村や県の施策の改善や充実・強化につなげるため、県内の高齢者を対象にアンケート調査を実施しました。

調査結果からは、本県の介護認定率が比較的低い主な理由として、高齢者の主観的健康観の高さや家族や周囲のサポートが影響していることが見えてきました。

令和元年度の調査から3年の月日が経過し、その間には、新型コロナウイルスをはじめとして、様々な社会環境の変化がありました。

そこで、本県の高齢者の心身の状況や生活の状況等について改めて確認のうえ、可視化し、市町村や県の施策の改善や充実・強化につなげるため、令和元年度の調査にご協力いただいた方々を対象に、2022（令和4）年度、調査を実施しました。

## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

2019(令和元)年度に実施した調査に協力いただいた高齢者のその後の心身の状況や生活状況を調査することにより、本県の高齢者の状況等を明らかにし、県の施策の改善や充実・強化につなげる。

また、その結果を市町村と共有し、地域の実情に合わせた効果的な取組の推進を支援する。

併せて、令和5年度に策定する「第9期介護保険事業(支援)計画」の基礎資料とする。

### (2) 調査対象及び調査方法

調査年	2022(令和4)年調査		2019(令和元)年調査	
	高齢者	家族	高齢者	家族
調査対象者	2,445 人※		4500 人※	
調査方法	郵送によるアンケート調査		郵送によるアンケート調査	
調査期間	2022.9.12～9.30		2019.10.3～10.18	
回収数 (回収率)	1,627 通 (66.5%)	1,150 通 (-)	2,632 通 (58.5%)	2,112 通 (-)

※家族(同居別居を問わず)については、高齢者宅に郵送し、家族がいた場合に回答を依頼

### (3) その他

※ 本報告書中の記号について

n・・・回答者数(number)。「n=100」は、回答者数が100人を表す。

※ 複数回答の場合は合計値が100%にならない場合がある。

※ アンケート結果の数値は小数点第2位を四捨五入しており、単一回答であっても合計が100%にならない場合がある。

## 2. 前回（2019（令和元）年度）調査結果の概要

### （1）調査目的

山梨県の介護保険の特徴の要因について調査を実施し、結果をもとに今後取り組むべき施策の方向性について検討を行う。結果は市町村と共有し、県及び市町村の「介護保険事業（支援）計画」策定のための基礎資料とする。

### （2）調査内容

- 統計等データ分析：山梨県の高齢者及び介護保険事業に関するデータ収集及び分析を実施
- ヒアリング調査：地域包括支援センター、介護支援専門員等を対象にヒアリング調査を実施
- アンケート調査：山梨県内の高齢者を対象にアンケート調査を実施

調査対象者	高齢者	家族	介護支援専門員	地域包括支援センター	一般
	4,500 人 * 家族（同居別居を問わず）については、 高齢者宅に郵送し、家族がいた場合に回答を依頼		500 人	38 カ所	① 県民公開講座参加者 （420 人） ② 青年会議所会員 （200 人）
調査方法	郵送		郵送	メール	① 会場配布 ② 配布
有効回収数(回収率)	2,632 通(58.5%)	2,112 通(—%)	293 通(58.6%)	38 通(100%)	388 通(62.6%)

### （3）調査結果

#### 認定率の特徴

- ① 高齢化率は全国平均より高いものの認定率は低い。
- ② 高齢者独居世帯率が全国平均よりも高いものの認定率は低い。
- ③ 全国平均より新規認定の年齢が高く、要介護度が重度である。
- ④ 更新認定で重度化する傾向がみられる。

#### <分析結果>

- ◆ 主観的健康観の高さが認定率の低さと関連している。
- ◆ 身近な親族等のサポートが介護保険を早期に利用しないことと関連している。
- ◆ 新規認定及び更新認定の重度化の要因は「認知症状」。
- ◆ 「本人の意欲」の高低も重度化に影響。生きがいや役割をもつこと、社会参加の有無に影響されることが推測される。
- ◆ 高齢者、介護者とも「世間体を気にする」「他人の世話になりたくないという気持ち」「費用負担の懸念」により介護保険の利用を控えているわけではない。
- ◆ 制度等の周知不足が認定率の低さの要因とまでは言えないものの、制度がよくわからない、説明して欲しいとの声も多い。

### サービス利用の特徴

⑤ 訪問介護の利用が少なく、通所介護、短期入所生活介護の利用が多い。

#### <分析結果>

- ◆ 介護支援専門員や地域包括支援センターの職員は、「高齢者が日中一人で過ごすことを親族等が避けるためデイサービスやショートステイを利用する」と回答している。一方、家族は「高齢者が様々な人と交流できる機会としてデイサービスを利用する」としている。
- ◆ 他人が自宅に入ることの抵抗感は、訪問介護の利用が少ないことの要因ではない。

### 本県の特徴

上記の調査結果から、山梨県の認定率が低いことの要因としては、

- ・ 高齢者自身の「自分は健康」「まだまだ介護のお世話にはならない」という気持ち
  - ・ 家族や周囲からのサポート
- の影響が関係していることが示唆された。

### 3. 今回調査結果概要

#### ポイント

- コロナ禍で、「デイサービス(△3.8%)」、「ショートステイ(短期入所サービス)(△6.1%)」などの利用を控えていた傾向。
- コロナ禍以前と比べて、「外出回数」が減少。「以前は楽にできたことが今ではおっくうに感じる」、「わけもなく疲れた感じがする」方が増加。
- 「地域活動(△2.4%)」や「無尽(△5.2%)」など社会参加の機会が減少。
- 近所づきあいは、「困ったときは助け合える近所の人」が減少(△2.2%)。「挨拶するくらいの関係」が増加(+4.1%)。
- 友人づきあいは、「困ったときは助け合える友人(△0.3%)」、「友人はいるが困ったときに頼るほどではない(△0.9%)」が微減。「友人と付き合いはない」が微増(+1.8%)。
- 高齢者家族による高齢者の日常生活の支援等の頻度は、「ほぼ毎日(+1.7%)」、「週2～3回(+1.9%)」が増加。
- 家族以外の協力者は「いる」が減少(△2.8%)。「いない」が増加(+3.4%)。
- 高齢者の家族の負担は、「やや負担である」が増加(+5.2%)。
- 今後の家族による支援は、「できると思う」が減少(△3.7%)。「わからない」が増加(+4.4%)。

#### 高齢者調査

基本的に一番回答の多い項目、次に回答の多い項目を記載。( )は前回結果との比較。前回結果から変化が大きい項目に下線を表示。

##### ◇ ご本人に関する基本的調査項目

- 家族構成:「夫婦2人暮らし」41.0%(+0.7%)、「子(子世帯)と同居」29.1%(+0.1%) (問 5)
- 頼りにする親族の有無:「いる」94.9%(+2.0%)、「いない」3.6%(△0.8%) (問 7)
- 頼りにする親族の住居と自宅との距離:「片道 30 分未満(同居含む)」78.5%(△0.2%) (問 7-1)
- 主な移動手段:「自分で運転する車」62.1%(+3.4%)、「家族が運転する車」36.1%(△1.2%) (問 8)
- 主観的な健康感:「よい」(「まあよい」を含む)48.9%(+2.8%)、「ふつう」36.3%(+0.5%) (問 9)
- 日常生活への影響:「日常生活動作」41.3%(△7.6%) (問 10-1)
- 座っている時間:「3 時間以上 8 時間未満」51.1%(+5.0%)、「3 時間未満」37.1%(△3.2%) (問 11)
- 歩いたり立ったりする時間:「1 時間以上 3 時間未満」33.1%(+3.0%) (問 11)
- 医療機関の受診:「月1回程度」41.9%(△3.2%)、「2 か月に1回程度」33.4%(+8.4%) (問 12)
  - 受診理由:「関節の損傷や心臓の病気」24.1%(問 12-1)

### 3. 今回調査結果概要

- 日常生活の助け:「受けていない」59.4%(+8.6%) (問 15)
- 日常生活の助け:ほぼ毎日の内容は同居の親族では「食事の準備・後始末」64.4%  
別居の親族では、「入浴」、「排泄」、「食事の準備・後始末」、「食事介助」、「家事」などの“ほぼ毎日”  
の割合が増加。コロナ禍で介護サービスが使用できない場合に、別居の親族が介護していることが  
想定される。(問 15-1)

#### ◇ ご本人の社会参加・役割に関する調査項目

- 社会参加・役割(現在):「家事」42.8%(+3.2%)、「収入を伴う仕事」26.1%(△1.1%)、無  
尽に参加 17.7%(△5.2%) (問 16)
- 社会参加・役割(今後):「家事」20.3%(+3.0%)、「特になし」15.4%(△1.1%) (問 16)
- 参加したい集まり:「何もしたくない」15.3%(+3.8%) (問 19)
- 生きがい:「十分感じている」37.1%(△0.9%)、「多少感じている」47.1%(+7.6%) (問 20)
- 生きがいを感じる時:「友人や知人と食事、雑談している時」48.8%(△1.1%)、「旅行に行  
っている時」30.5%(△6.1%)、「孫の面倒をみている時」18.8%(△3.9%)、無尽 15.8%(△  
3.4%) (問 20-1)

#### ◇ 本人の介護保険利用に関する調査項目

- 地域包括支援センターについて:「知っている」57.0%(+4.9%) (問 21)
- 要介護認定:「受けていない」87.5%(+5.1%)、「受けている」11.1%(△2.0%) (問 22)
- 介護が必要になった際希望する暮らし方:「高齢者施設」14.9%(+3.9%)、「(問 22-3)
- 現在認定を受けていない人が今後希望するサービス:「デイサービス」49.1%(△5.0%)、  
「訪問介護」46.9%(△3.3%)、「ショートステイ」17.3%(△3.4%) (問 22-4)
- 要介護度:「要支援2」(+2.7%)、「要介護2」17.2%(△5.8%)「要介護4」6.1%(△4.9%) (問  
22-5)
- 要介護認定をすすめた人:「医師や医療機関」18.3%(△7.0%)、「市役所や役場の職員」  
18.3%(+3.8%) (問 22-6)
- 要介護認定の相談のきっかけ:「体の衰えを感じた」47.2%(+5.0%)、「入浴が大変になっ  
た」24.4%(+3.8%)、「日中一人で過ごすのが不安になった」9.4%(△3.1%) (問 22-7)
- 現在利用している介護サービス:「特別養護老人ホームなど施設入所」12.8%(△4.6%)  
(問 22-8)
- 訪問看護を利用しない理由:「必要がないから」38.9%(+8.4%)、「家族がデイサービスを勧  
めるから」19.1%(+4.3%) (問 22-9)
- コロナ禍以前と比べた現在の状況
  - 『増えた』(「とても増えた」と「やや増えた」の合計)項目
    - 「以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる」(38.8%)、「わけもなく  
疲れた感じがする」(29.1%)、「転倒に対する不安」(27.7%)、「固いものが食べに  
くい」(25.1%)
  - 『減った』(「とても減った」と「やや減った」の合計)項目
    - 「コロナ禍以前と比べた外出の回数」(55.0%)、「友人の家を訪ねる」(33.0%)



## 家族調査

基本的に一番回答の多い項目、次に回答の多い項目を記載。( )は前回結果との比較。  
前回結果から変化が大きい項目に下線を表示。

### ◇ 回答家族に関する基本的調査項目

- 続柄:「配偶者(妻・夫)」61.0%( $\Delta$ 0.6%)、「同居の子どもや子どもの配偶者(嫁・婿)」22.0%(+1.5%) (問3)
- 日常生活への影響:「日常生活動作」46.5%( $\Delta$ 6.4%) (問5)
- 病気時や介護時の希望に関する話:「ないが、今後話したい」55.2%(+0.7%)、「ある」36.3%( $\Delta$ 0.7%) (問6)
- 意思尊重に関する意向:「尊重したい」84.9%(+0.4%)、「尊重したいが難しい」13.9%( $\Delta$ 0.7%) (問6-1)

### ◇ あて名の方の介護保険利用に関する調査項目

- 要介護認定を受けない理由:「あて名の方の生活に家族や親族の助けがある」18.3%(+3.6%) (問8-1)
- 介護が必要になった際希望する暮らし方:「高齢者施設」19.2%(+4.8%) (問8-3)
- 現在認定を受けていない人が今後希望するサービス:「デイサービス」65.6%( $\Delta$ 1.2%)、「訪問介護」56.8%(+1.0%)、「特別養護老人ホームなど施設入所」29.2%(+5.3%) (問8-4)
- 要介護度:「要介護2」( $\Delta$ 8.1%)、「要介護4」6.0%( $\Delta$ 6.2%)、「要支援1」12.0%(+5.0%) (問8-5)
- 要介護認定をすすめた人:「医師や医療機関」18.6%( $\Delta$ 7.9%)、「市役所や役場の職員」12.6%( $\Delta$ 3.3%)、「あなた以外の親族(当人と同居)」8.2%(+3.0%) (問8-6)
- 要介護認定の相談のきっかけ:「身体の衰えを感じた」41.5%(+3.4%)、「家事をするのが大変になった」29.0%( $\Delta$ 6.1%)、「入浴が大変になった」25.7%( $\Delta$ 5.1%)、「送迎が必要になった」12.0%( $\Delta$ 3.9%)、「服薬が心配になった」1.6%( $\Delta$ 3.6%) (問8-7)
- 利用しているサービス:「デイサービス」42.1%( $\Delta$ 7.0%)、「特別養護老人ホームなど施設入所」15.8%( $\Delta$ 2.5%)
- 訪問看護を利用しない理由:「必要がないから」44.1%(+9.1%)、「家族としてはいろいろな人会えるデイサービス(通所介護)を勧めたいから」23.4%( $\Delta$ 3.8%) (問8-9)
- 日常生活への支援や介護:「いいえ」47.7%( $\Delta$ 5.3%) (問9)
- あなた以外の支援や介護:「いいえ」34.4%(+3.4%) (問9-1)
- 支援や介護についてどう感じているか:「あまり負担はない」30.2%( $\Delta$ 3.0%)、「やや負担である」27.9%(+5.2%) (問9-3)
- 介護の負担:「食事の準備・後始末」33.3%(+3.1%)、「外出の送迎や付き添い」27.9%(+5.0%)、「自分自身の健康問題」27.9%( $\pm$ 0%)、「認知症状(もの忘れ、理解力の低下、徘徊、暴言等)への対応」24.3%( $\Delta$ 9.2%)、「入浴」22.5%(+5.2%)、「先が見通せないこと」18.0%( $\Delta$ 6.0%)、「費用負担」6.3%( $\Delta$ 7.7%)、「要介護者との人間関係」2.7%( $\Delta$ 6.2%)、「ごみ出し」2.7%( $\Delta$ 3.4%) (問9-4)
- 支援や介護による家族の生活への影響:「影響はない」37.3%(+0.3%)、「自分自身の趣味や楽しみをやめたり回数をへらしたりした」30.2%( $\Delta$ 6.1%) (問9-5)
- 支援や介護を継続できるか:「できると思う」46.4%( $\Delta$ 3.7%)、「わからない」17.2%(+4.4%) (問9-6)

#### 高齢者本人と家族のギャップ

調査では高齢者(当事者)と家族に類似の質問を行っており、回答の傾向から高齢者(当事者)と家族の認識の相違について分析を行った。

##### ■ 健康に対する認識

問 9、10(家族は問 4、5)では現在の健康状態、健康上の問題からの日常生活への影響についての質問。現在の健康状態では、高齢者は「よい」と「まあよい」を足した『良い』が48.9%、「あまりよくない」、「よくない」を足した『良くない』が13.6%であるのに対し、家族はそれぞれ『良い』43.7%、『良くない』17.6%となっている。

健康上の問題が“ある”と回答した高齢者が24.7%であるのに対し、家族は28.3%。高齢者と家族で健康上の認識に差が見られた。

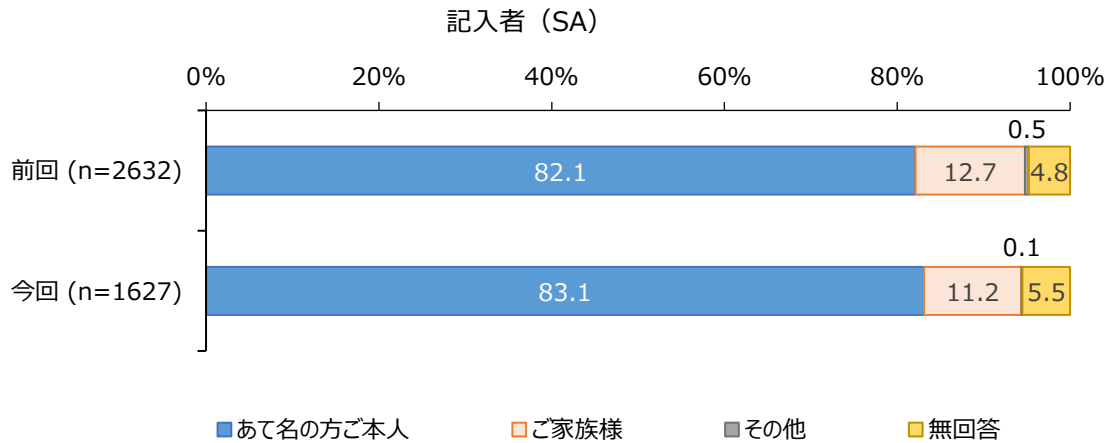
##### ■ 要介護認定の相談または申請と地域包括センターの認知度

問 22-2(家族は問 8-2)では介護サービスが必要になった際、要介護認定の相談(家族のみ)または申請を行うかについて聞いた質問。高齢者は77.0%が「する」、18.1%が「分からない」と回答しているのに対し、家族は88.9%が「する」、9.0%が「分からない」と回答しており、家族の方が積極的に要介護認定を検討している傾向が見られた。また、問 21(家族は問 7)では、地域包括センターの認知度が高齢者57.0%に対し、家族は62.2%と認知度に差が見られた。

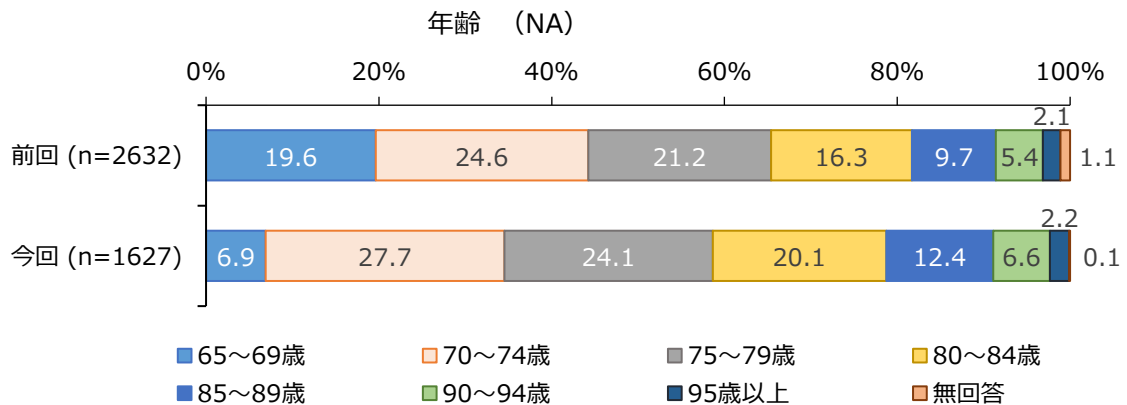
## 4. 高齢者調査結果

### 4-1. ご本人の属性に関する調査項目

問 0: ご記入されているのはどなたですか。(1つに○) / 高齢者

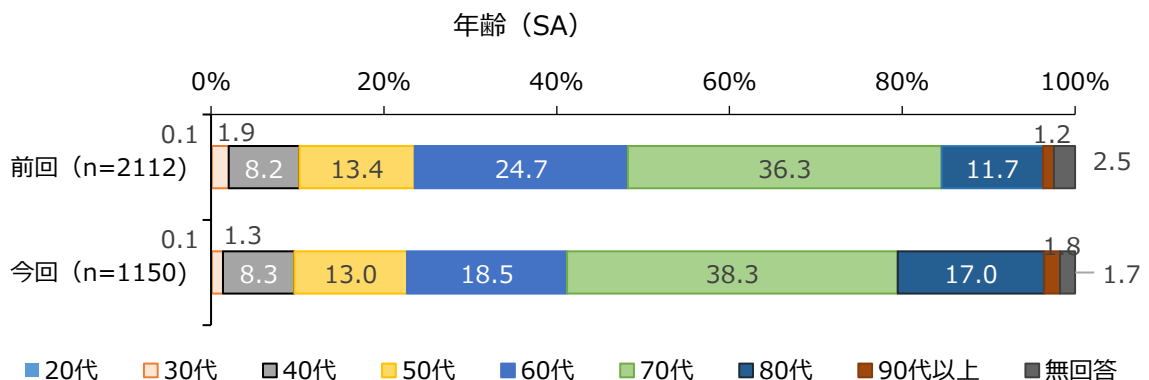


問 1: あなたの年齢をご記入ください。(数字でご記入ください) / 高齢者



※アンケート記入日の年齢

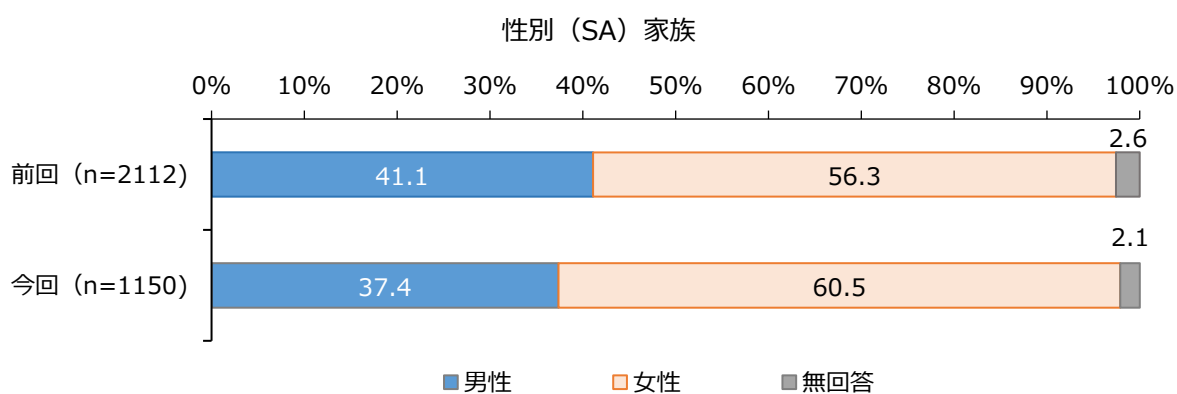
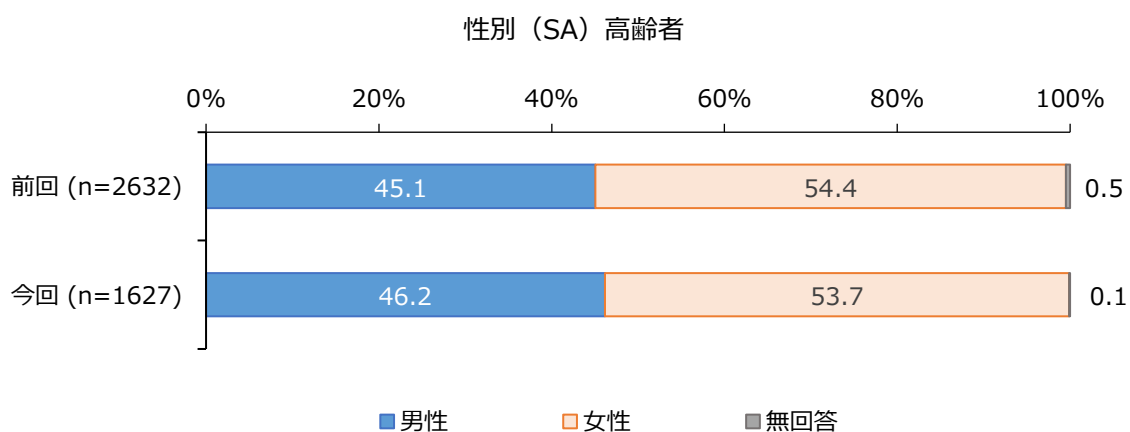
問 1: あなたの年齢をお答えください。(1つに○) / 家族



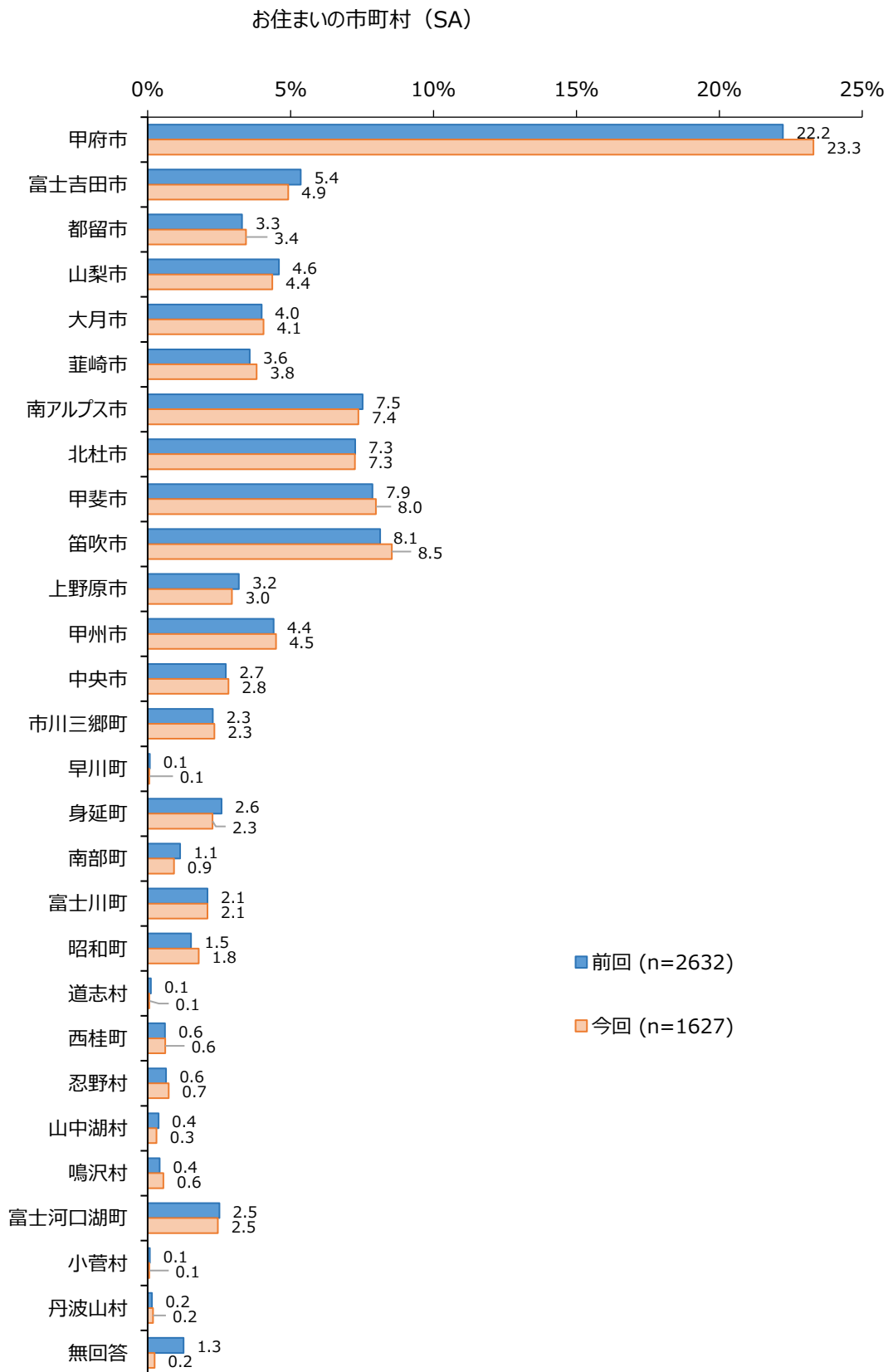
#### 4. 高齢者調査結果

問 2: あなたの性別をお答えください。(1つに○) / 高齢者

問 2: あなたの性別をお答えください。(1つに○) / 家族

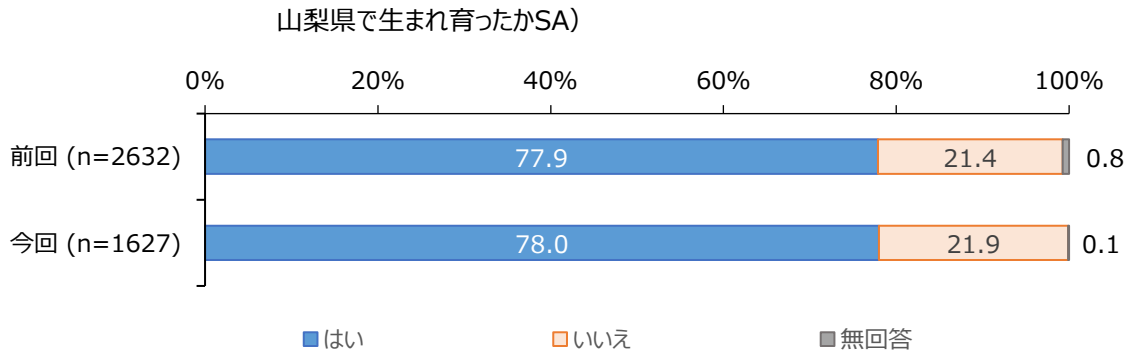


## 問 3: あなたのお住まいの市町村をご記入ください。(市町村名をご記入ください)／高齢者

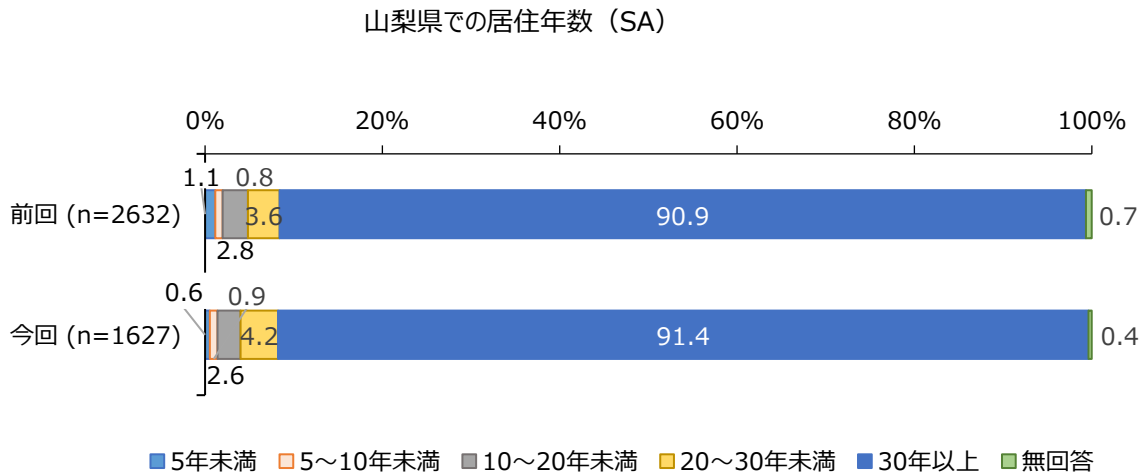


#### 4. 高齢者調査結果

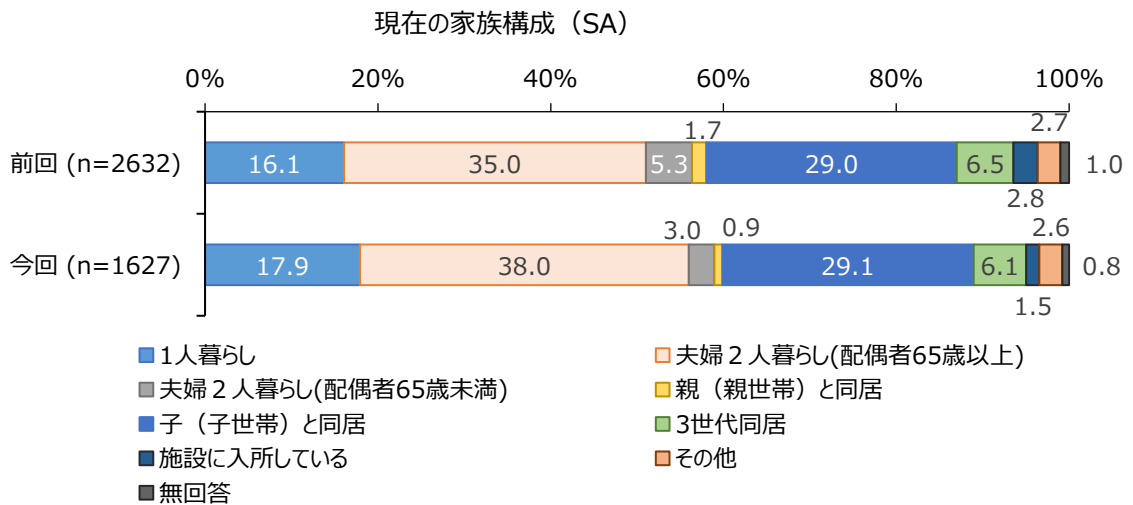
##### 問 4: あなたは山梨県で生まれ育ちましたか。(1つに○) / 高齢者



##### 問 4-1: あなたの山梨県での居住年数をお答えください。(1つに○) / 高齢者



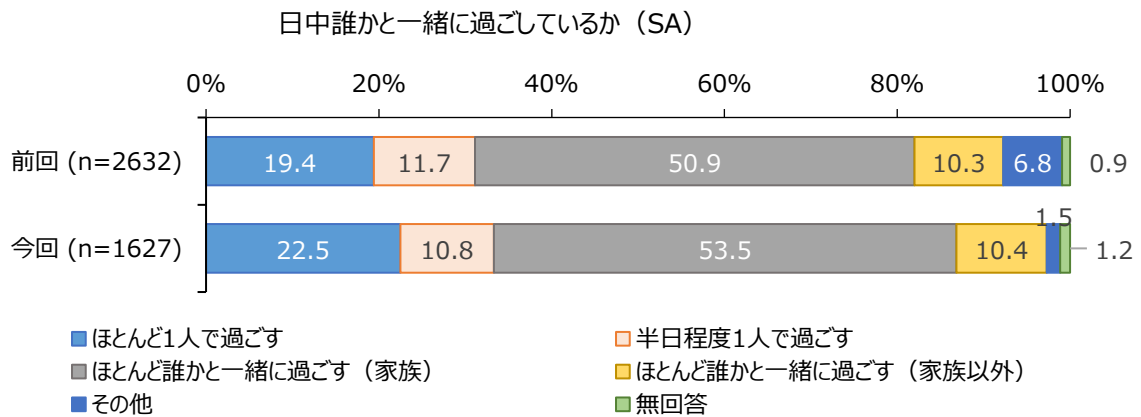
##### 問 5: あなたの現在の家族構成をお答えください。(1つに○) / 高齢者



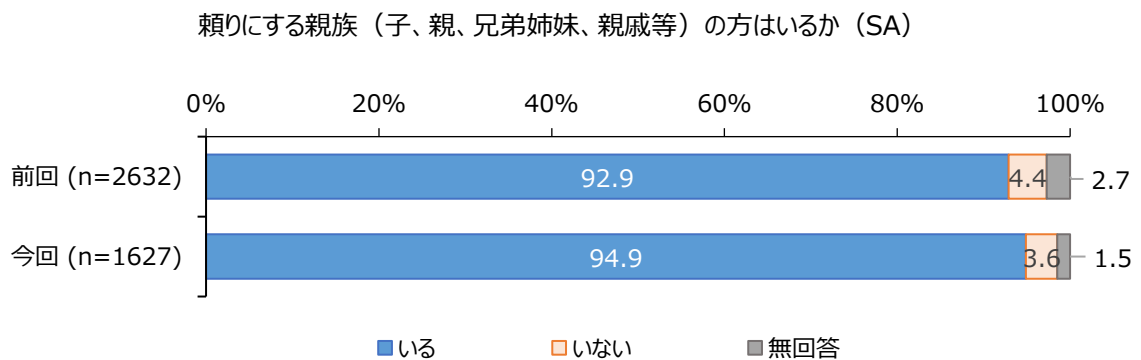
※同居には同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含めます。

## 4-2. ご本人の生活に関する調査項目

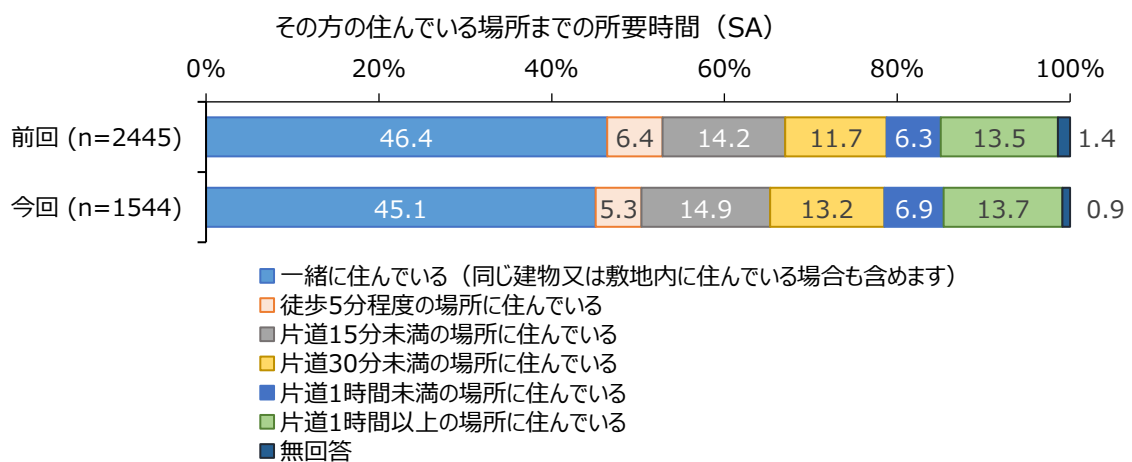
問 6: あなたは日中誰かと一緒に過ごしていますか。(主なもの1つに○) / 高齢者



問 7: あなたが頼りにする親族(子、親、兄弟姉妹、親戚等)の方はいますか。(1つに○) / 高齢者



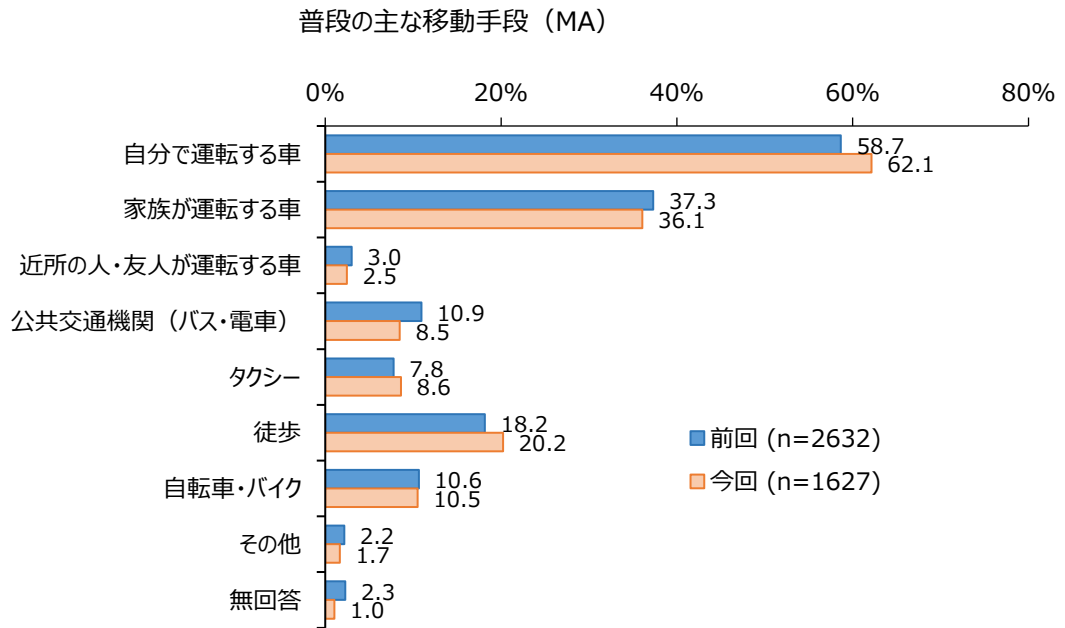
問 7-1: その方の住んでいる場所までの所要時間をお答えください。(1つに○) / 高齢者



※普段行き来している交通手段(徒歩も含む)によるものとする。乗り換え時間等も所要時間を含む  
 ※複数人いる場合は、最も頼りにしている方1人について回答  
 ※問7で頼りにする親族が「いる」と回答した方

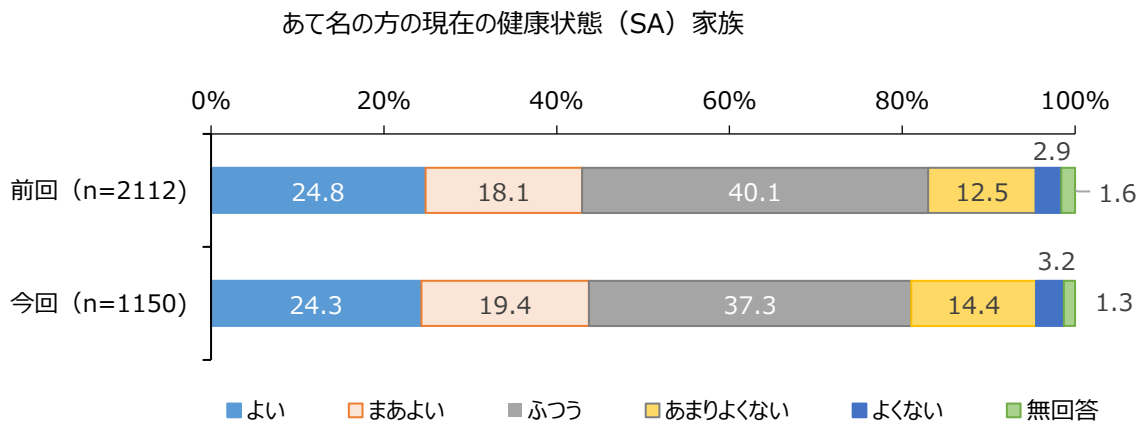
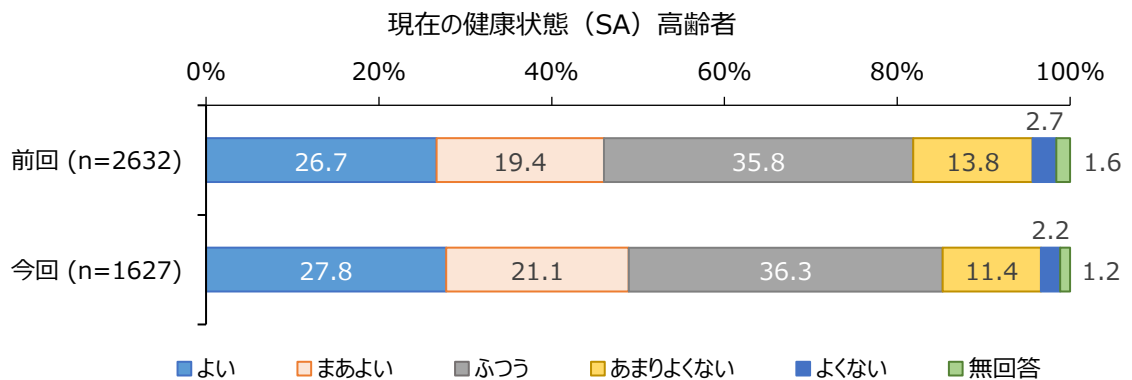
4. 高齢者調査結果

問 8: あなたが普段利用している主な移動手段をお答えください。(3つまで○)／高齢者



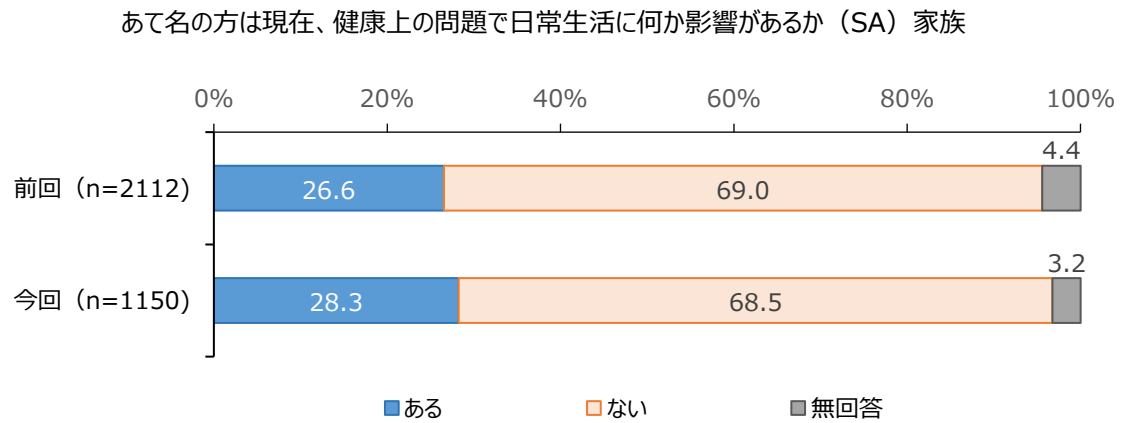
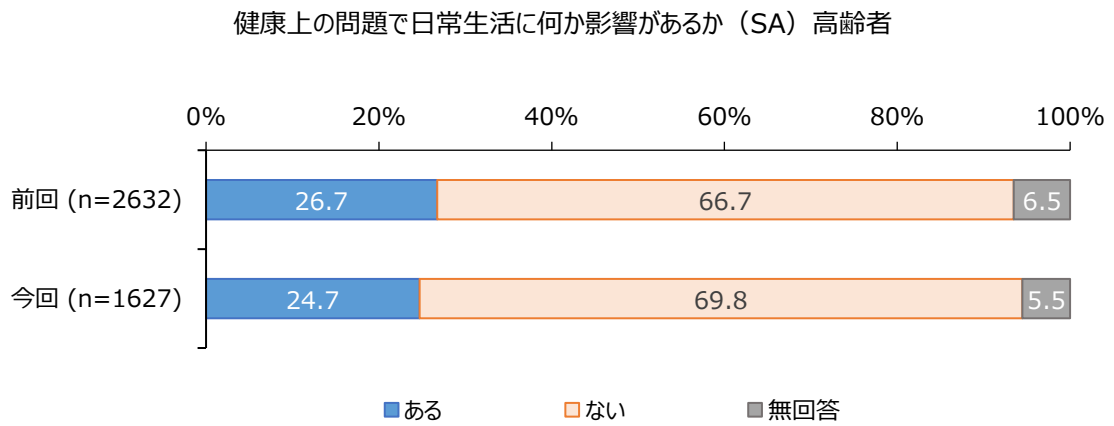
問 9: あなたの現在の健康状態はいかがですか。(1つに○)／高齢者

問 4: あなたからみて、現在のあて名の方の健康状態はいかがですか。(1つに○)／家族





問 10: あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(1つに○)／高齢者  
 問 5: あなたからみて、あて名の方は現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(1つに○)／家族

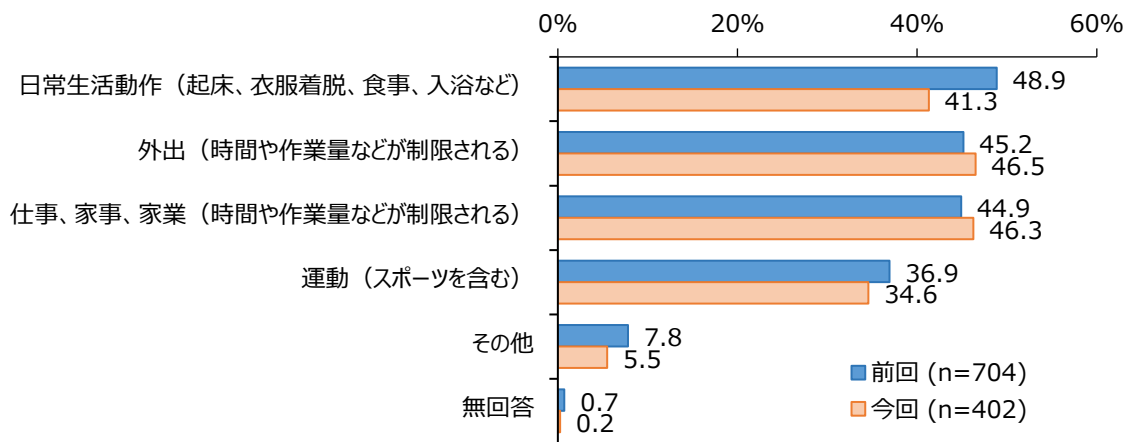


#### 4. 高齢者調査結果

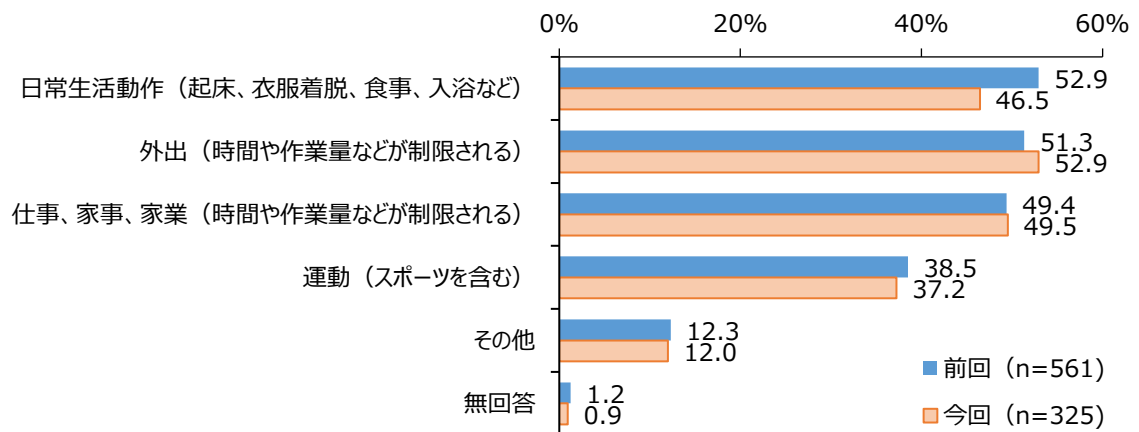
問 10-1:それはどのようなことに影響がありますか。(〇はいつでも)／高齢者

問 5-1:それはどのようなことに影響がありますか。(〇はいつでも)／家族

どのようなことに影響があるか (MA) 高齢者

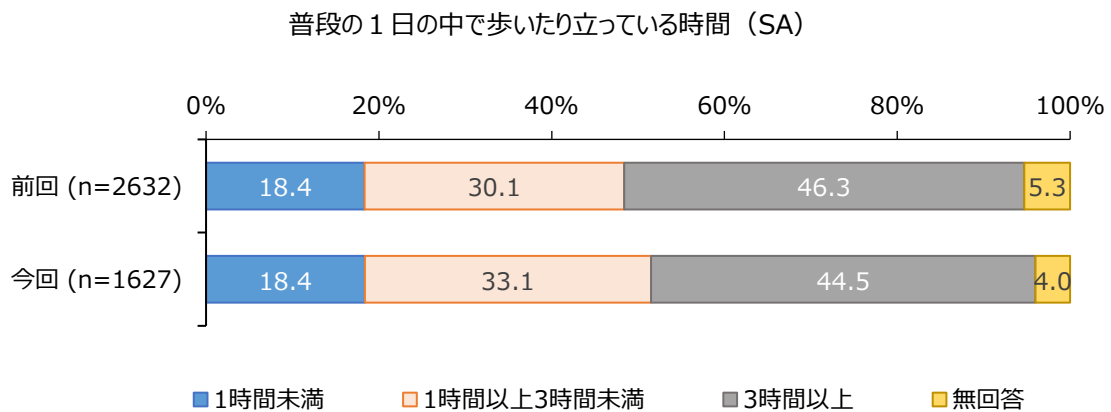
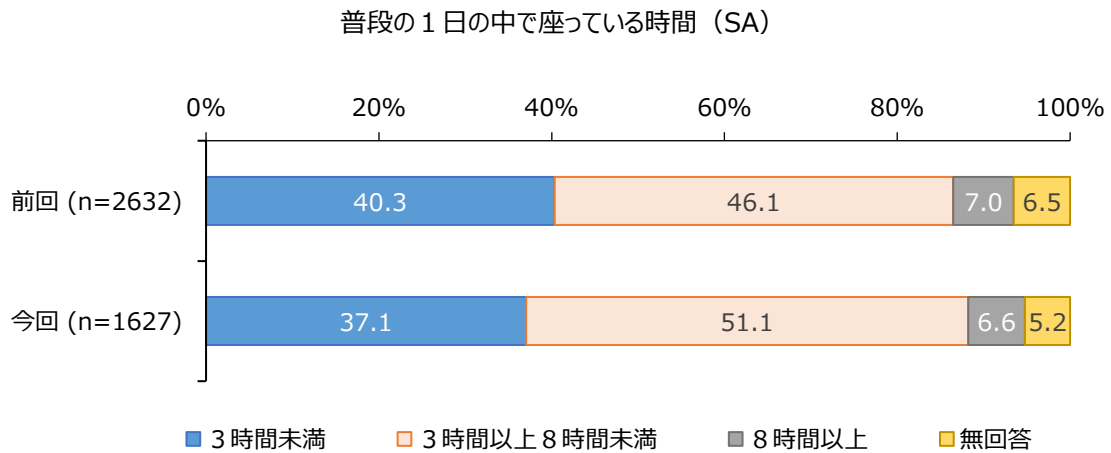


どのようなことに影響があるか (MA) 家族

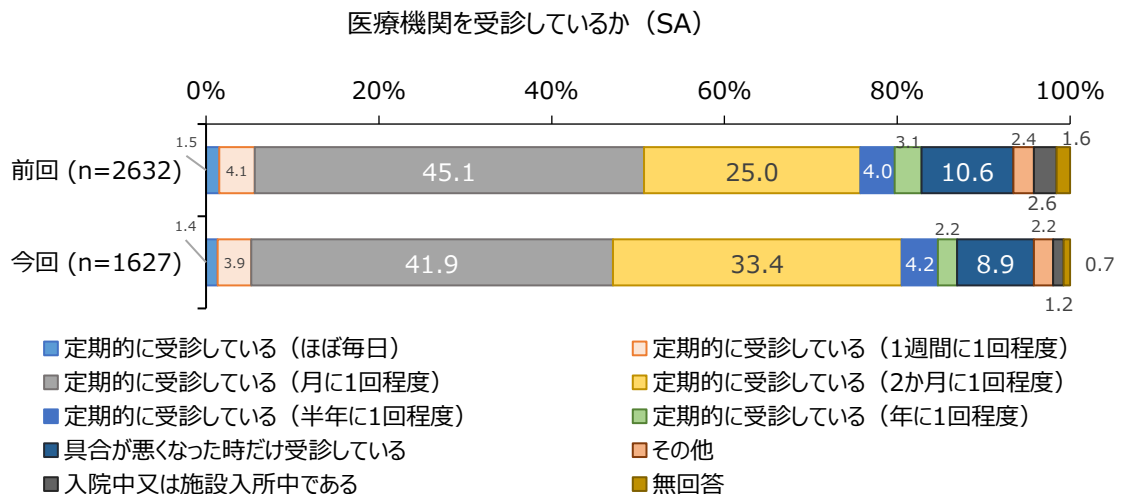


※問 10(高齢者)、問 5(家族)で日常生活に影響が「ある」と回答した方

問 11: あなたの普段の1日(仕事、家事、移動(通勤))の中で、次の時間はそれぞれどれくらいですか。(それぞれ1つに○)／高齢者

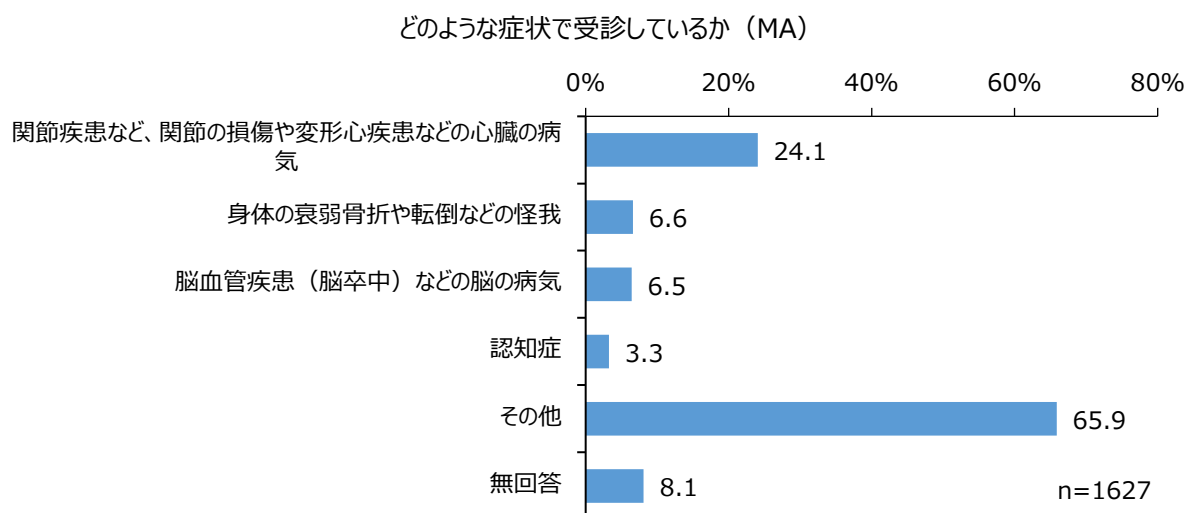


問 12: あなたは医療機関を受診していますか。(1つに○)／高齢者



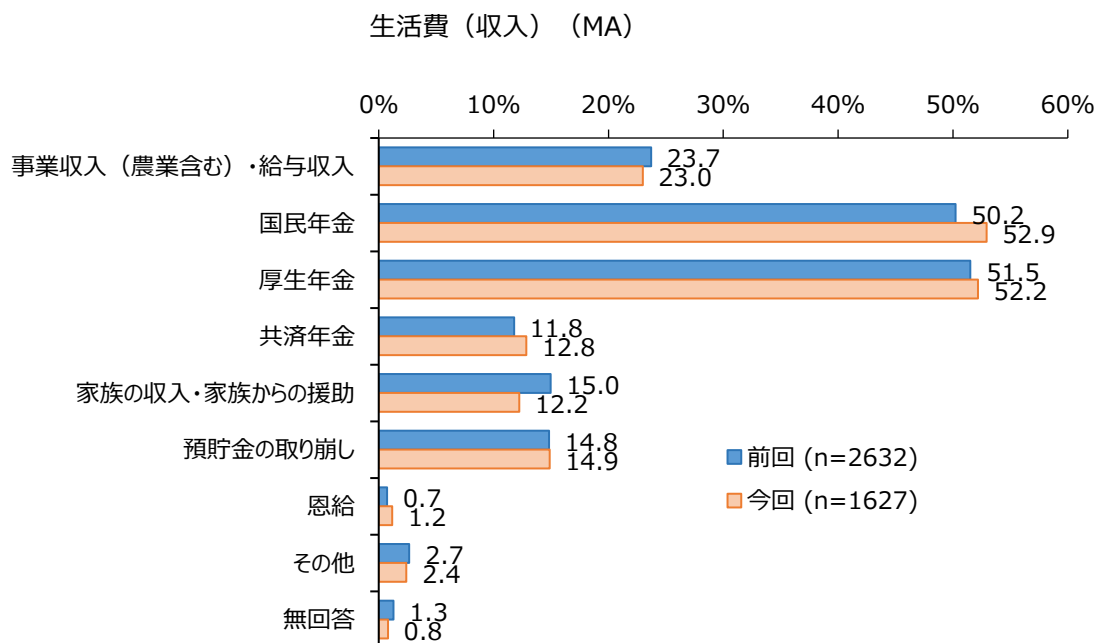
#### 4. 高齢者調査結果

問 12-1: どのような症状で受診していますか。(〇はいくつでも) / 高齢者



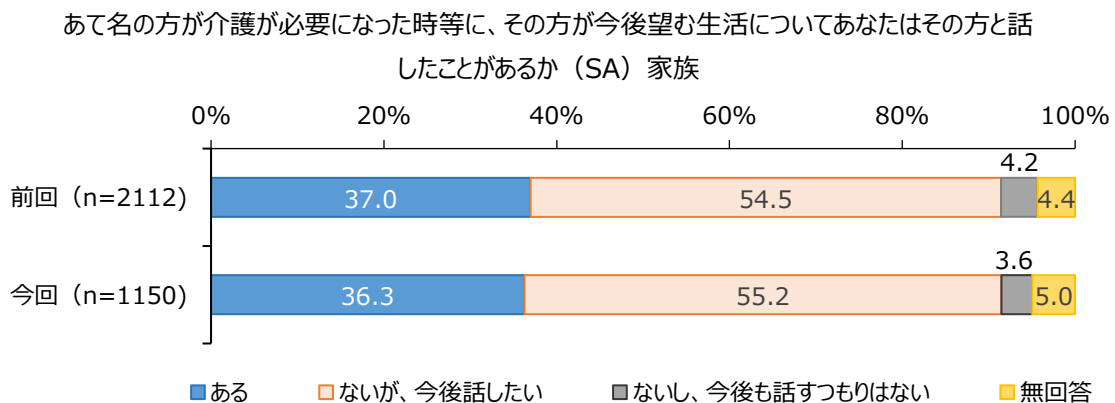
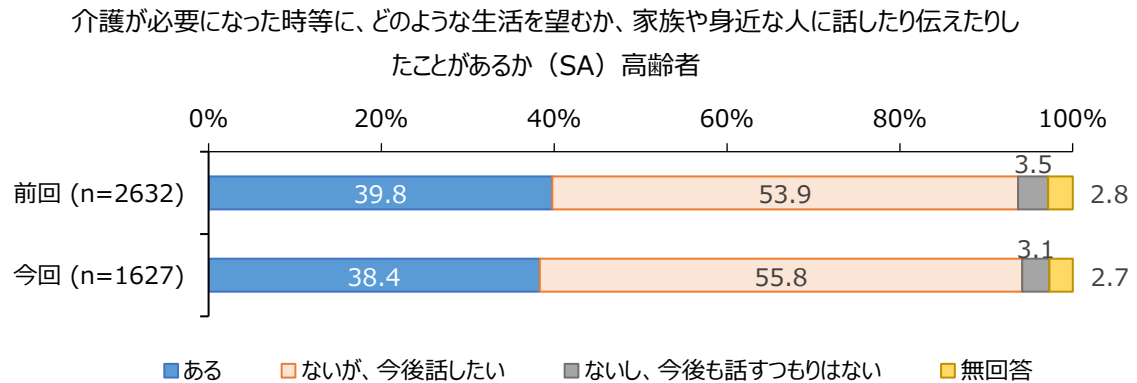
その他（上位）	n
血圧	218
受診していない	76
糖尿病	67

問 13: あなたの生活費(収入)についてお答えください。(〇はいくつでも) / 高齢者



問 14: あなたが今後、病気になった時や介護が必要になった時にどのような生活を望むか、家族や身近な人に話したり伝えたりしたことがありますか。(1つに○)／高齢者

問 6: あて名の方が病気になった時や介護が必要になった時、あて名の方が今後望む生活について、あなたはあて名の方と話をしたことがありますか。(1つに○)／家族



問 14-1: その理由をお答え下さい。(自由記入)／高齢者

主な意見 (★: 特に多い意見)

(自身の状態)

- ★まだ考えたことがない。 ★必要になったら考える。
- ・自分のことは自分です。

(家族関係)

- ・家族が遠方にいる。
- ・家族に心配・迷惑をかけたくない。
- ・身内がいない。
- ・家族の世話になりたくない。

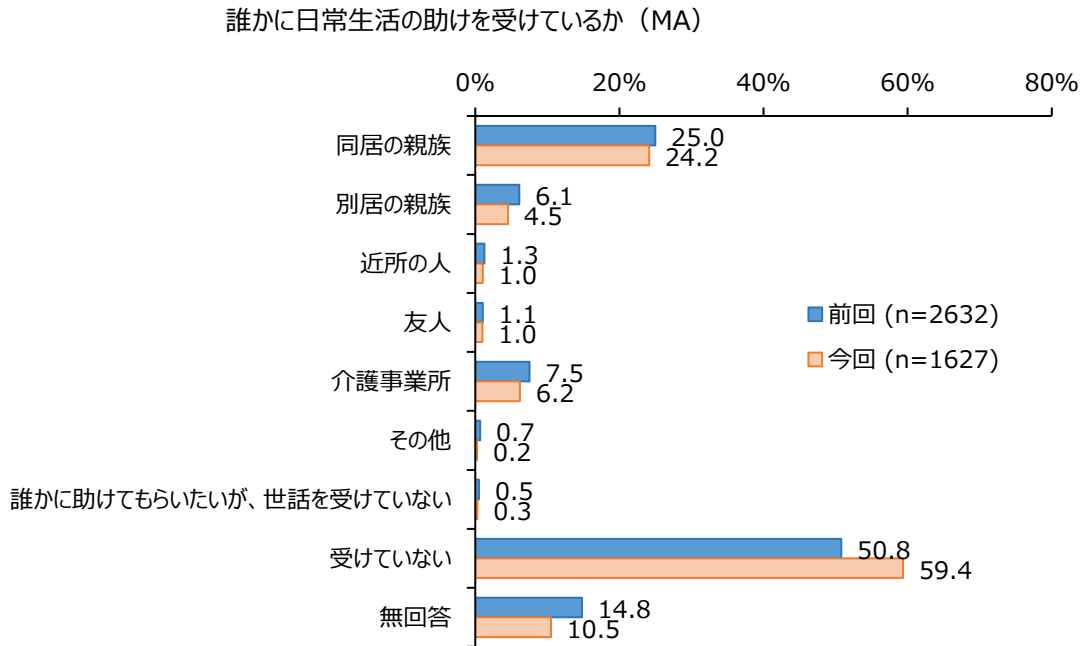
(参考) 高齢者以外 (家族等) が回答した内容

- ・認知症が進んで意志の確認ができない、話すことも出来ない。
- ・施設に入所している。

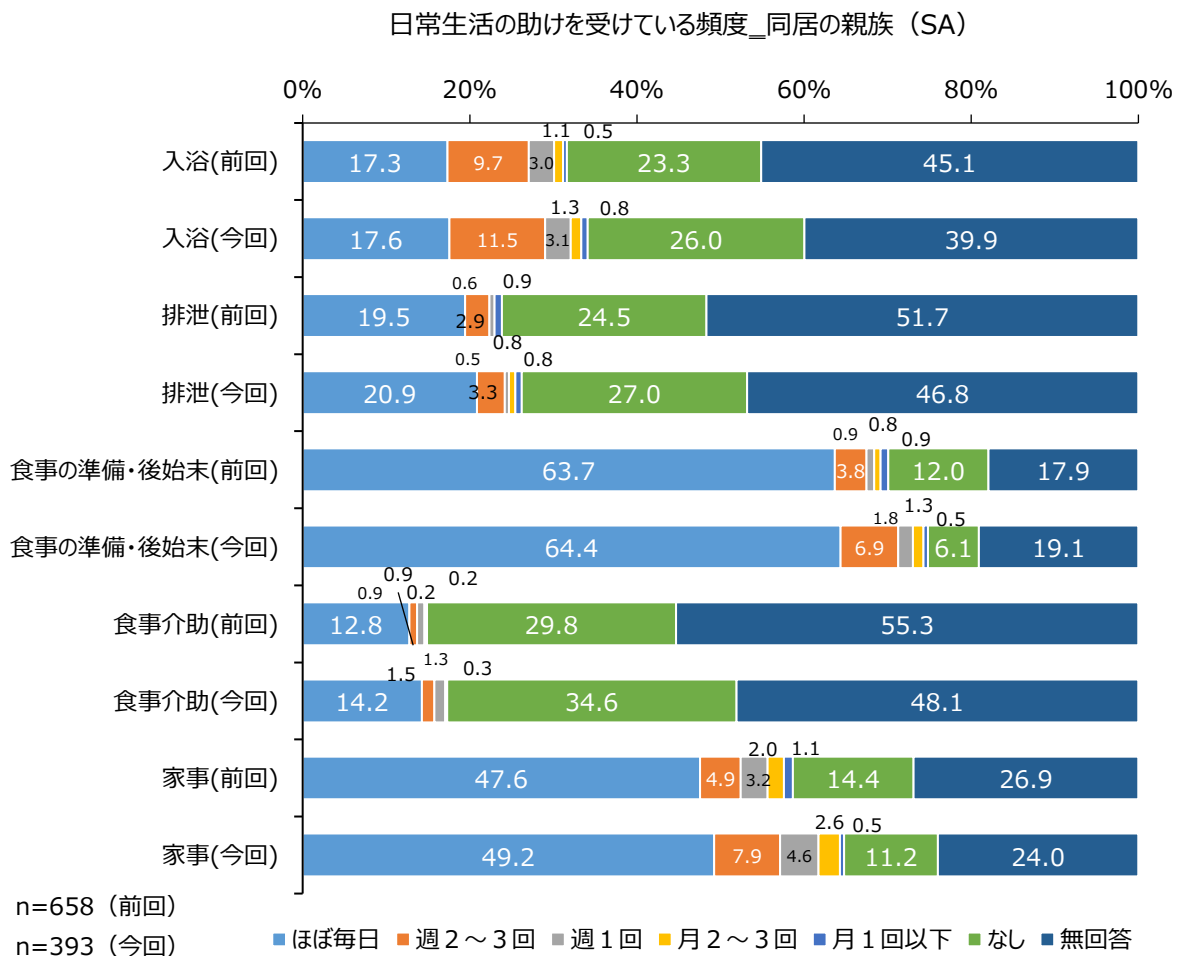
※問 14 で話したり伝えたりしたことが「ないし、今後も話すつもりはない」と回答した方

4. 高齢者調査結果

問 15: あなたは誰かに日常生活の助けを受けていますか。(〇はいくつでも) / 高齢者



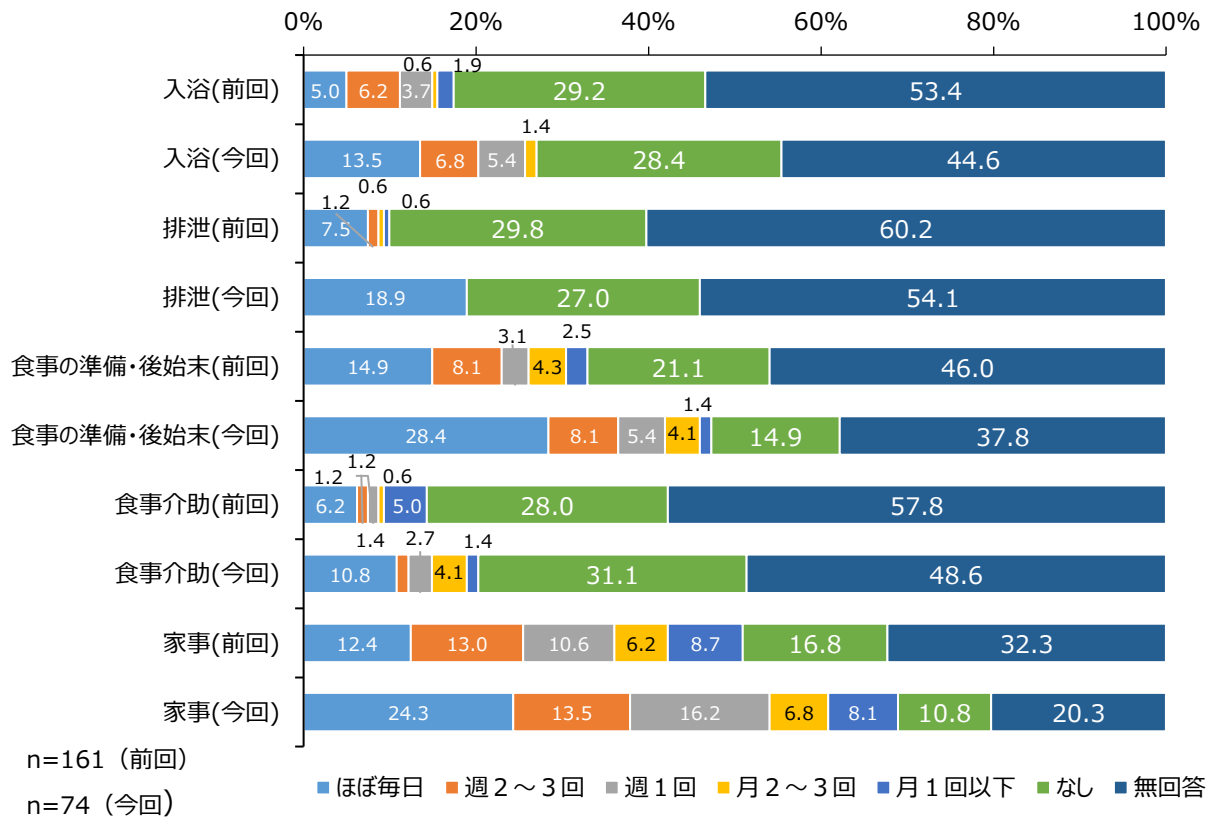
問 15-1: 日常生活の助けを受けている頻度についてお答え下さい。(〇はいくつでも) / 高齢者



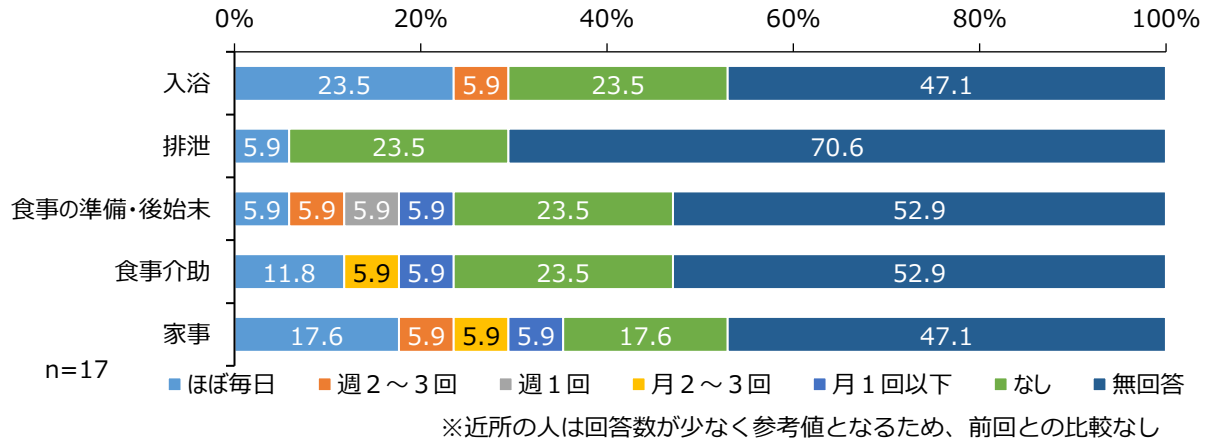
※家事: 買い物・掃除・ごみ出し等を含めた回答。

※問 15 で日常生活の助けを「同居の親族」、「別居の親族」、「近所の人」、「友人」から受けていると回答した方

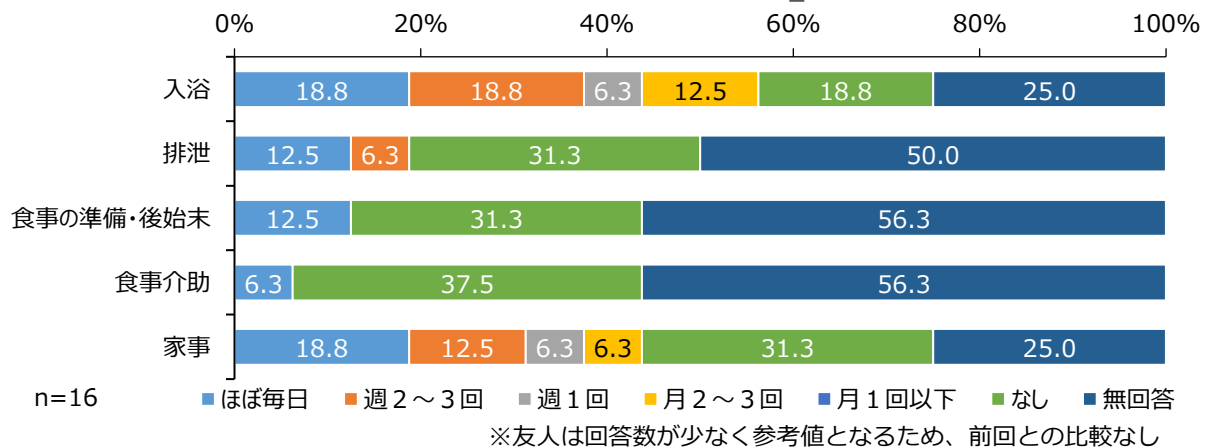
日常生活の助けを受けている頻度\_別居の親族 (SA)



日常生活の助けを受けている頻度\_近所の人 (SA)



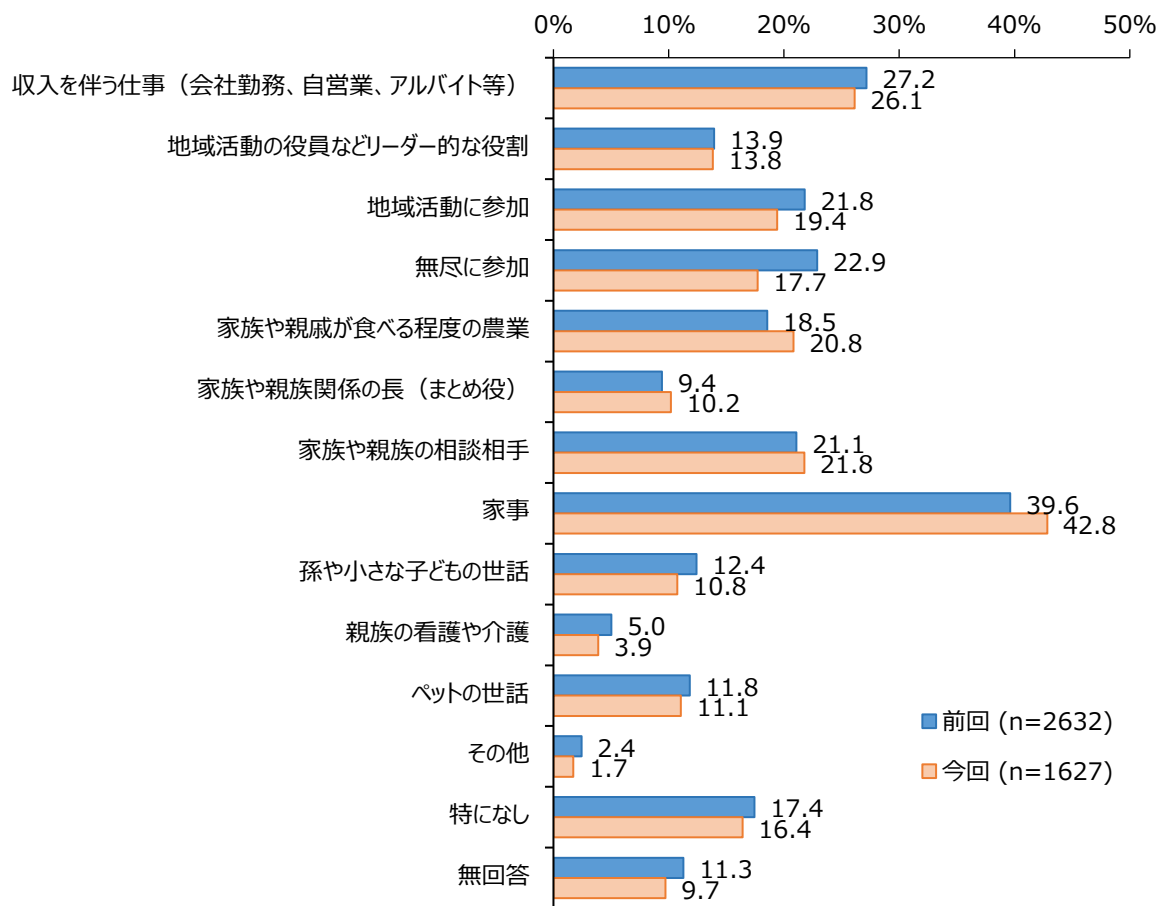
日常生活の助けを受けている頻度\_友人 (SA)



4-3. ご本人の社会参加・役割に関する調査項目

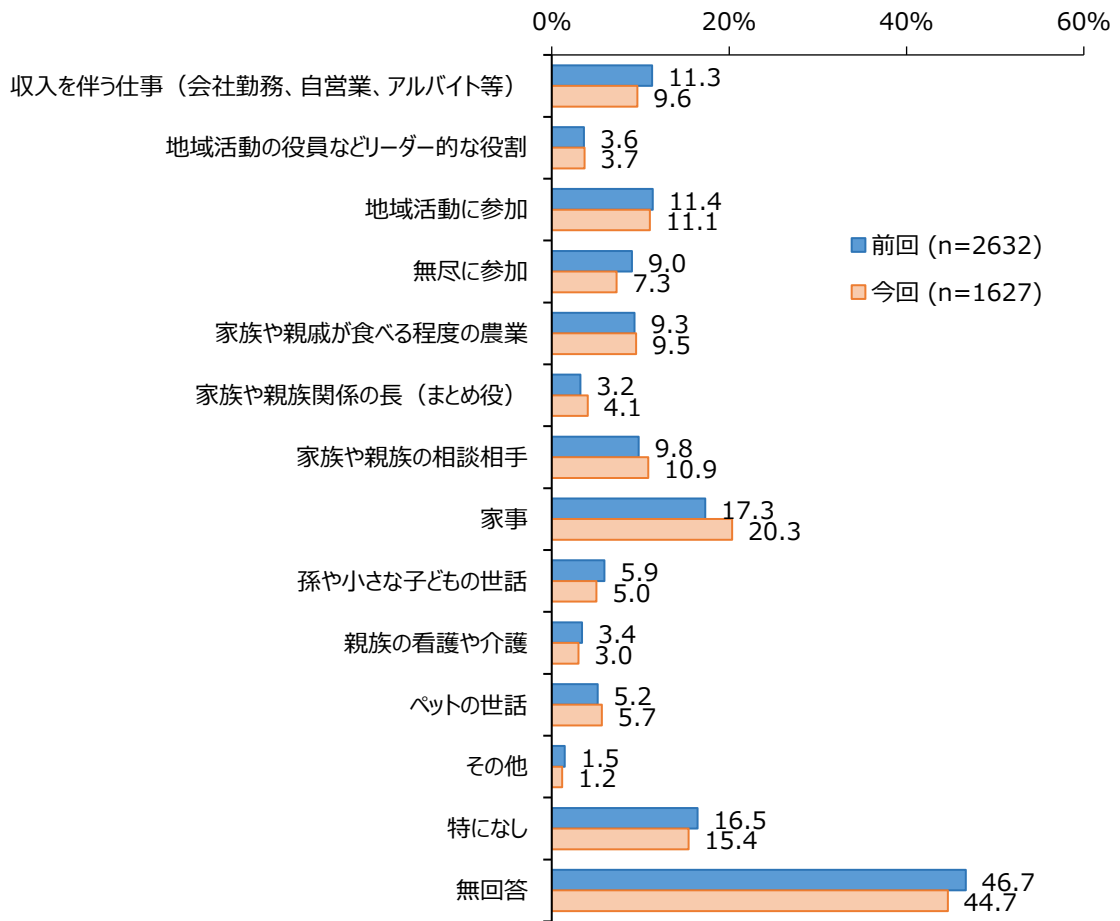
問 16: あなたの社会参加・役割について、現在の状況についてお答えください。(すべてに○)／高齢者

社会参加・役割\_現在の状況 (MA)



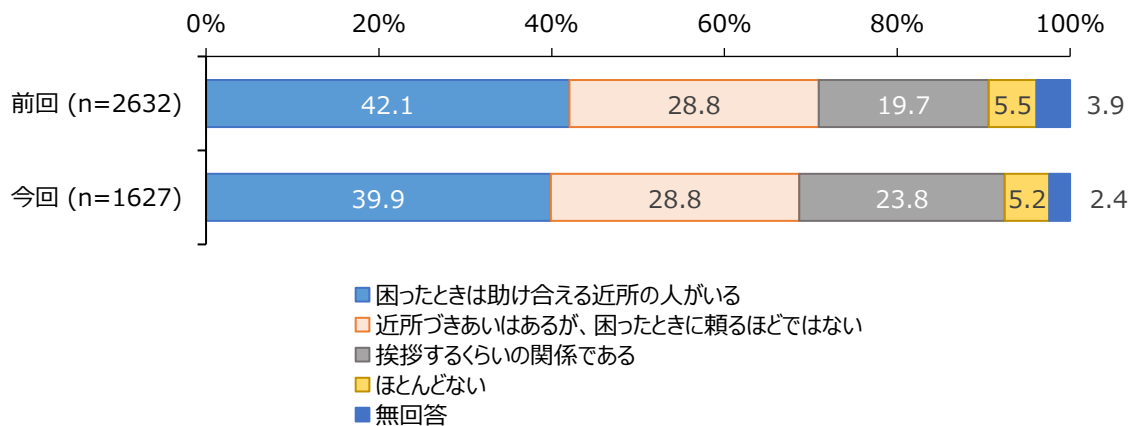


社会参加・役割\_今後の希望 (MA)



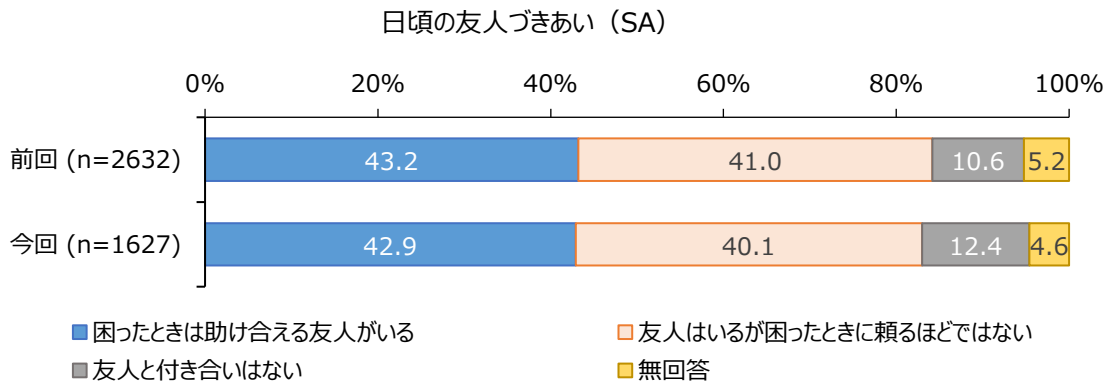
問 17: あなたの日頃のご近所づきあいについてお答えください。(1 つに○) / 高齢者

日頃のご近所づきあい (SA)

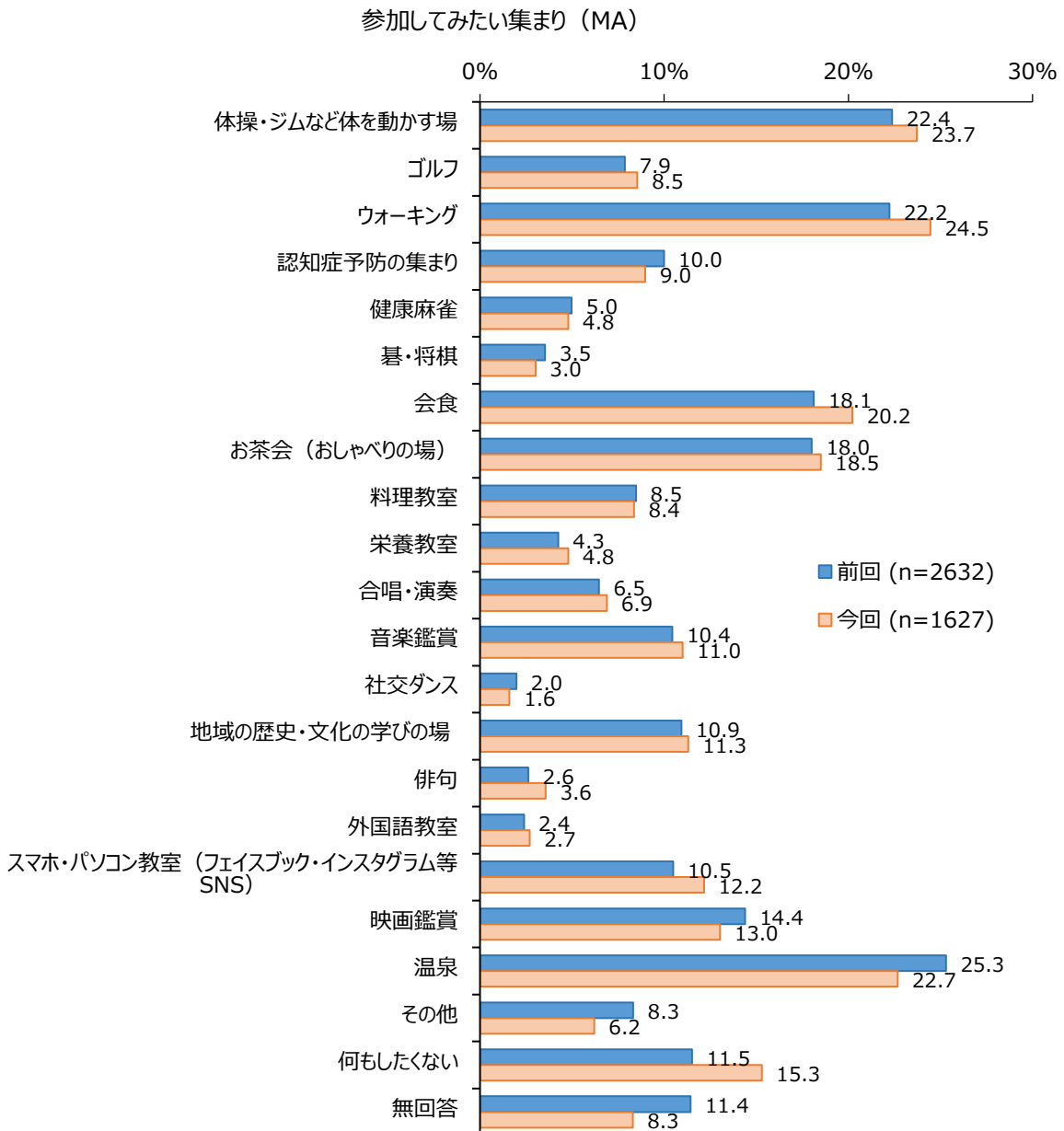


#### 4. 高齢者調査結果

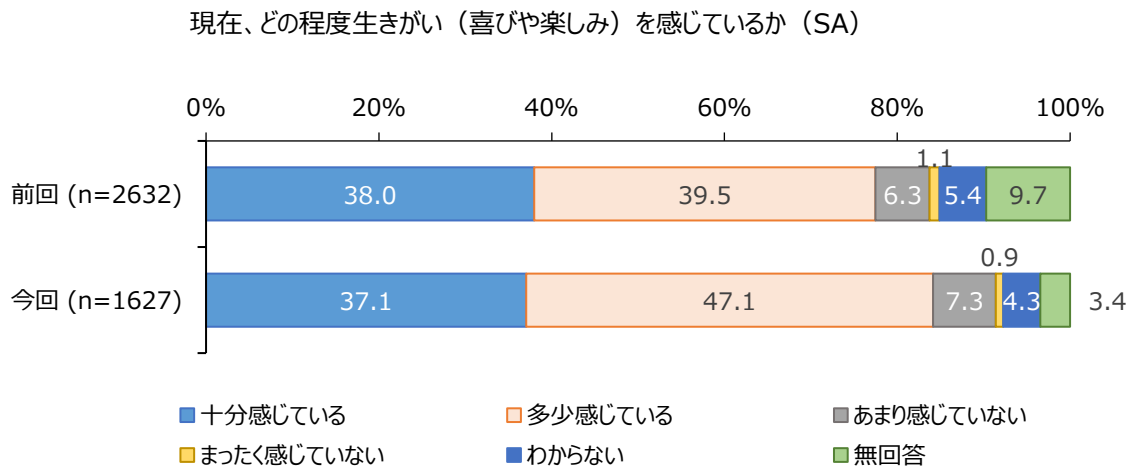
問 18: あなたの日頃の友人づきあいについてお答えください。(1つに○)／高齢者



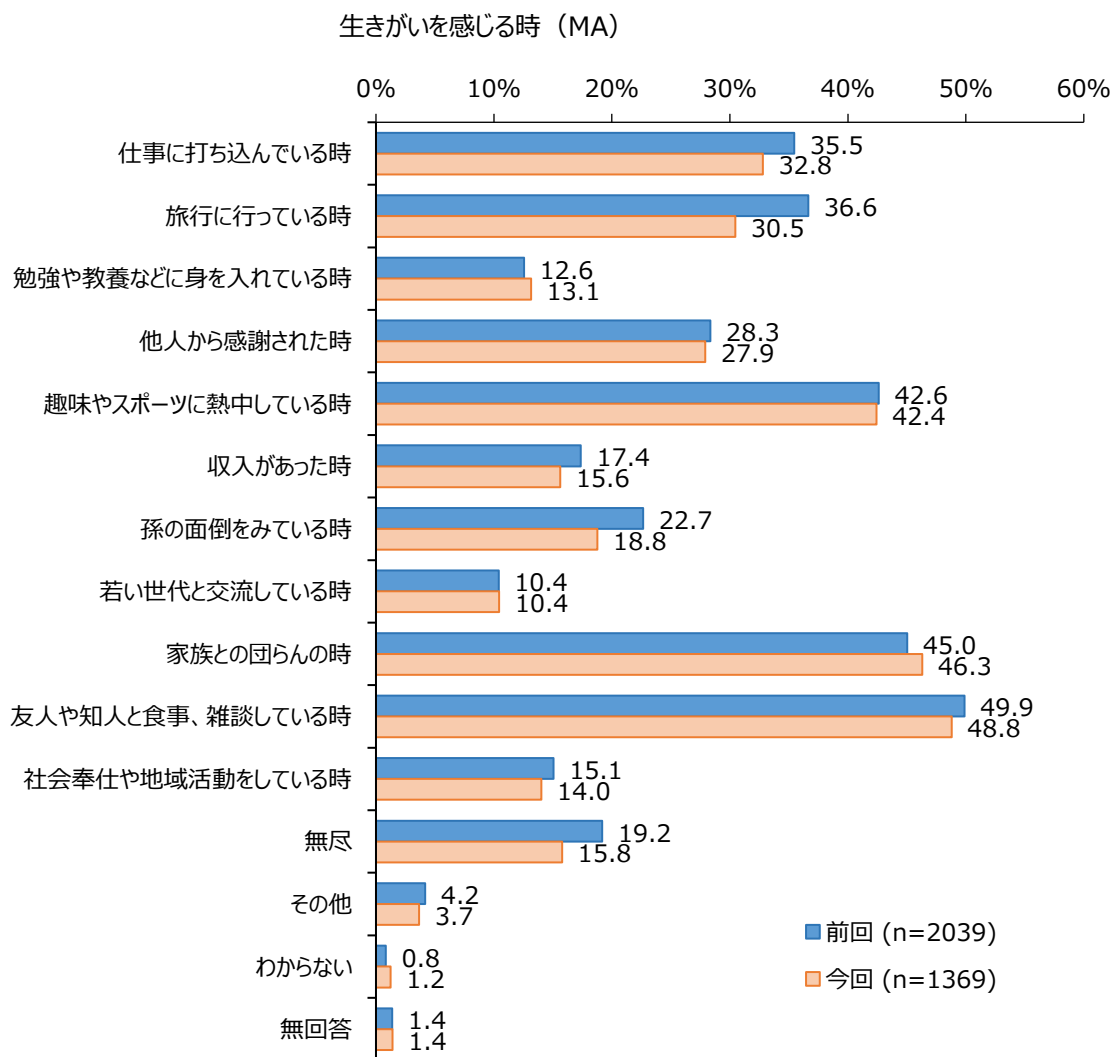
問 19: あなたはどのような集まりがあれば参加してみたいと思いますか。(○はいくつでも)／高齢者



問 20: あなたは、現在、どの程度生きがい(喜びや楽しみ)を感じていますか。(1つに○)／高齢者



問 20-1: どのような時に生きがいを感じますか。(○はいくつでも)／高齢者



※問 20 で生きがいを「十分感じている」「多少感じている」と回答した方

#### 4. 高齢者調査結果

問 20-2: 生きがい(喜びや楽しみ)を感じていない理由をご記入ください。(自由記入)／高齢者

主な意見 (★：特に多い意見)

(自身の状態)

- ★健康状態が悪い。
- ★年齢的に意欲がない。
- ★新型コロナウイルス感染症が流行しているため出かけるのを躊躇している。
- ・できることが少なくなっている。
- ・1人で生きるのに一生懸命になっている。
- ・経済的な問題。
- ・毎日1人で寂しい。

(家族の状態)

- ★配偶者の体調が悪い

(参考) 高齢者以外(家族等)が回答した内容

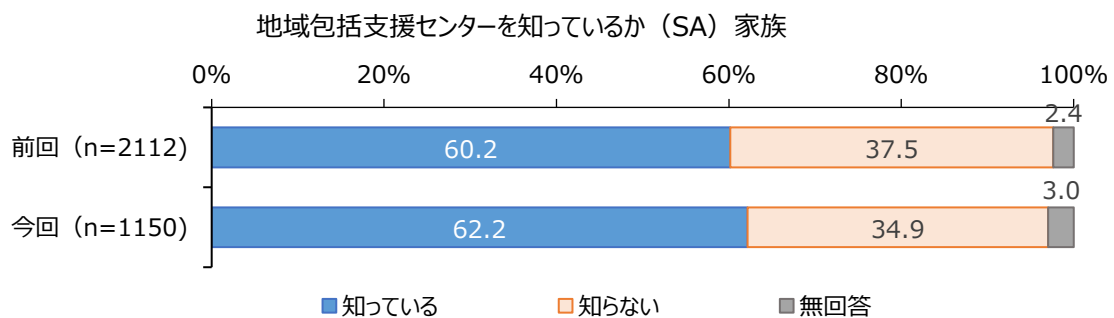
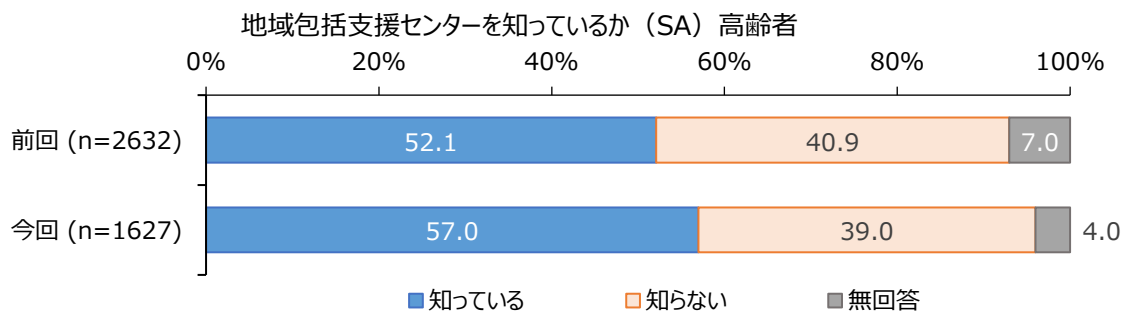
- ★体調が悪い。
- ★気力、体力、記憶力の低下。

※問 20 で生きがいを「あまり感じていない」「まったく感じていない」と回答した方

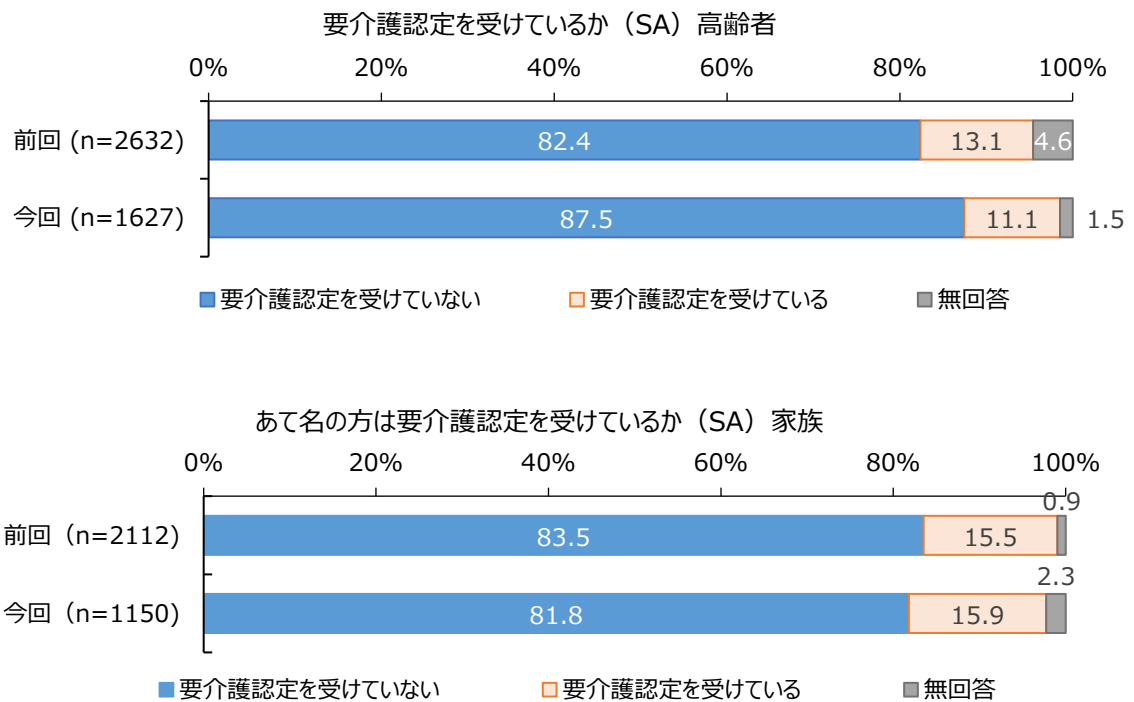
#### 4-4. 介護保険利用に関する調査項目

問 21: あなたは介護保険の相談先である地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)／  
高齢者

問 7: あなたは介護保険の相談先である地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)／家族



問 22: あなたは要介護認定を受けていますか。(1つに○)／高齢者  
 問 8: あて名の方は要介護認定を受けていますか。(1つに○)／家族

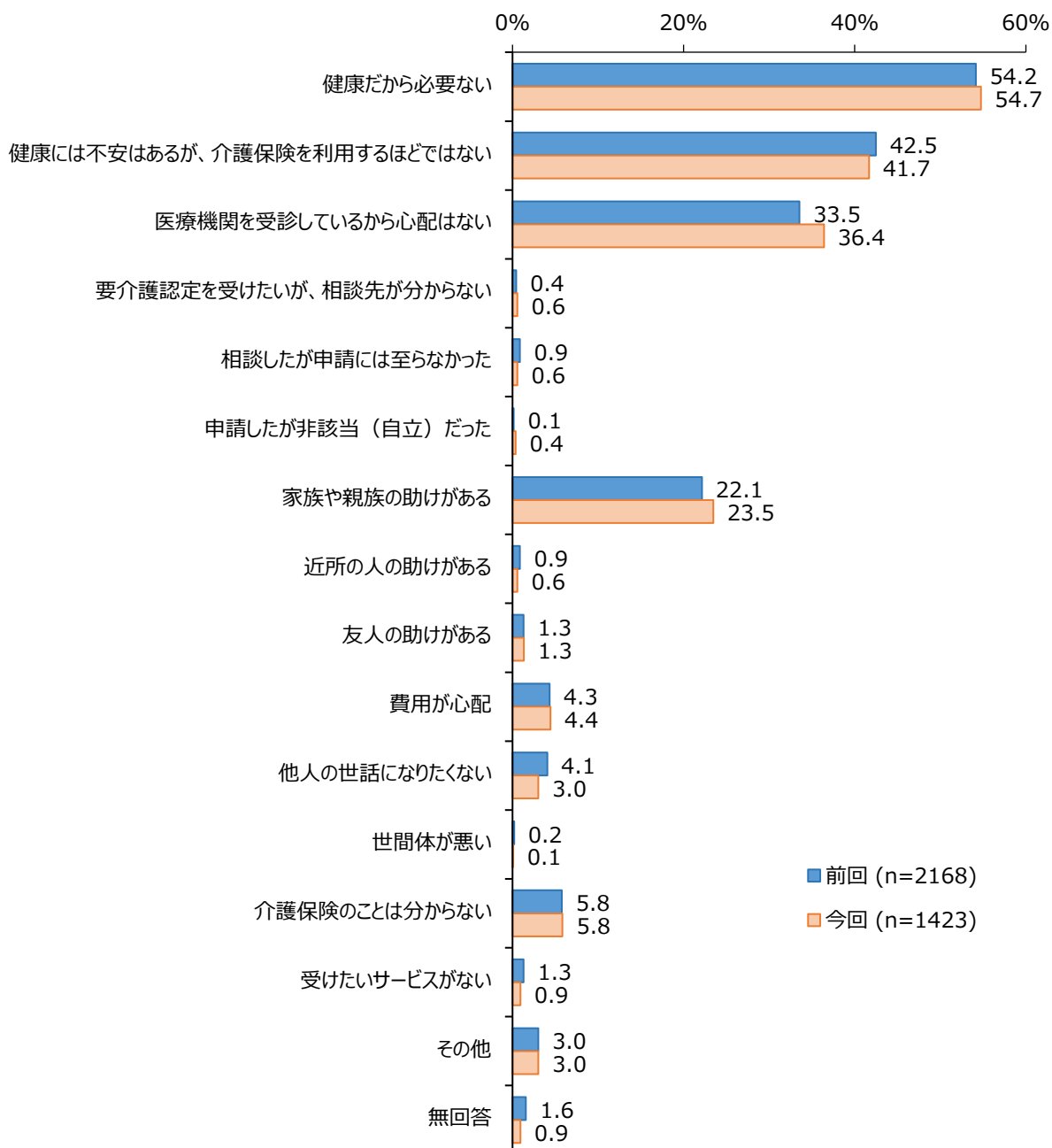


#### 4. 高齢者調査結果

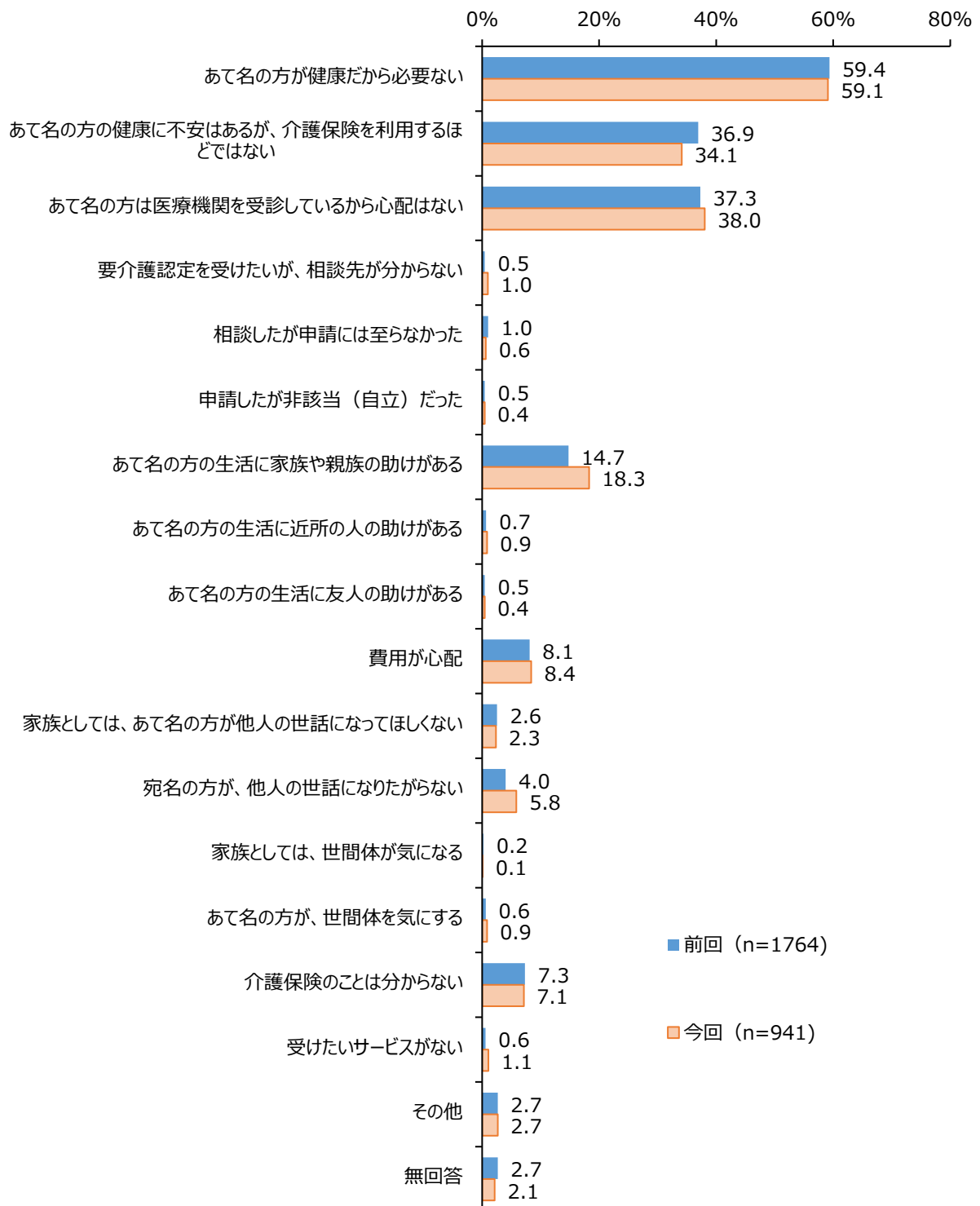
問 22-1: あなたが要介護認定を受けていない理由をお答えください。(3つまで○)／高齢者

問 8-1: ご家族の立場として、「要介護認定を受けていない」もしくは「申請しない、相談しない」理由があればお答えください。(3つまで○)／家族

要介護認定を受けていない理由 (MA) 高齢者



家族の立場として、「要介護認定を受けていない」もしくは「申請しない、相談しない」理由 (MA) 家族

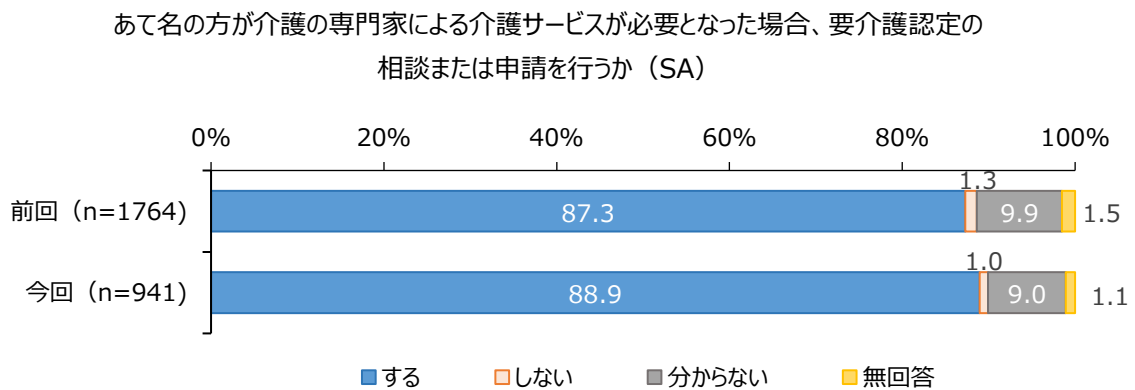
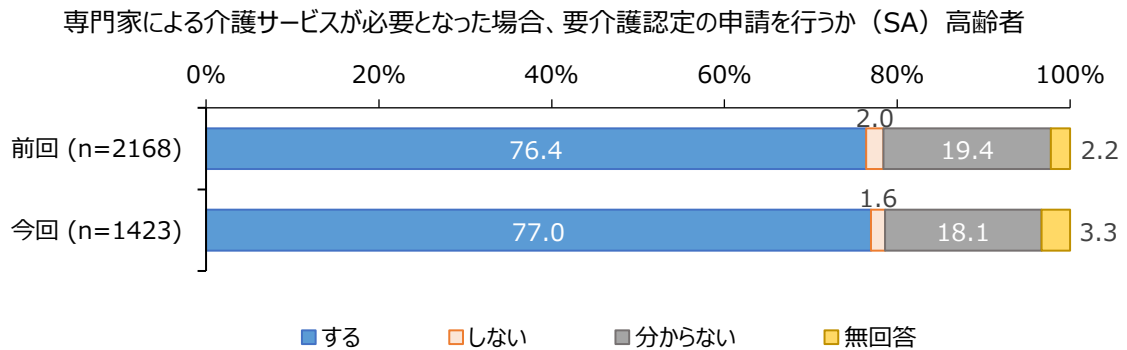


※問 22(高齢者)、問8(家族)で「要介護認定を受けていない」と回答した方

#### 4. 高齢者調査結果

問 22-2: あなたに専門家による介護サービスが必要となった場合、要介護認定の申請を行うか。  
(1つに○)／高齢者

問 8-2: あて名の方が介護の専門家による介護サービスが必要となった場合、要介護認定の相談または申請を行うか。(1つに○)／家族

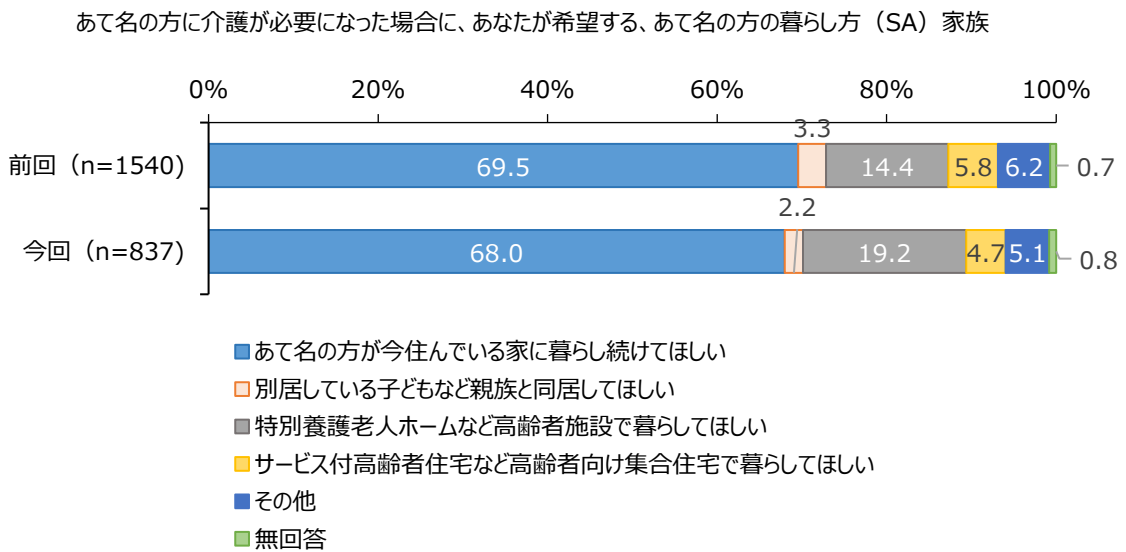
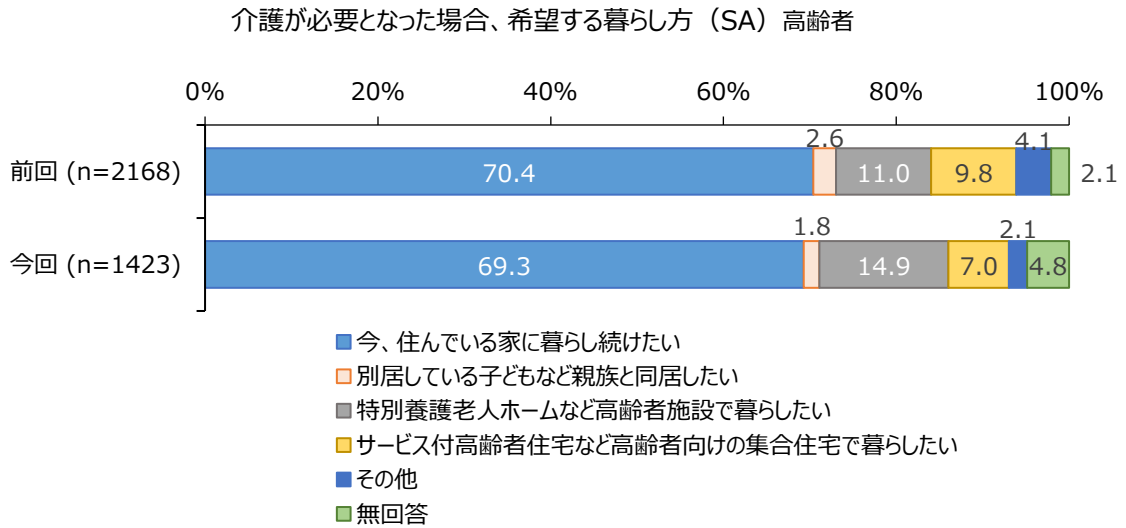


※問 22(高齢者)、問8(家族)で「要介護認定を受けていない」と回答した方



問 22-3:あなたに介護が必要となった場合、希望する暮らし方はどのようなものですか。(1つに○)  
 ／高齢者

問 8-3:あて名の方に介護が必要になった場合に、あなたが希望する、あて名の方の暮らし方は、  
 どのようなものですか。(1つに○)／家族

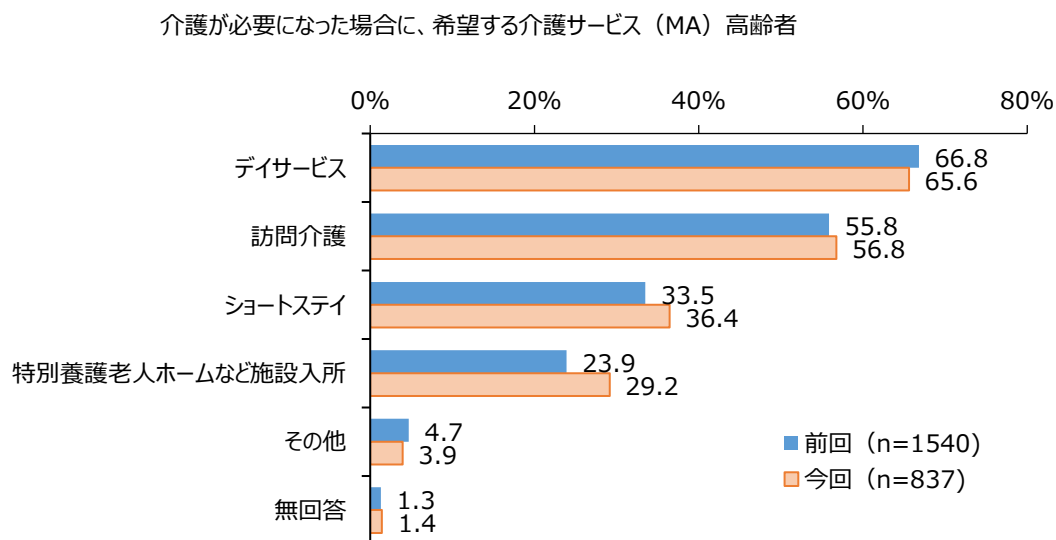
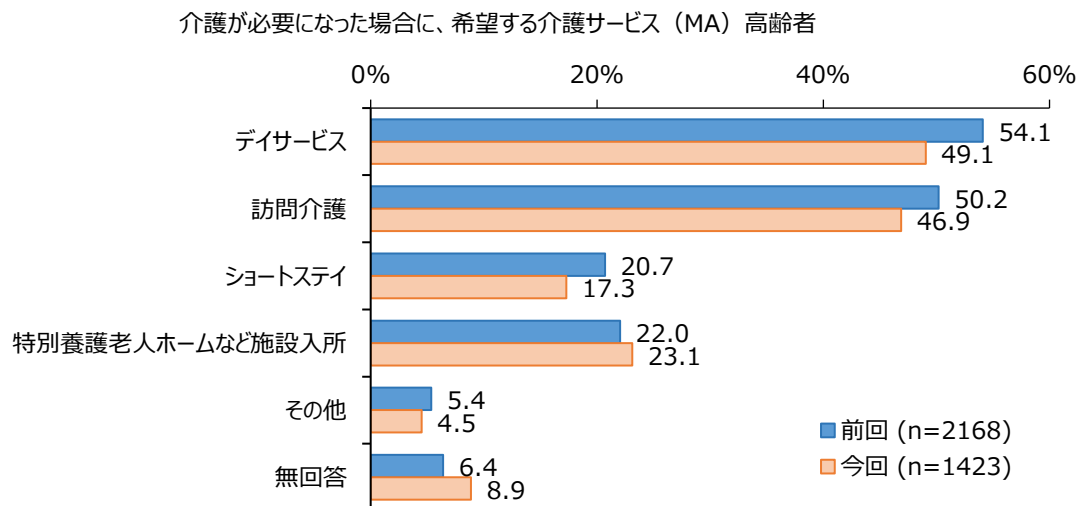


※問 22(高齢者)で「要介護認定を受けていない」と回答した方  
 ※問8-2(家族)で要介護認定の相談または申請を「する」と回答した方

#### 4. 高齢者調査結果

問 22-4: あなたに介護が必要になった場合に、希望する介護サービスはどのようなものですか。(すべてに○)／高齢者

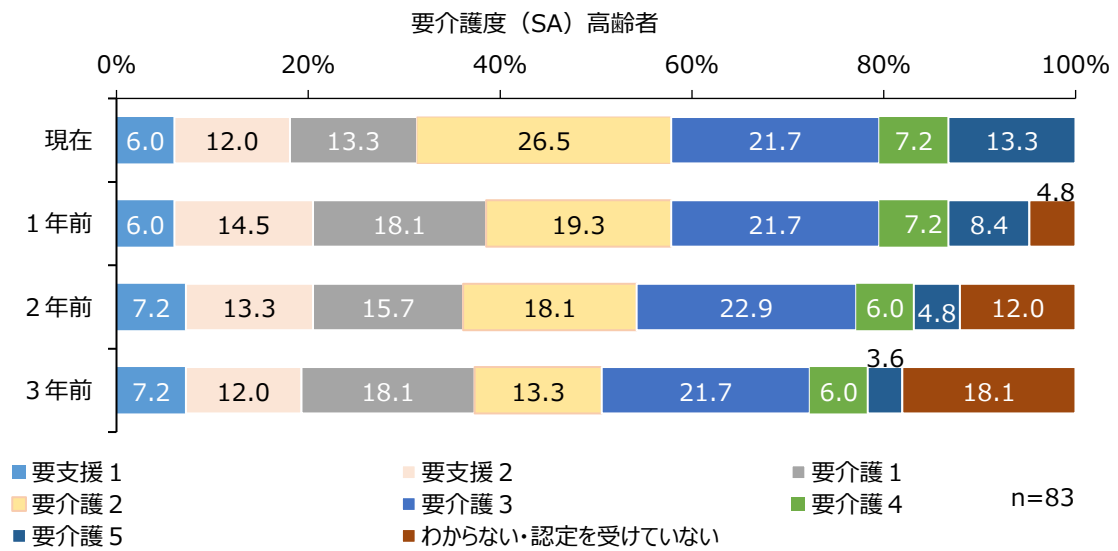
問 8-4: あて名の方に介護が必要になった場合に、あなたが希望する介護はどのようなものですか。(すべてに○)／家族



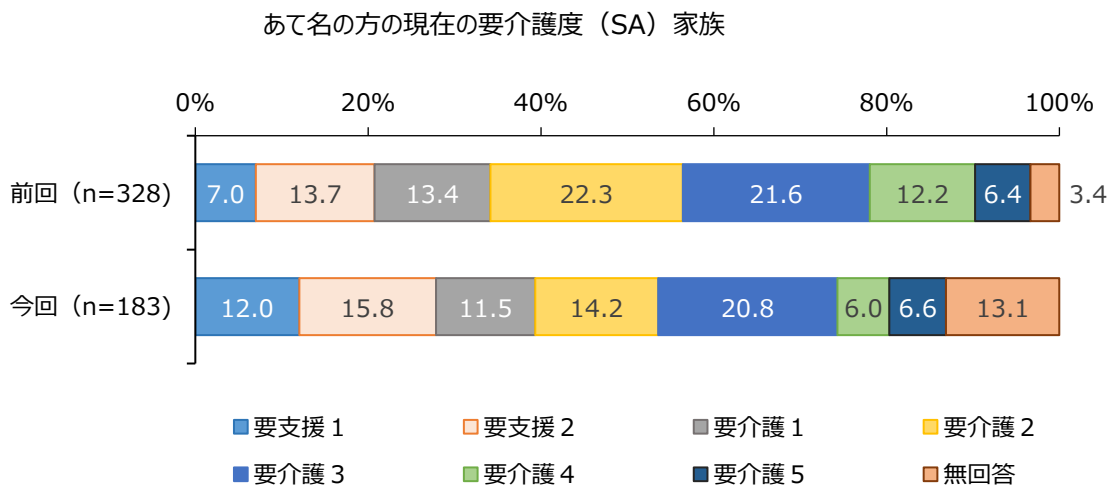
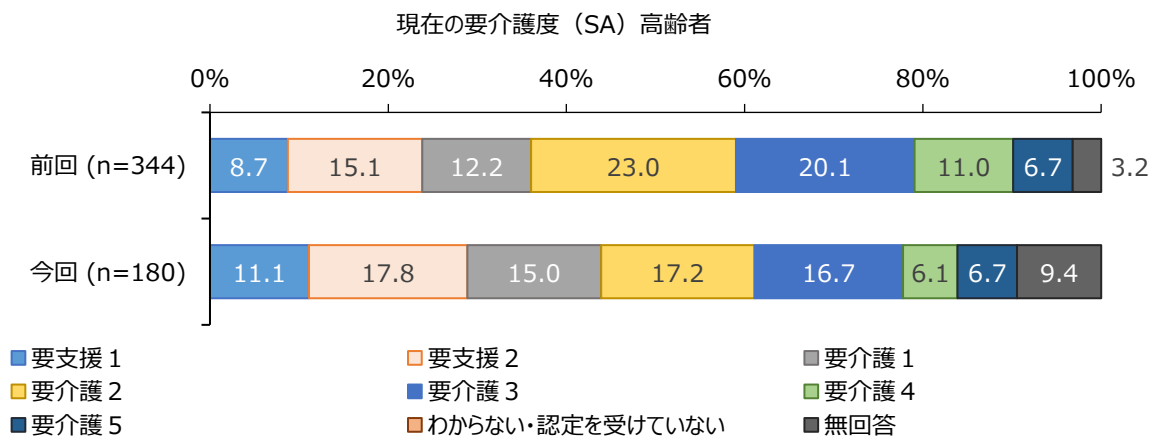
※問 22(高齢者)で「要介護認定を受けていない」と回答した方

※問8-2(家族)で要介護認定の相談または申請を「する」と回答した方

問 22-5: 現在のあなたの要介護度をお答えください。(1つに○) / 高齢者  
 問 8-5: あて名の方の現在の要介護度をお答えください。(1つに○) / 家族



※「現在」～「3年前」までのすべての項目に回答した方

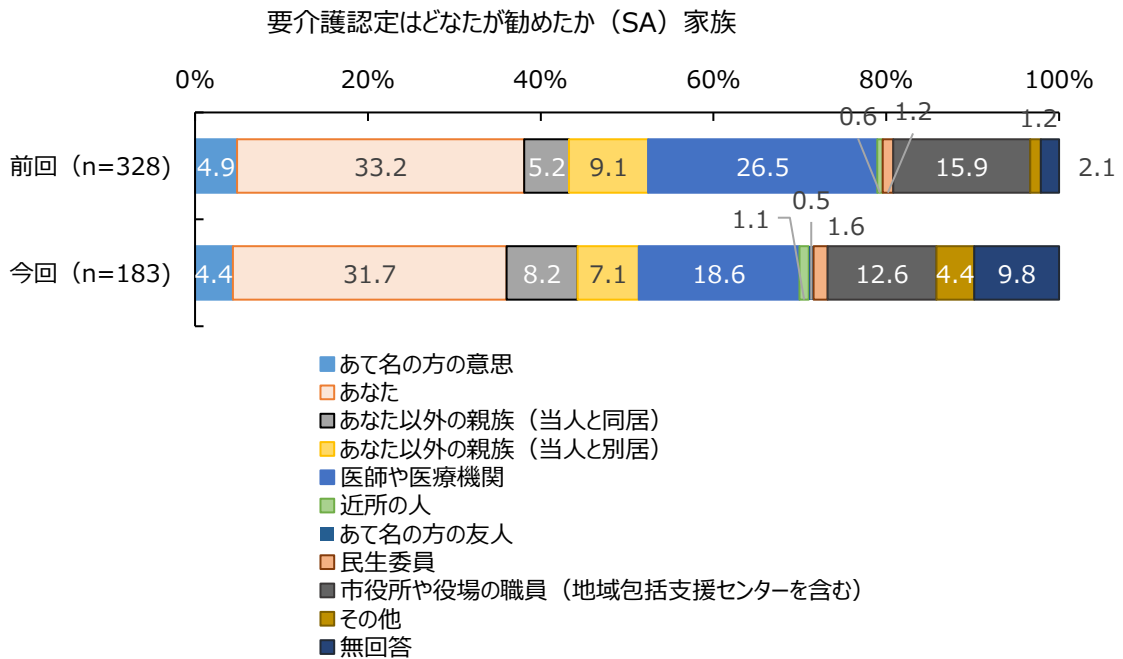
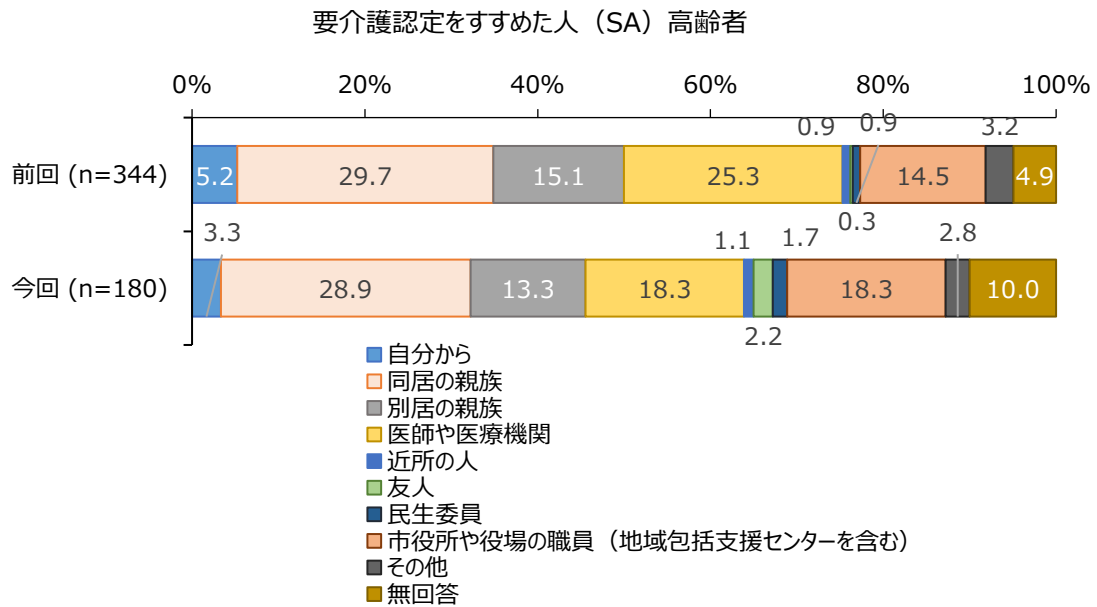


※問 22(高齢者)、問 8(家族)で「要介護認定を受けている」と回答した方

#### 4. 高齢者調査結果

問 22-6: 要介護認定はどなたから勧められましたか。(1つに○) / 高齢者

問 8-6: 要介護認定はどなたが勧めましたか。(1つに○) / 家族

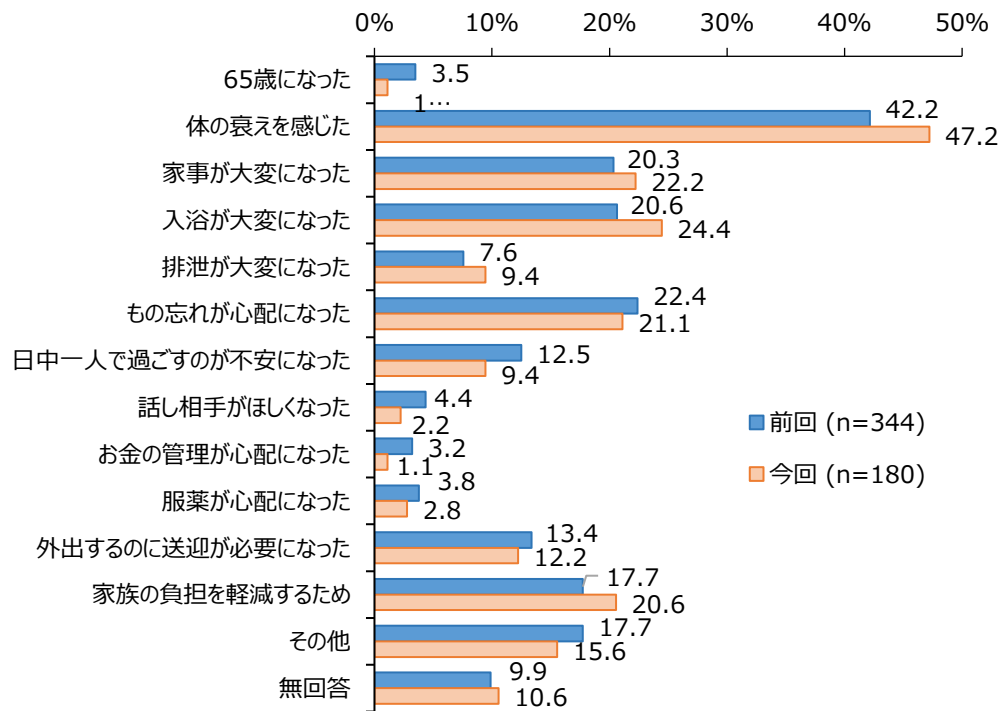


※問 22(高齢者)、問 8(家族)で「要介護認定を受けている」と回答した方

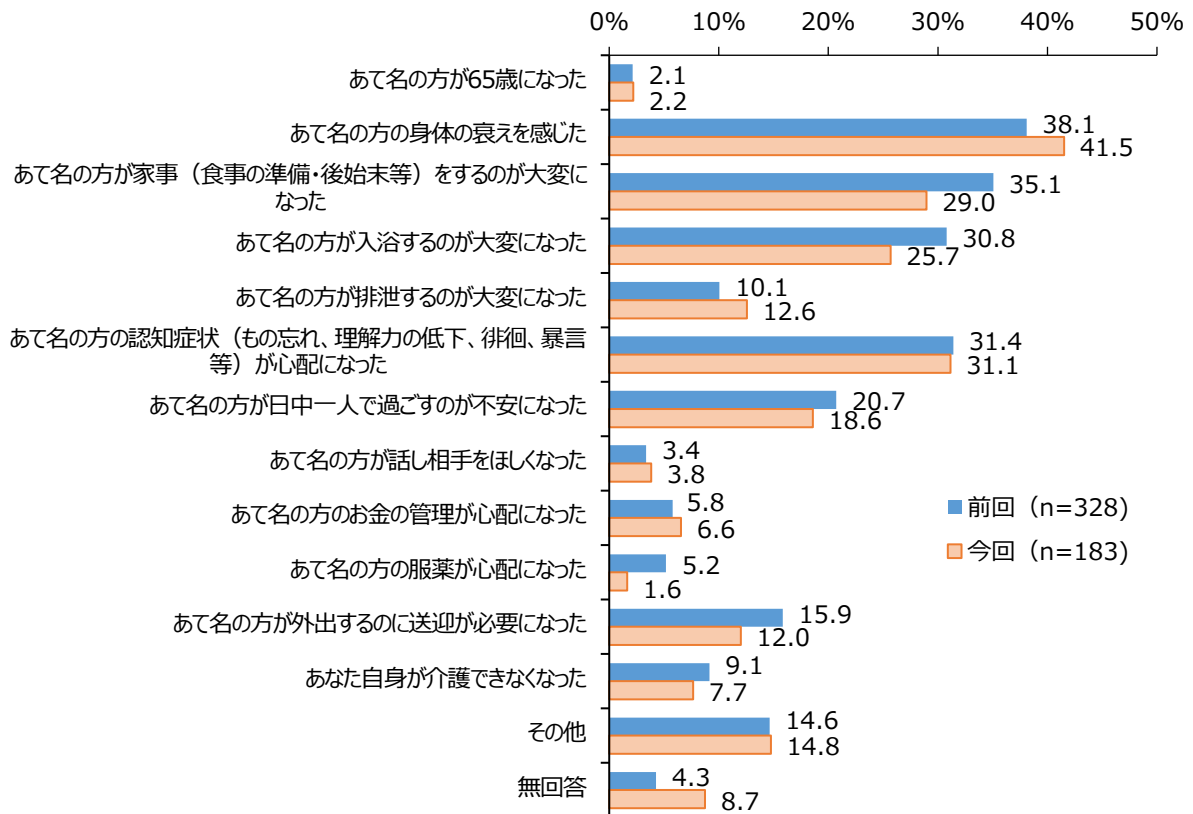
問 22-7:どのようなきっかけから要介護認定の相談をしましたか。(3つまで○)／高齢者

問 8-7:どのようなきっかけから要介護認定の相談をしましたか。(3つまで○)／家族

要介護認定の相談をしたきっかけ (MA) 高齢者



要介護認定の相談をしたきっかけ (MA) 家族

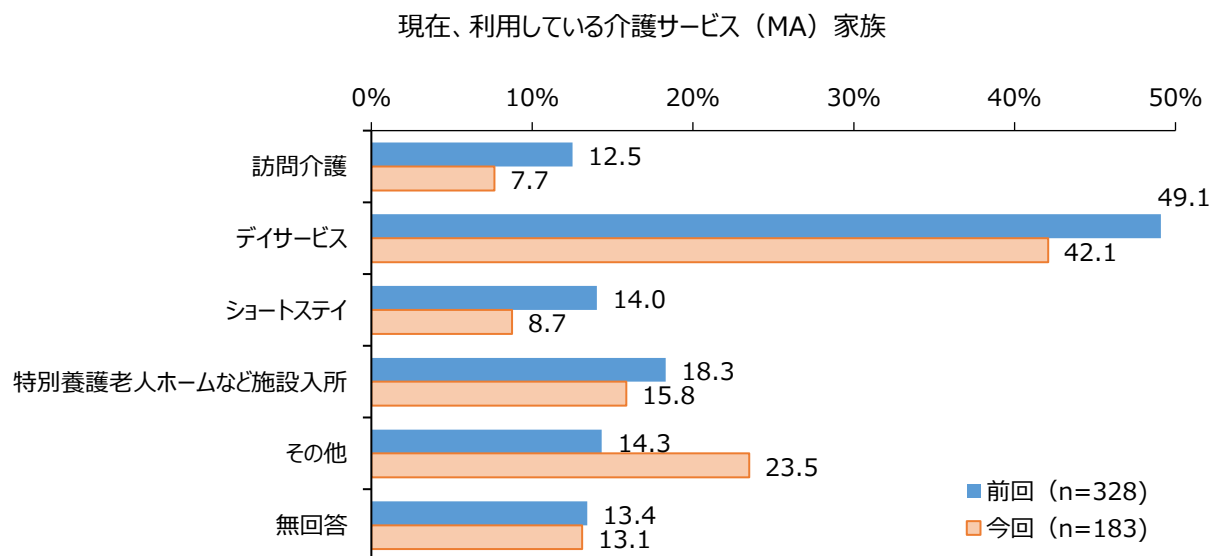
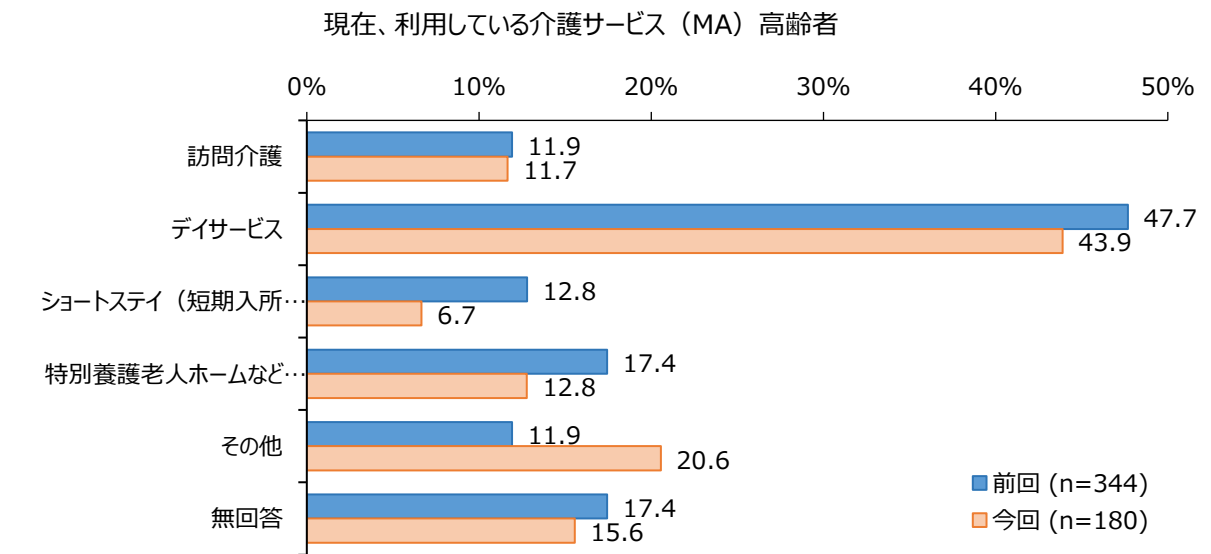


※問 22(高齢者)、問 8(家族)で「要介護認定を受けている」と回答した方

#### 4. 高齢者調査結果

問 22-8: 現在、利用している介護サービスをお答えください。(〇はいつでも) / 高齢者

問 8-8: 現在、利用している介護サービスをお答えください。(〇はいつでも) / 家族

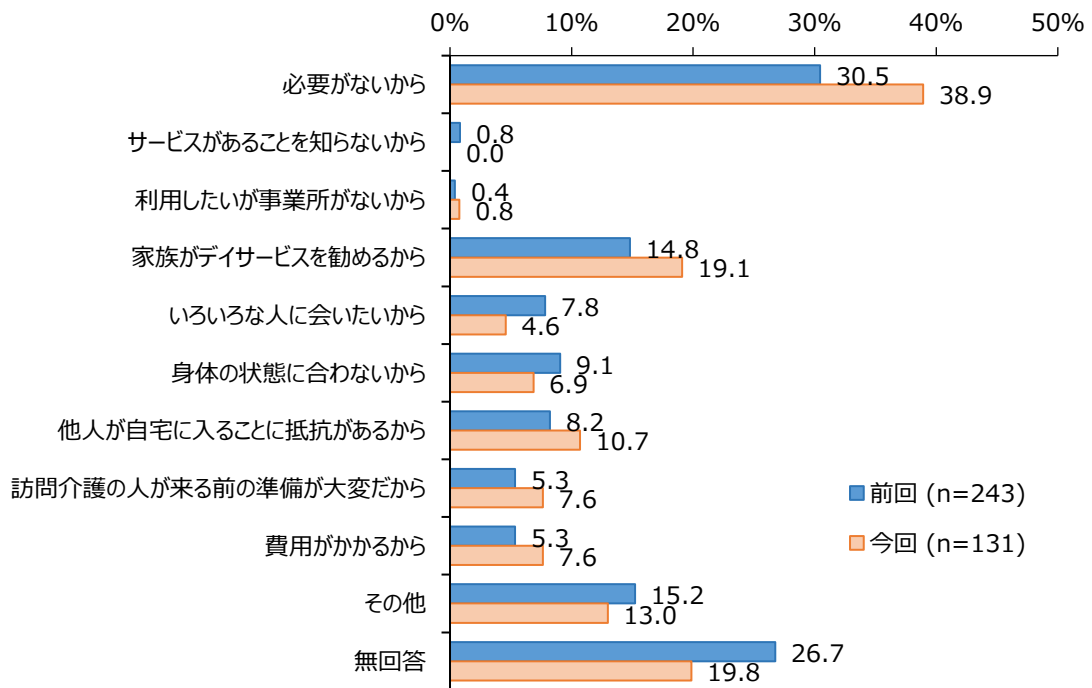


※問 22(高齢者)、問 8(家族)で「要介護認定を受けている」と回答した方

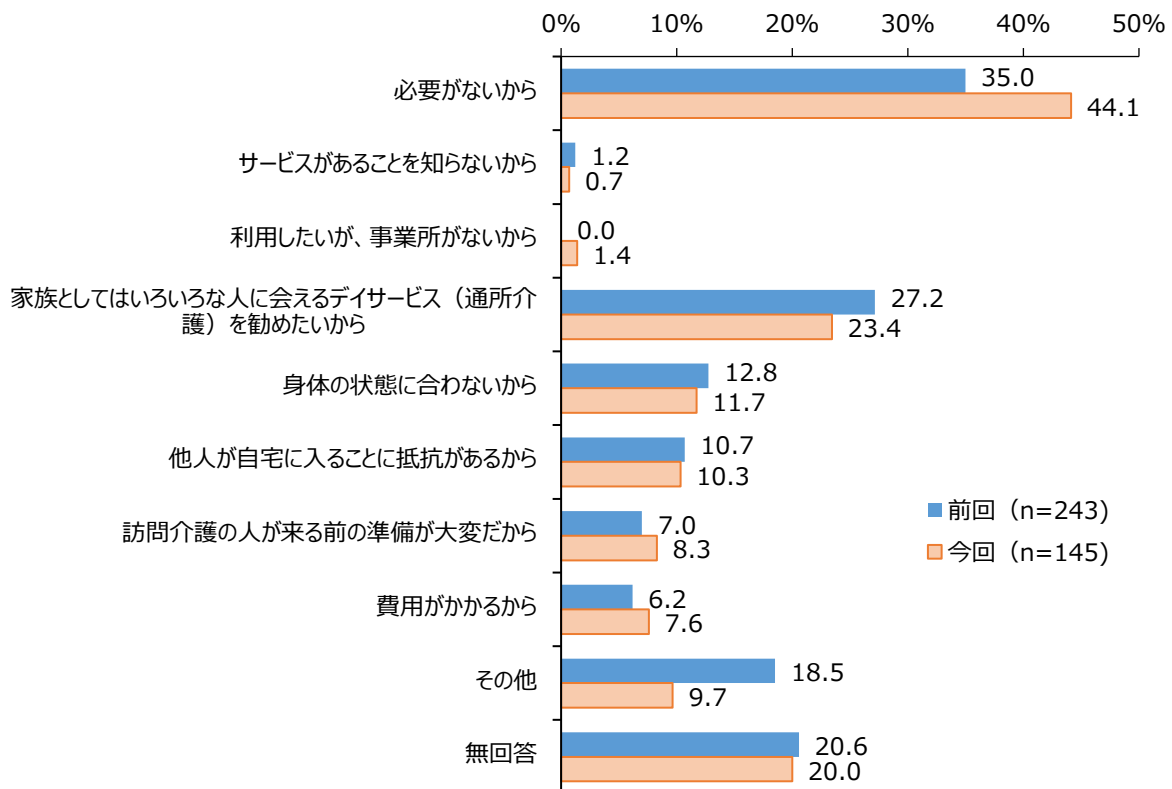
問 22-9: 訪問介護を利用しない理由をお答えください。(〇はいくつでも) / 高齢者

問 8-9: 訪問介護を利用しない理由をお答えください。(〇はいくつでも) / 家族

訪問介護を利用しない理由 (MA) 高齢者



訪問介護を利用しない理由 (MA) 家族



※問 22-8(高齢者)、問 8-8(家族)で、「デイサービス」、「ショートステイ」、「施設入所」、「その他」のみ回答した方

## 4. 高齢者調査結果

問 23:介護保険制度全般について、ご意見があればご記入ください。(自由記入)／高齢者

問 11:介護保険制度全般について、ご意見があればご記入ください。(自由記入)／家族

(高齢者) 主な意見 (★:特に多い意見)

### ○介護保険制度に関して

#### (金銭面)

- ★介護保険料や自己負担額を軽減してほしい。
- ★介護保険料が高すぎる。
- ・年金は減るが、保険料は減らないので、生活が苦しい。

#### (制度の維持・充実)

- ★制度を利用して介護をしている。とても感謝している。
- ・ますます高齢社会になり、自分が介護を必要になった時、実際に利用することができるのか不安である。
- ・必要な人が速やかに利用できるようにしてほしい。

### ○認定に関して

- ・介護認定を受けるのが難しく、申請手続きの負担が大きい。
- ・認定手続きについてどこに聞けばいいかわからないので、教えてほしい。

### ○情報提供に関して

- ★介護保険制度の利用方法がよく分からない。
- ・介護保険制度を健康なうちに熟知できるよう勉強会やパンフレットなどがあれば良い。

### ○その他

- ★いずれ利用することになると思う。
- ★今のところは必要ない。
- ・限りある資金等は有効に利用し、自助努力する方法を考慮することも大事である。
- ・介護保険は必要だが、本当に介護が必要ではない方も利用していて税金の無駄。



## (家族) 主な意見 (★：特に多い意見)

## ○介護保険制度に関して

## (金銭面)

- ★介護保険料や自己負担額を軽減してほしい。
- ★介護保険料が高すぎる。
- ・利用者負担を増額すべき。
- ・おむつの費用負担が軽減されてありがたい。

## (制度の維持・充実)

- ★制度が継続できるのか心配である。
- ★介護保険のおかげ家族も助かっており、大変感謝している。
- ・介護保険制度を今後も継続してほしい。
- ・よくわからないので、制度内容など理解できるように説明してもらいたい。
- ・家族も助かるありがたい制度である

## ○認定に関して

- ★介護認定を受けるのに時間がかかりすぎる。
- ・行政にスピード感、柔軟さをもって対応してもらいたい。

## ○介護保険サービスに関して

## (施設・事業者)

- ★特別養護老人ホームの入所がなかなか出来ない。
- ・施設にスムーズに入所できるようになってほしい。
- ・地域によってサービス提供業者のレベルに差がある。
- ・ケアマネージャーに大変感謝している。

## (その他)

- ・高齢者が外出しやすいうようにタクシーなどのサポートが欲しい。

## ○介護する家族

- ★認定はしてもらったのに本人の同意が得られずサービスを受けることができない。
- ・母は年金がないため、すべて私が負担しなければならない。

## ○情報提供

- ★介護保険を利用したいと思った時に、どこでどのような手続きをしたら良いか具体的な方法を知らない人が多い。情報をもっと分かりやすく出すべきである。
- ・いざというときにどこに相談すればいいかわからない。

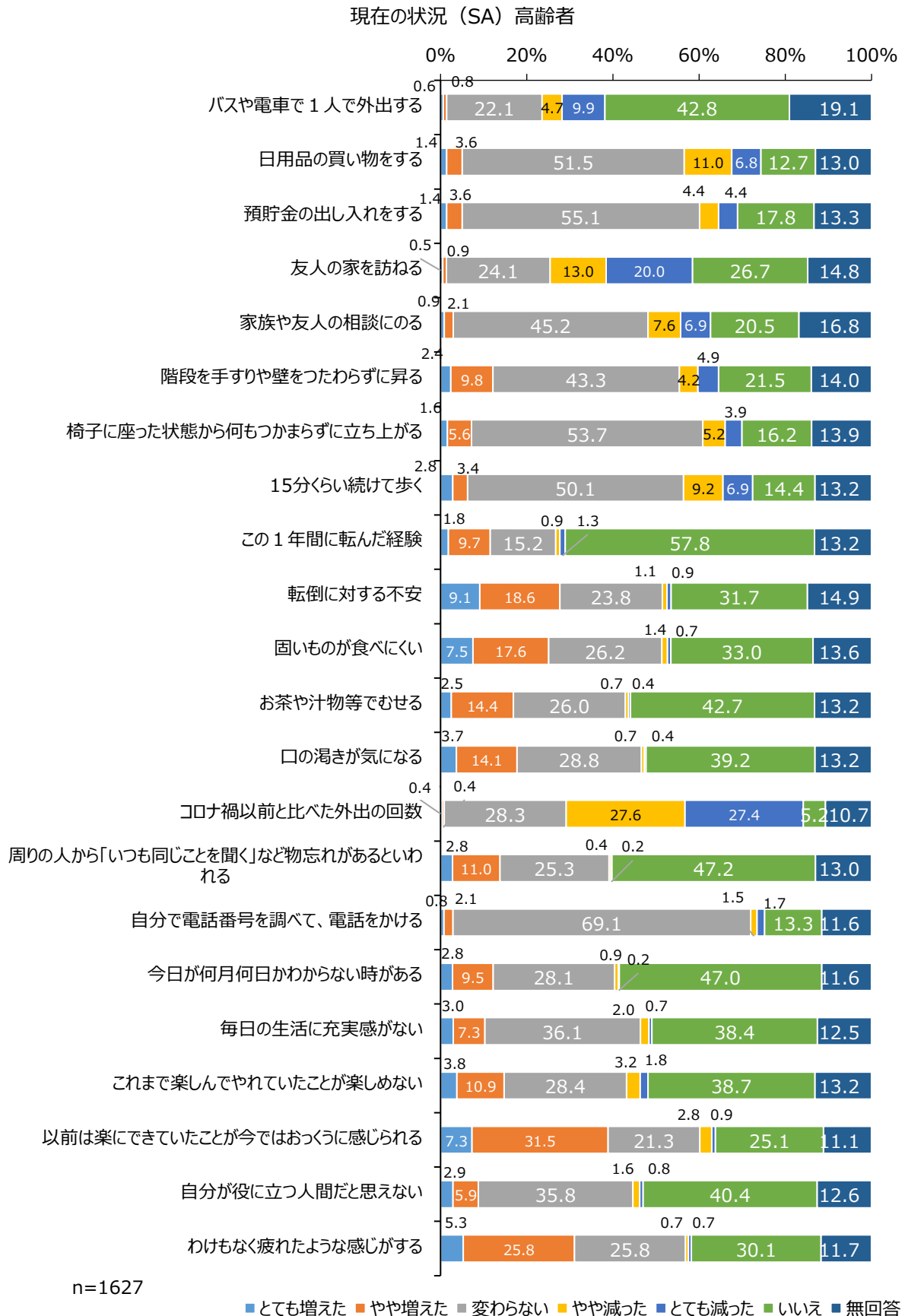
## ○その他

- ★今は利用していないが、今後お世話になると思う。
- ★必要なときがきたら相談したい。
- ・「認知症の親をもつ家族の対応の仕方」などの講習会を開催してもらいたい。

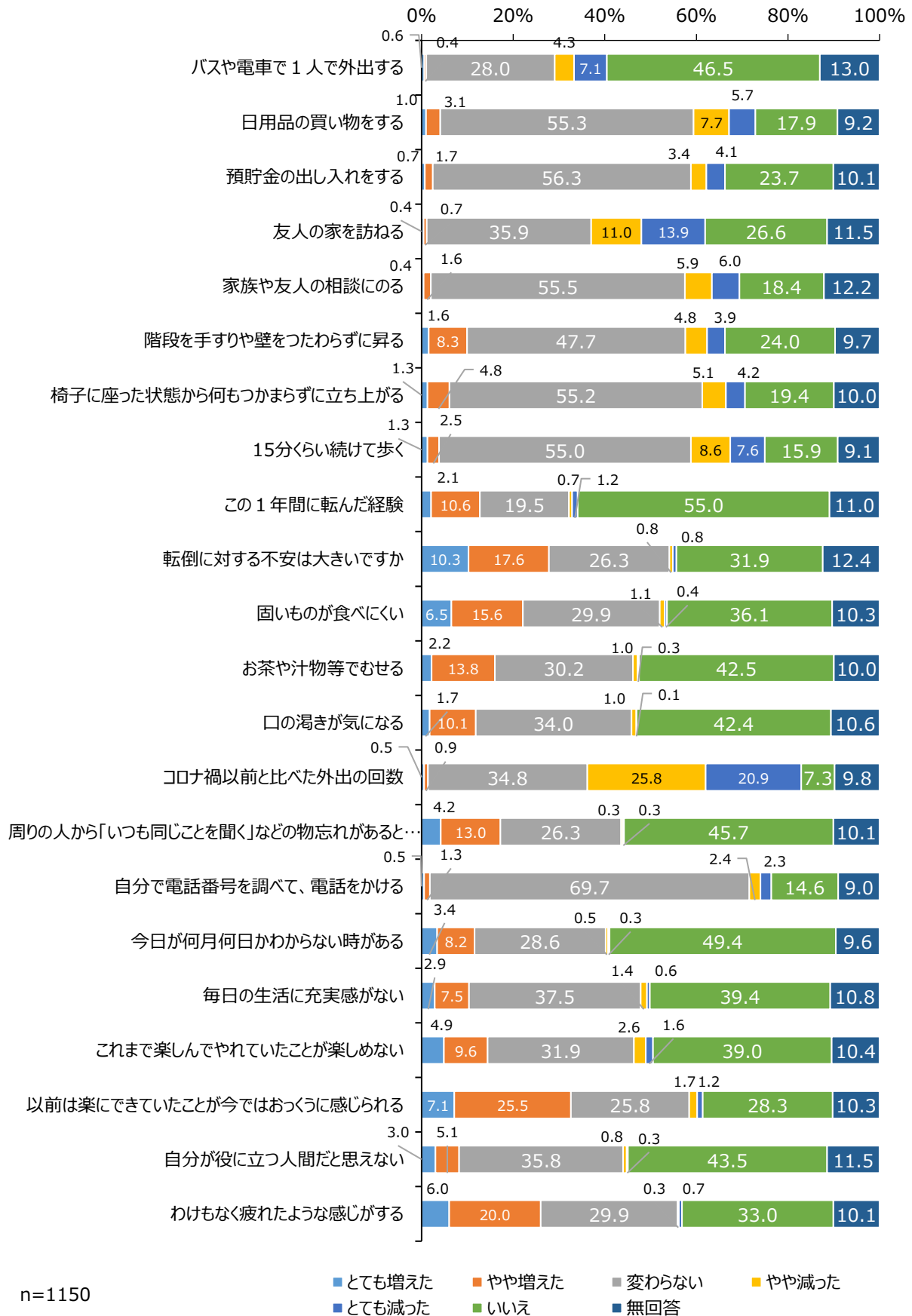
#### 4. 高齢者調査結果

問 24: あなたの現在の状況について、あてはまるものに○をつけてください。／高齢者

問 10: 宛名の方の現在の状況について、あてはまるものに○をつけてください。／家族



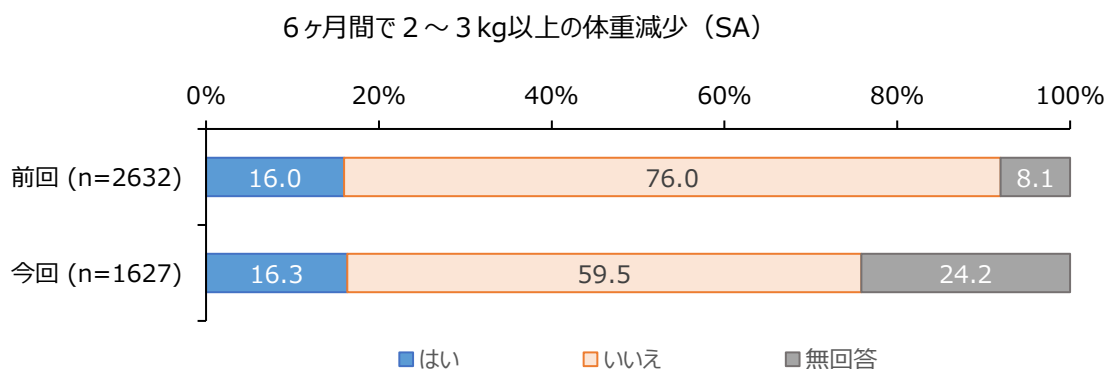
あて名の方の状況 (SA) 家族



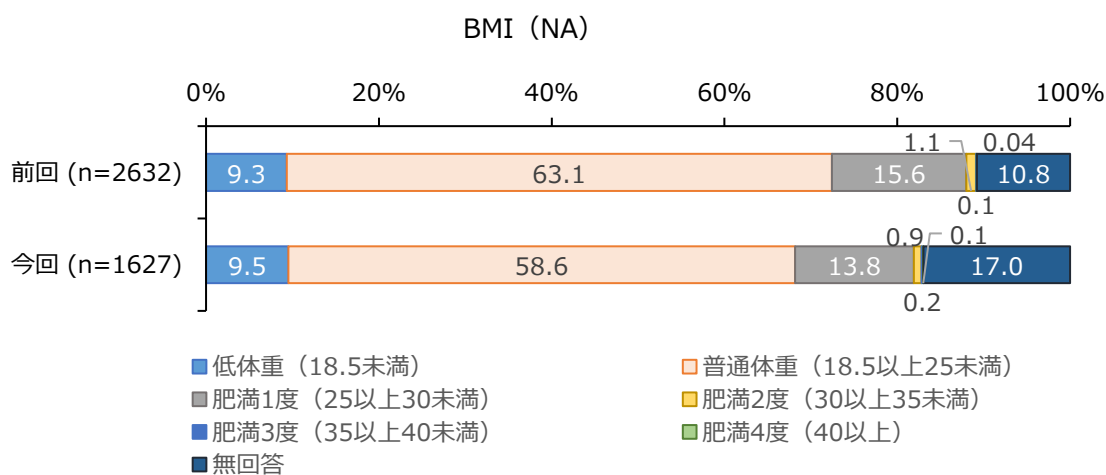
n=1150

#### 4. 高齢者調査結果

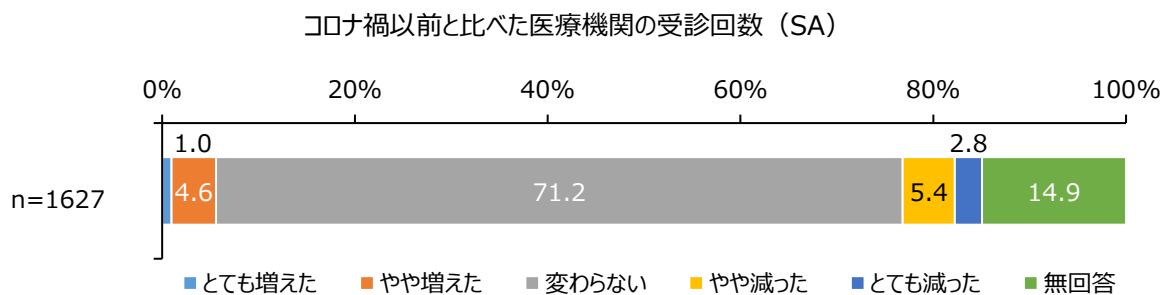
##### 問 24-11: 6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少／高齢者



##### 問 24-12: 身長・体重／高齢者

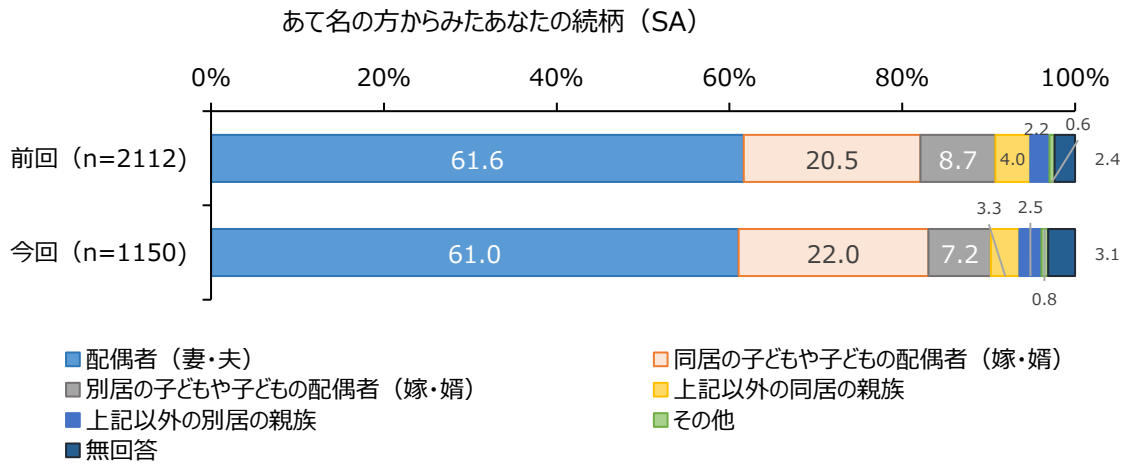


##### 問 24-17: コロナ禍以前と比べた医療機関の受診回数／高齢者



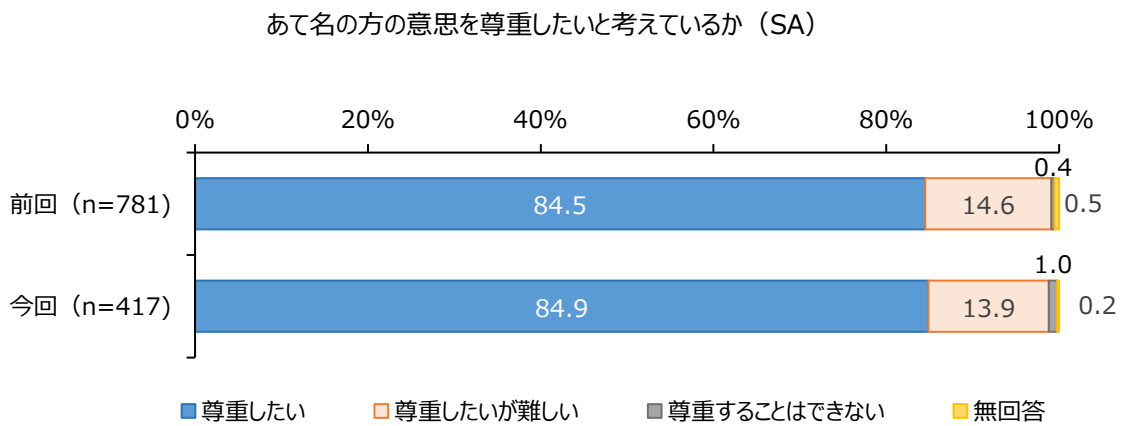
## 5. 家族調査結果（家族のみの設問）

問 3: あて名の方からみたあなたの続柄をお答えください。(1つに○) / 家族



※同居には同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含まれます。

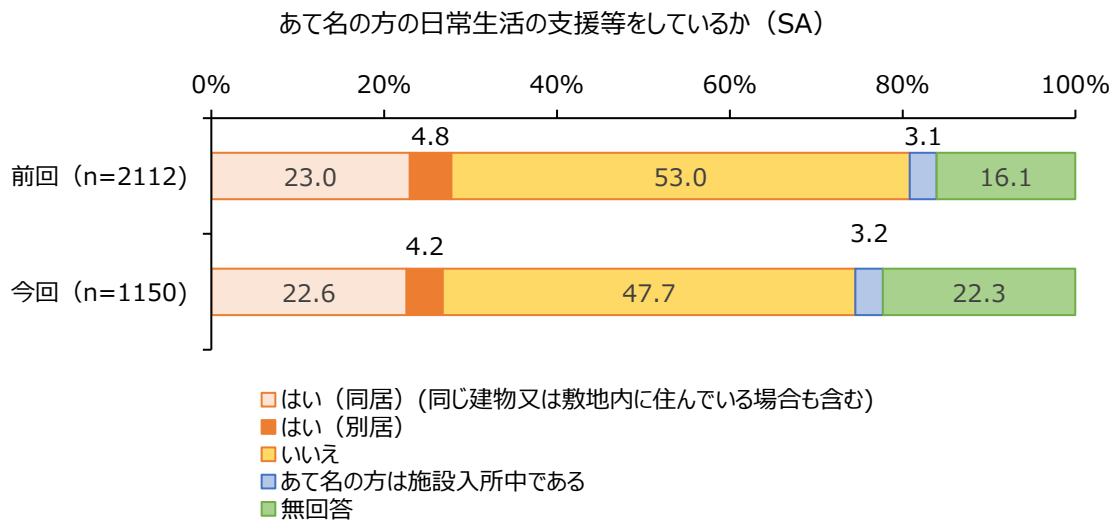
問 6-1: あて名の方の意思を尊重したいと考えていますか。(1つに○) / 家族



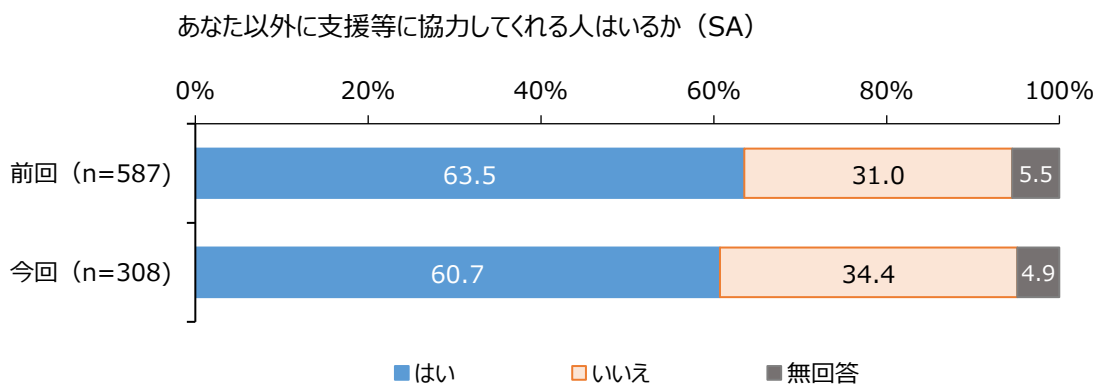
※問6で話をしたことが「ある」と回答した方

## 5. 家族調査結果（家族のみの設問）

### 問 9: あなたは、あて名の方の日常生活の支援や介護をしていますか。(1つに○)／家族

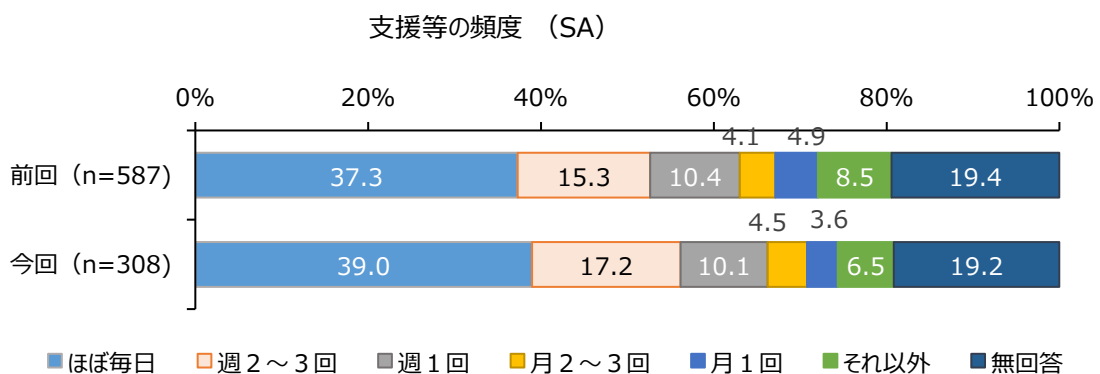


### 問 9-1: あなた以外に支援や介護に協力してくれる人はいますか。(1つに○)／家族



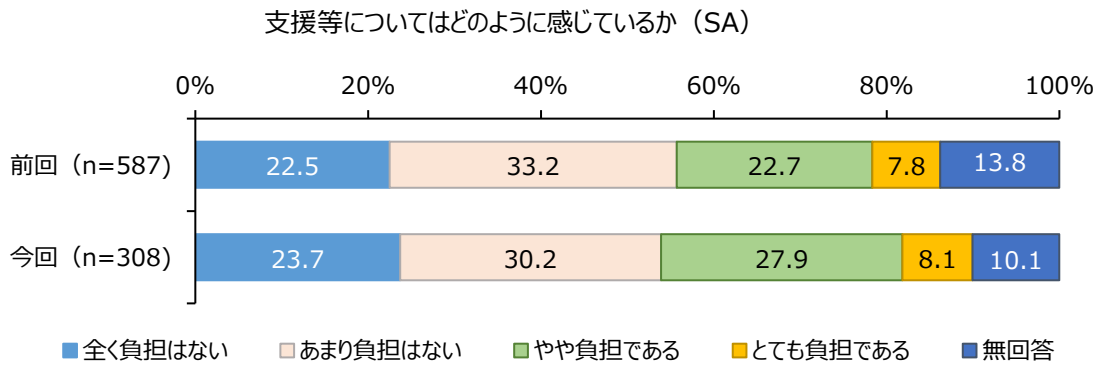
※問9で「はい(同居)」、「はい(別居)」と回答した方

### 問 9-2: 支援や介護の頻度をお答えください。(1つに○)／家族



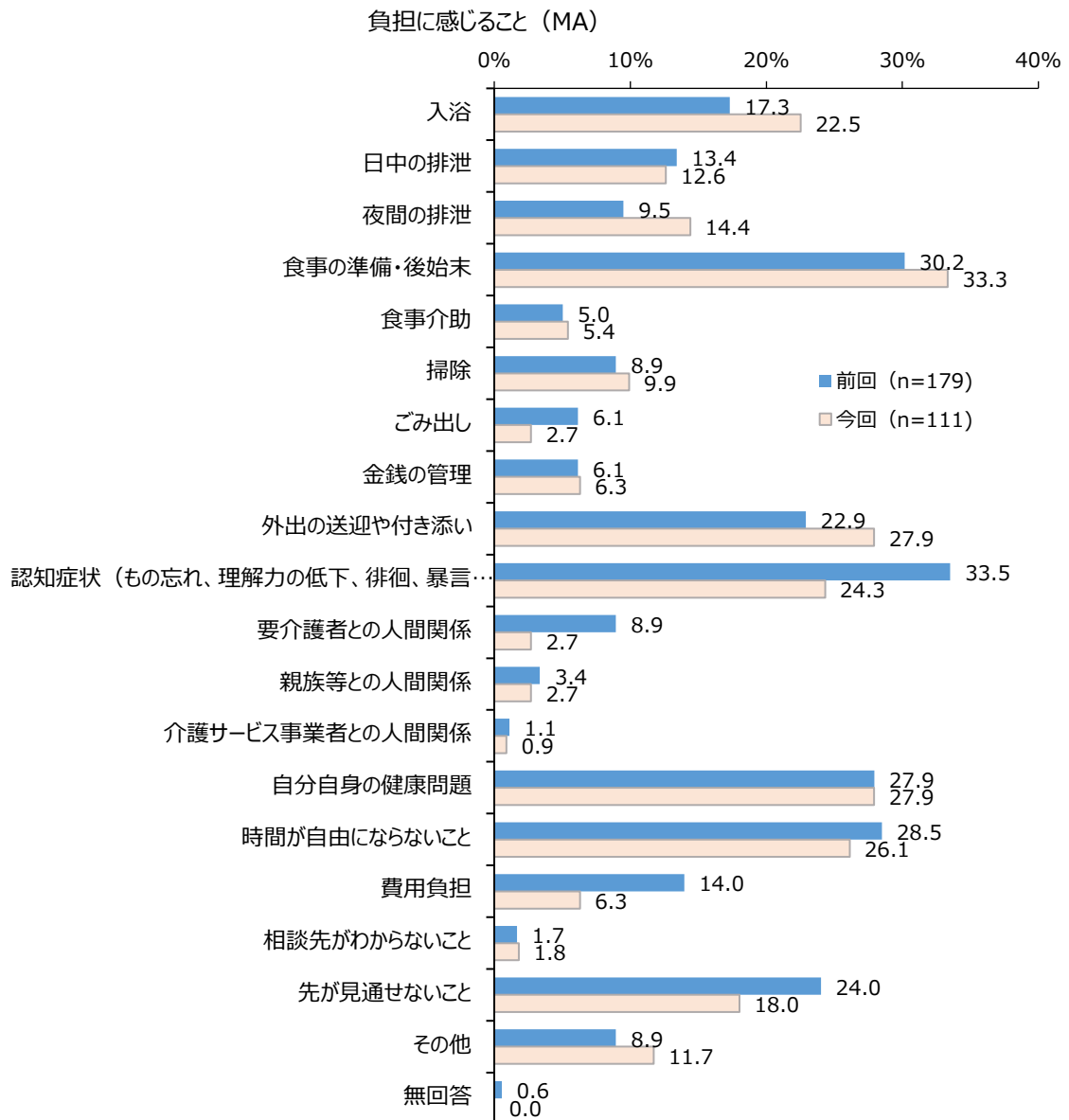
※問9で「はい(同居)」、「はい(別居)」と回答した方

問 9-3: 支援や介護についてはどのように感じていますか。(1つに○)／家族



※問9で「はい(同居)」、「はい(別居)」と回答した方

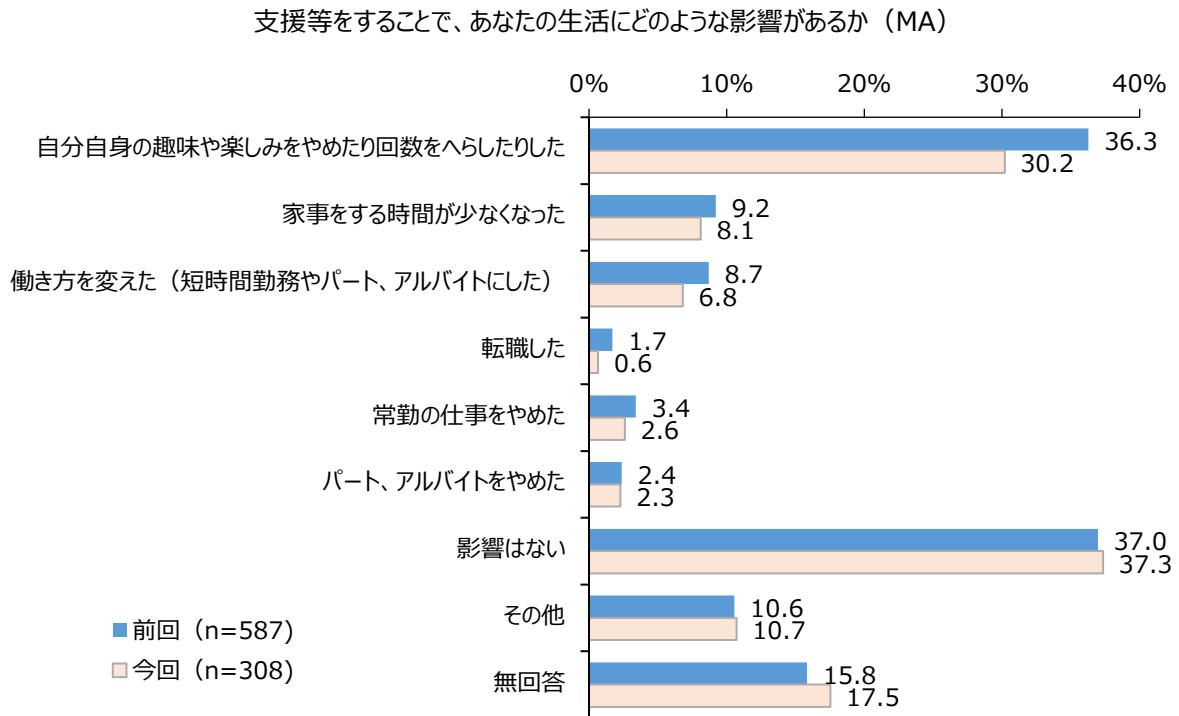
問 9-4: あなたが負担に感じるのはどのようなことですか。(3つまで○)／家族



※問9-3で「やや負担である」、「とても負担である」と回答した方

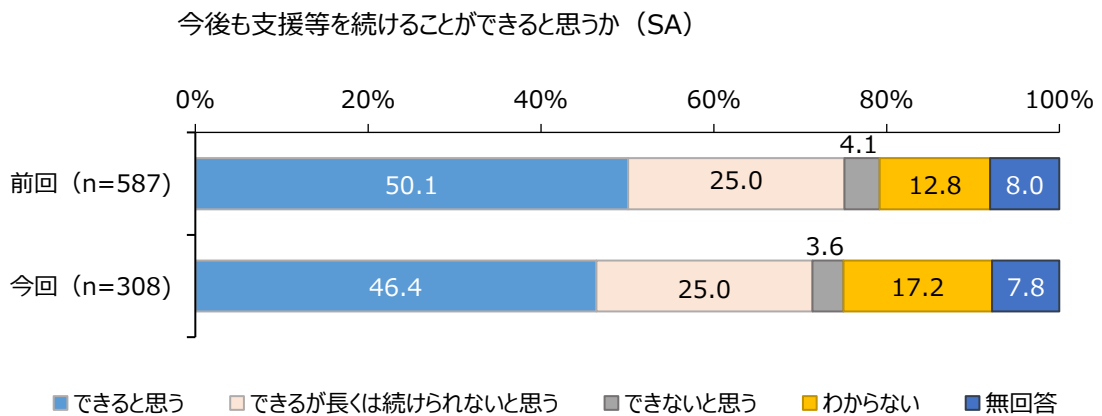
5. 家族調査結果（家族のみの設問）

問 9-5: 支援や介護をすることで、あなたの生活にどのような影響がありますか。(〇はいくつでも)／家族



※問9で「はい(同居)」、「はい(別居)」と回答した方

問 9-6: あなたは、今後も支援や介護を続けることができますか。(1つに〇)／家族



※問9で「はい(同居)」、「はい(別居)」と回答した方

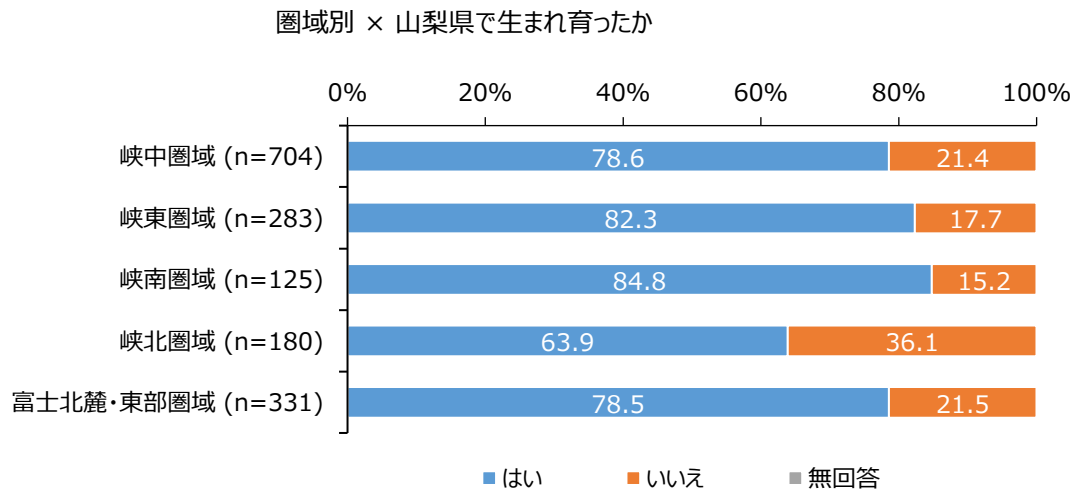


## 6. 圏域別結果

高齢者調査結果についての圏域別の結果は以下のとおり。

### 問4: あなたは山梨県で生まれ育ちましたか。(1つに○) / 高齢者

圏域別に「山梨で生まれ育ったか」をみると、峡中圏域、峡東圏域、峡南圏域、富士北麓・東部圏域で8割程度となっている。一方、峡北圏域では6割程度となっている。

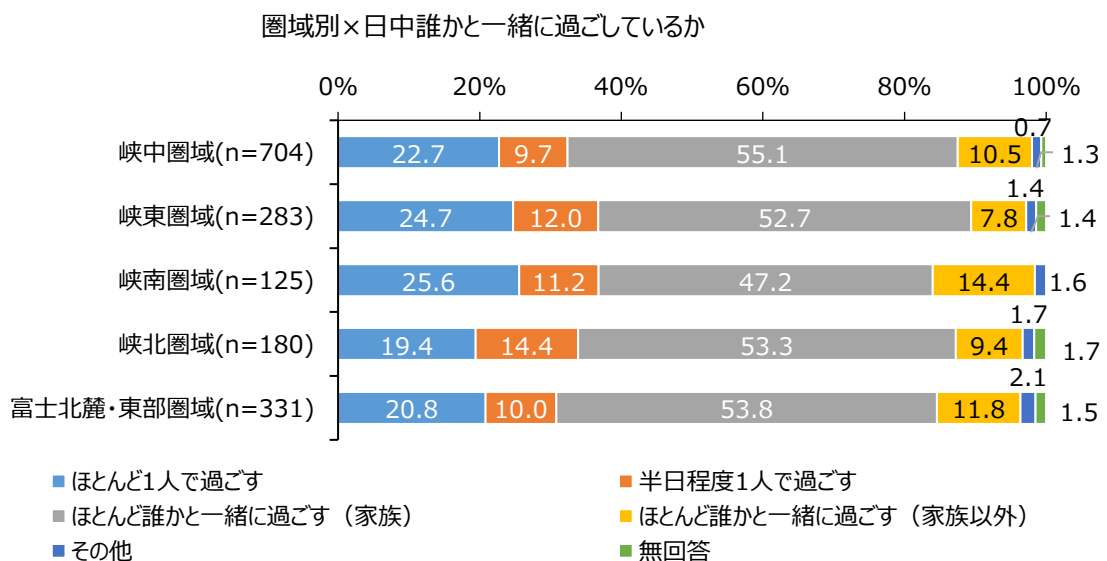


### 問6: あなたは日中誰かと一緒に過ごしていますか。(主なもの1つに○) / 高齢者

圏域別に「日中の過ごし方」をみると、峡南圏域で家族と過ごす割合が他圏域より低く、「ほとんど1人で過ごす」と、「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族以外)」の割合が高い傾向にある。

「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族)」と「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族以外)」の合計割合が最も高いのは、峡中圏域と富士北麓・東部圏域で65.6%となっている。

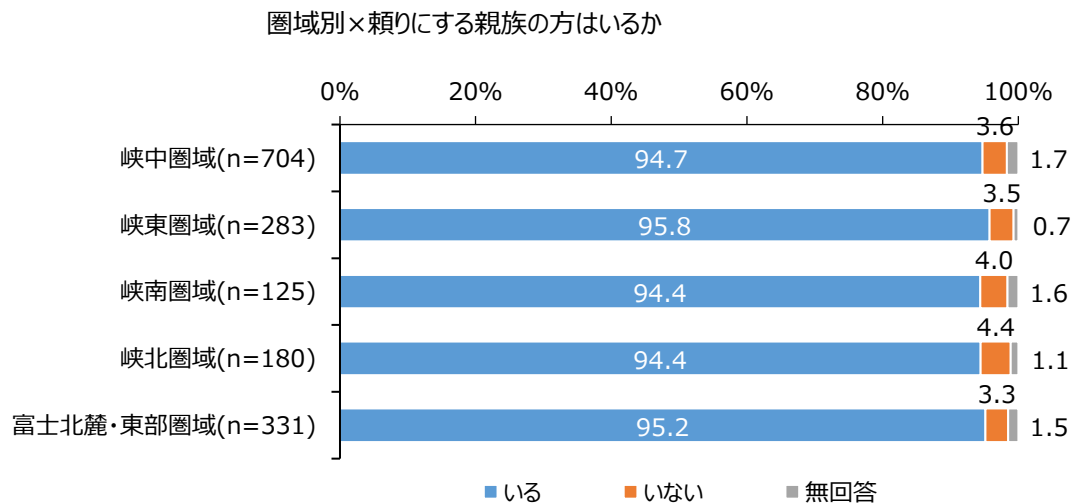
「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族)」の割合が最も高いのは峡中圏域で55.1%となっている。



## 6. 圏域別結果

### 問7:あなたが頼りにする親族(子、親、兄弟姉妹、親戚等)の方はいますか。(1つに○)／高齢者

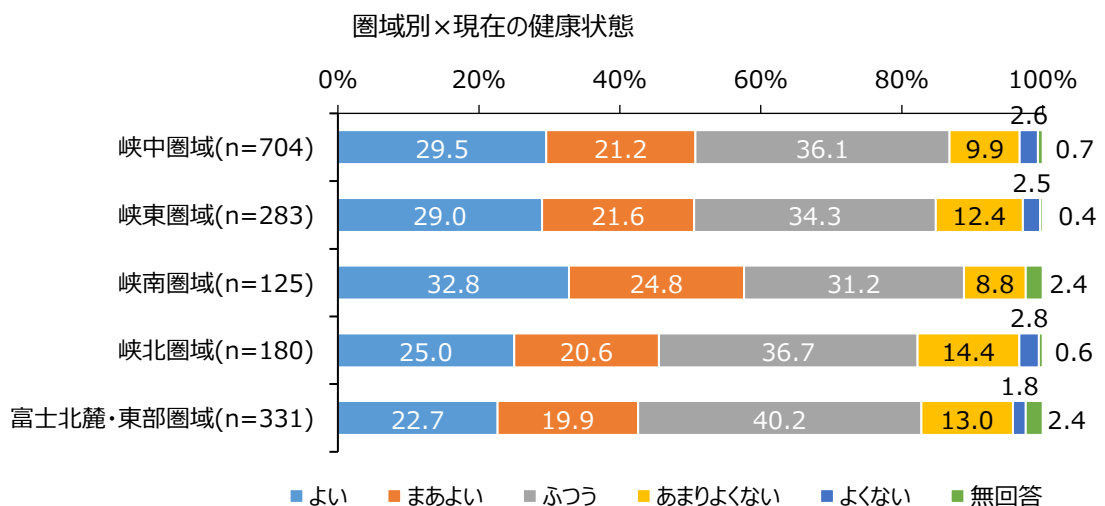
圏域別に「頼りにする親族」の有無をみると、各圏域とも9割以上で「いる」と回答しており、大きな差はみられなかった。



### 問9:あなたの現在の健康状態はいかがですか。(1つに○)／高齢者

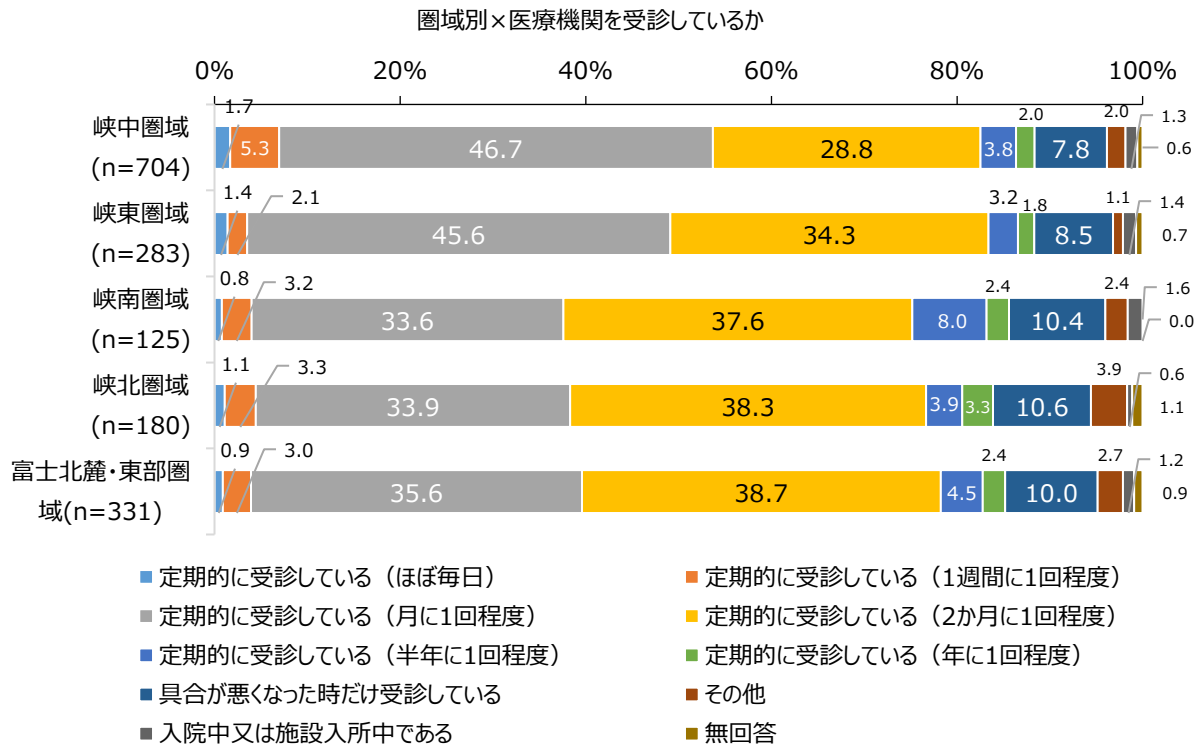
圏域別に「現在の健康状態」をみると、健康状態が「よい」、「まあよい」と回答した人の合計割合が最も高いのは峡南圏域であり、「よい」(32.8%)、「まあよい」(24.8%)の合計割合が57.6%となっている。

一方、健康状態が「あまりよくない」、「よくない」と回答した人の合計割合が最も高いのは峡北圏域で、合計で17.2%(14.4%、2.8%)となっている。



## 問 12: あなたは医療機関を受診していますか。(1つに○) / 高齢者

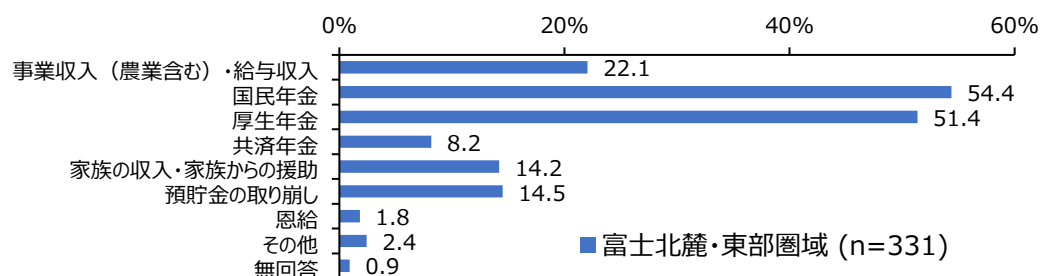
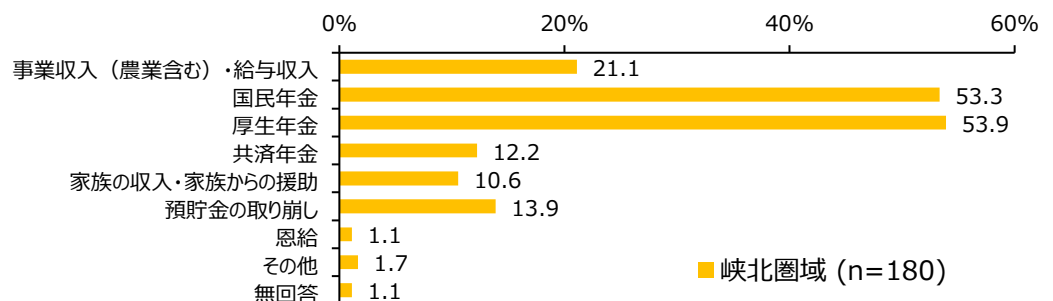
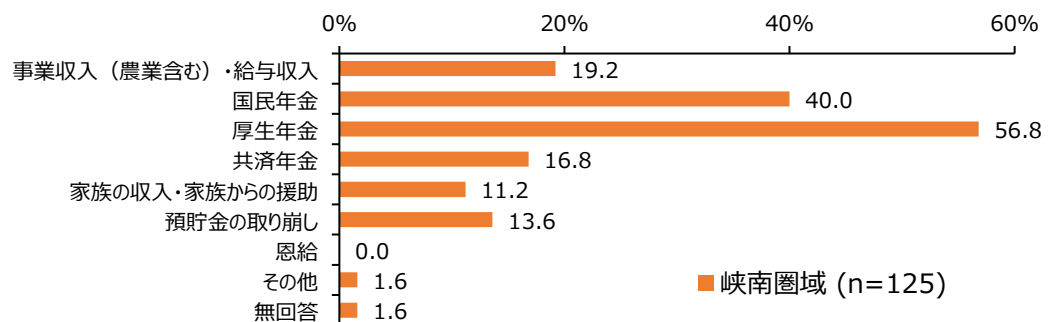
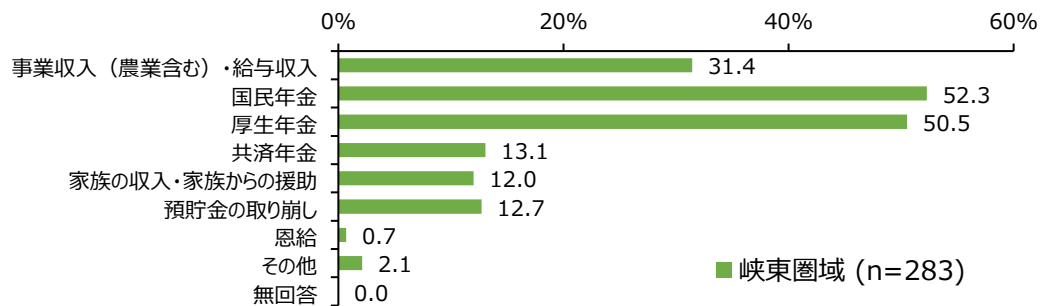
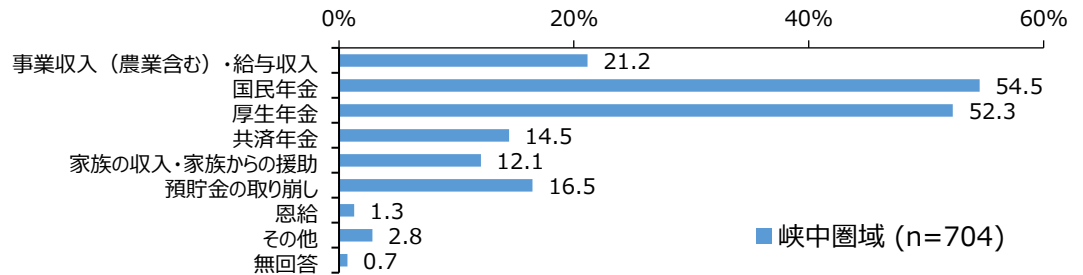
圏域別に「医療機関の受診」頻度をみると、「定期的に受診している(ほぼ毎日)」、「定期的に受診している(1週間に1回程度)」、「定期的に受診している(月に1回程度)」で、峡中圏域の割合が他圏域の割合と比べて高くなっている。



## 6. 圏域別結果

### 問 13: あなたの生活費(収入)についてお答えください。(〇はいくつでも)／高齢者

圏域別に「生活費(収入)」の種類をみると、いずれの圏域においても「国民年金」「厚生年金」が各々4~5割台と多くなっている。また、峡東圏域では「事業収入(農業含む)・給与収入」が他の圏域の割合よりも多く、31.4%となっており、要因として農業により収入を得ている高齢者が多いことが考えられる。

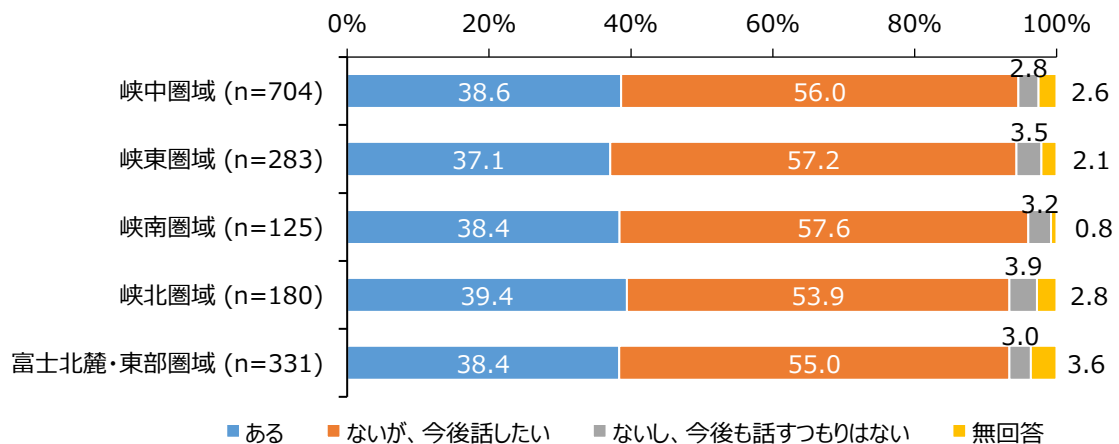


問 14: あなたが今後、病気になった時や介護が必要になった時にどのような生活を望むか、家族や身近な人に話したり伝えたりしたことがありますか。(1つに○)／高齢者

圏域別に「病気や介護が必要になった時に自分が希望する生活を家族などに話したこと」の有無をみると、各圏域とも話したことが「ある」が4割程度であり、大きな差は見られなかった。

また、話したことは「ないが、今後話したい」も含めると、各圏域とも9割を超えている。

圏域別×介護が必要になった時等にどのような生活を望むか、家族や身近な人に話したり伝えたりしたことがあるか



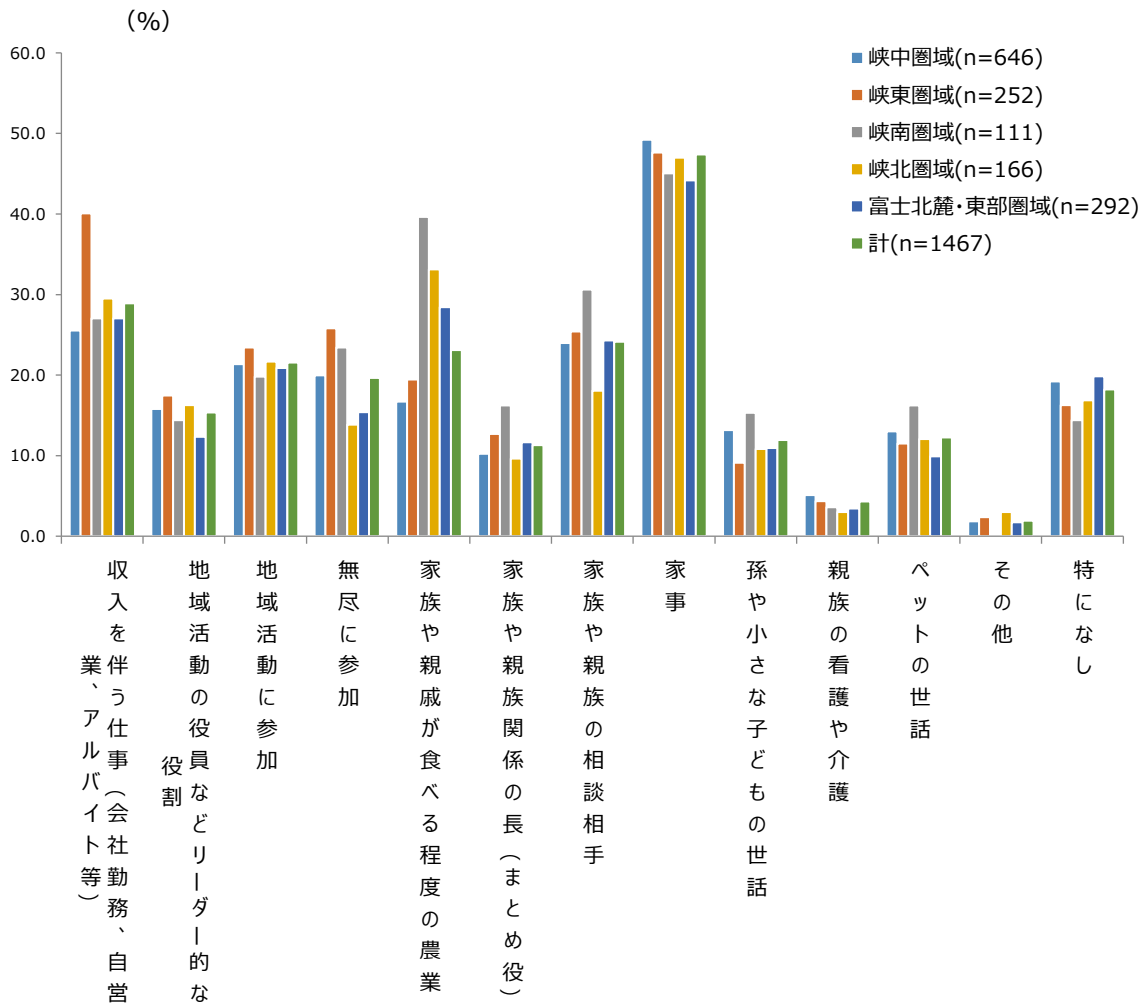
## 6. 圏域別結果

問 16: あなたの社会参加・役割について、現在の状況についてお答えください。(〇はいくつでも)  
／高齢者

圏域別に「社会参加・役割」をみると、「家事」の割合が各圏域とも最も高かった。

峡東圏域では、「収入を伴う仕事(会社勤務、自営業、アルバイト等)」の割合が他圏域の割合よりも高く、峡南圏域では、「家族や親戚が食べる程度の農業」、「家族や親族の相談相手」等の割合が他圏域の割合よりやや高い傾向にある。

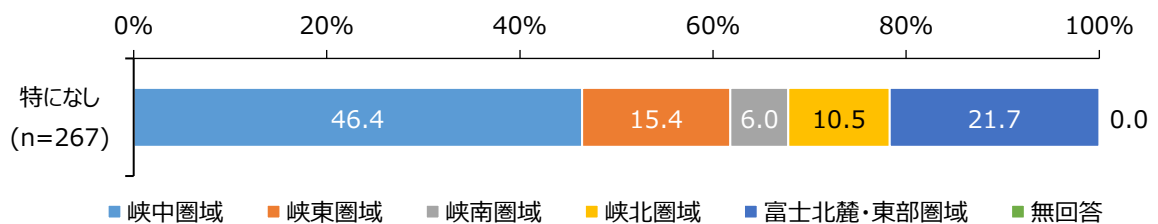
圏域別×社会参加・役割\_現在の状況



※「無回答」を除いて集計

### 【参考】

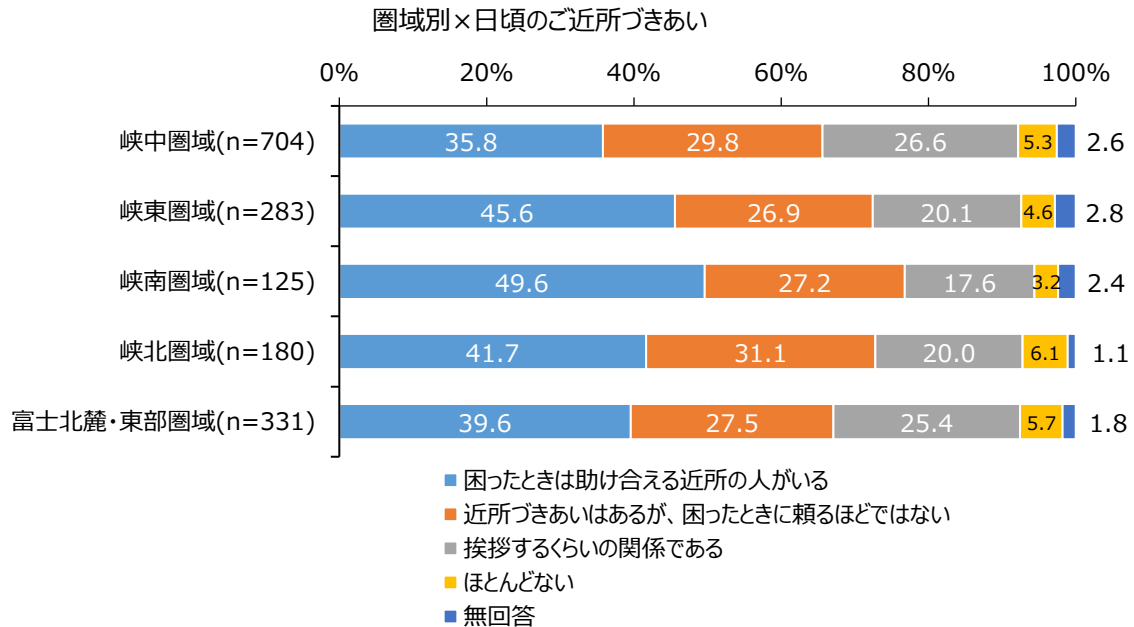
圏域別 × 社会参加・役割\_現在 = 「特になし」



## 問 17: あなたの日頃のご近所づきあいについてお答えください。(1つに○) / 高齢者

圏域別に「日頃の近所づきあい」についてみると、峡南圏域、峡東圏域において「困ったときは助け合える近所の人がある」の割合が高く、峡中圏域で低くなっている。

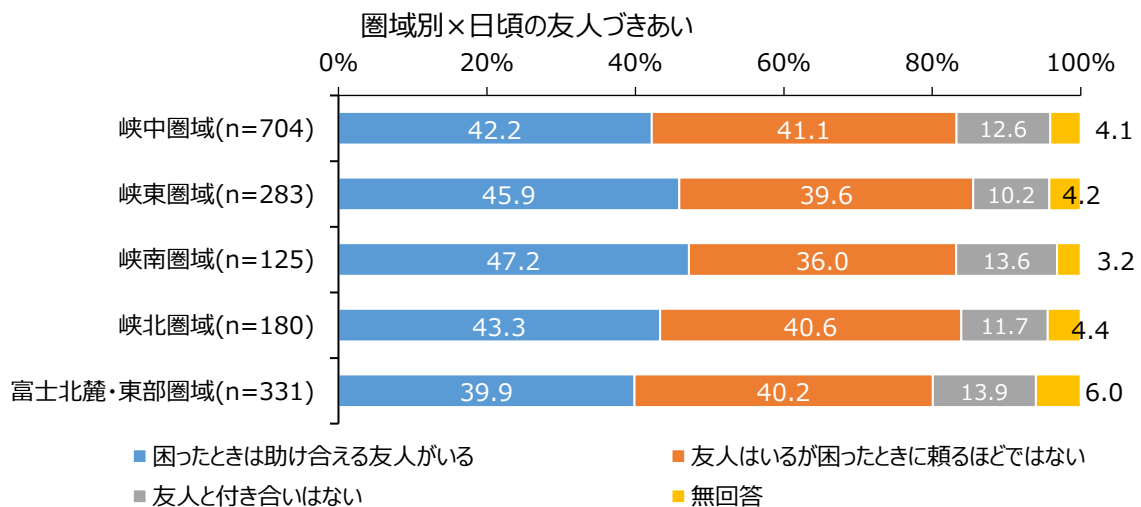
一方、「挨拶するくらい関係である」は、峡中圏域の割合が最も高くなっている。



## 問 18: あなたの日頃の友人づきあいについてお答えください。(1つに○) / 高齢者

圏域別に「日頃の友人づきあい」についてみると、峡東圏域、峡南圏域では、「困ったときは助け合える友人がいる」の割合が比較的高かった。

一方、峡中圏域では、「友人はいるが困ったときに頼るほどではない」の割合が、他の圏域と比較してやや高くなっている。

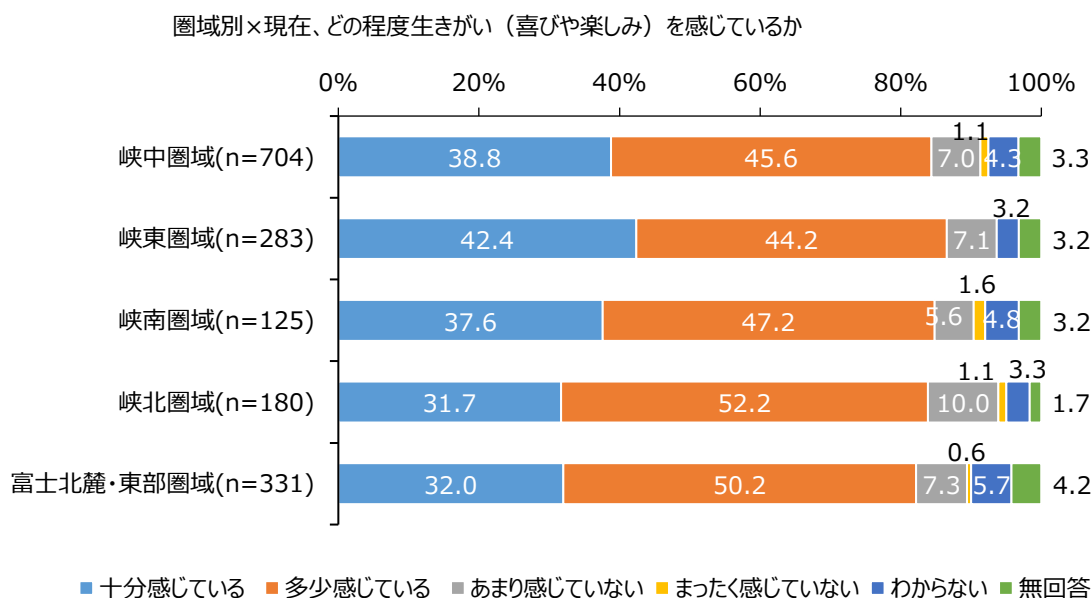


## 6. 圏域別結果

問 20: あなたは、現在、どの程度生きがい(喜びや楽しみ)を感じていますか。(1つに○)/高齢者

圏域別に「生きがいの感じ方」をみると、峡東圏域で「十分感じている」の割合が他圏域の割合よりも高く、「十分感じている」「多少感じている」を合計した割合でも、峡東圏域が最も高くなっている。

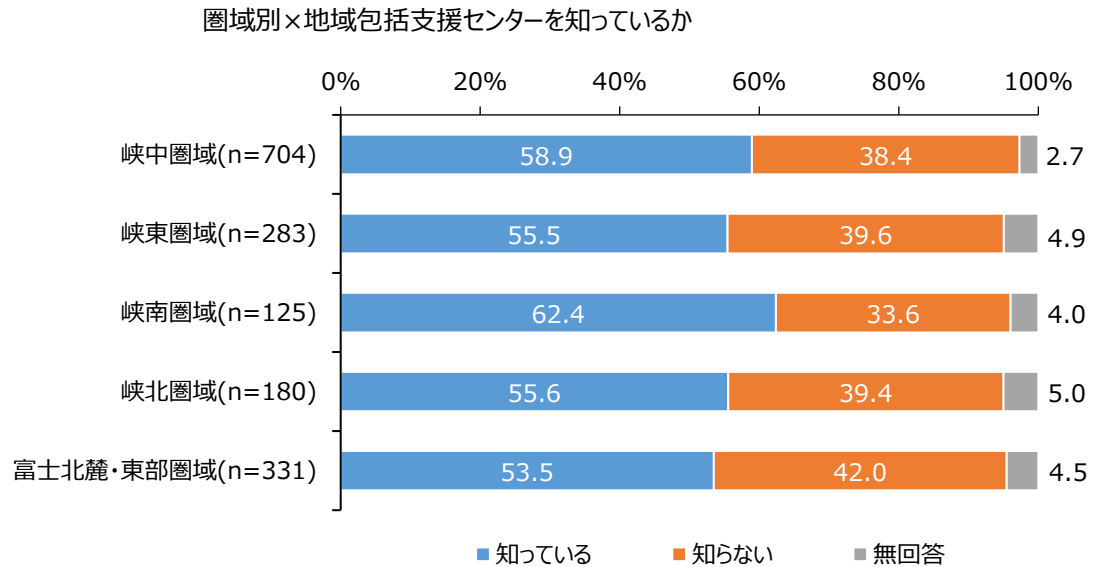
一方、「あまり感じていない」と「まったく感じていない」を合計した割合は、大きな差はみられなかった。





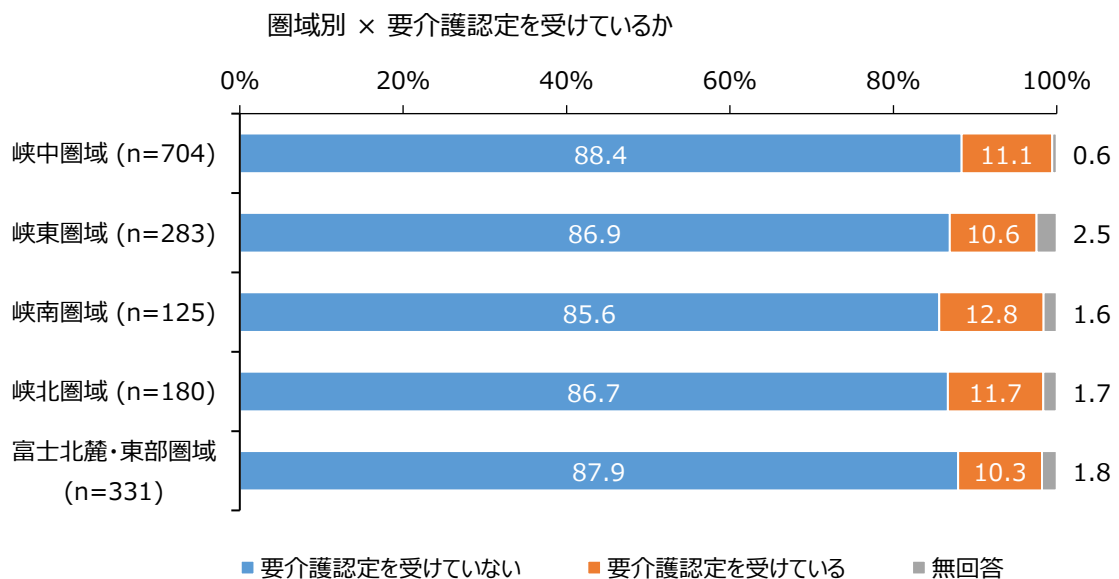
問 21: あなたは介護保険の相談先である地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)／高齢者

圏域別に地域包括支援センターの認知度をみると、峡南地域で認知度が高く、富士・東部圏域でやや低い傾向にある。



問 22: あなたは要介護認定を受けていますか。(1つに○)／高齢者

圏域別に要介護認定をみると、各圏域とも8割以上が「要介護認定を受けていない」と回答しており、大きな差はみられなかった。



## 7. 調査結果からの考察

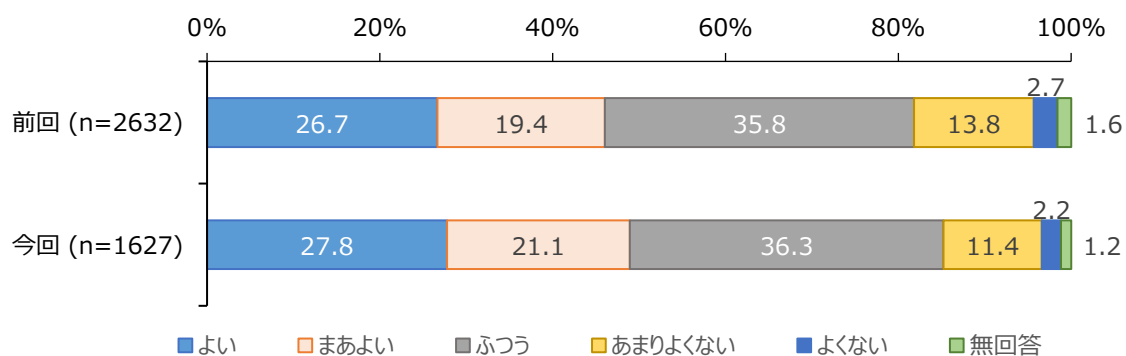
### 7-1. 前回（3年前）調査と今回（2022年）調査比較から見る現状

3年前の調査と今回の調査結果について、「主観的健康感と認定率」、「介護者負担」、「外出頻度」、「サービス利用の特徴」、「人付き合いの程度」などの比較からその変化を確認した。

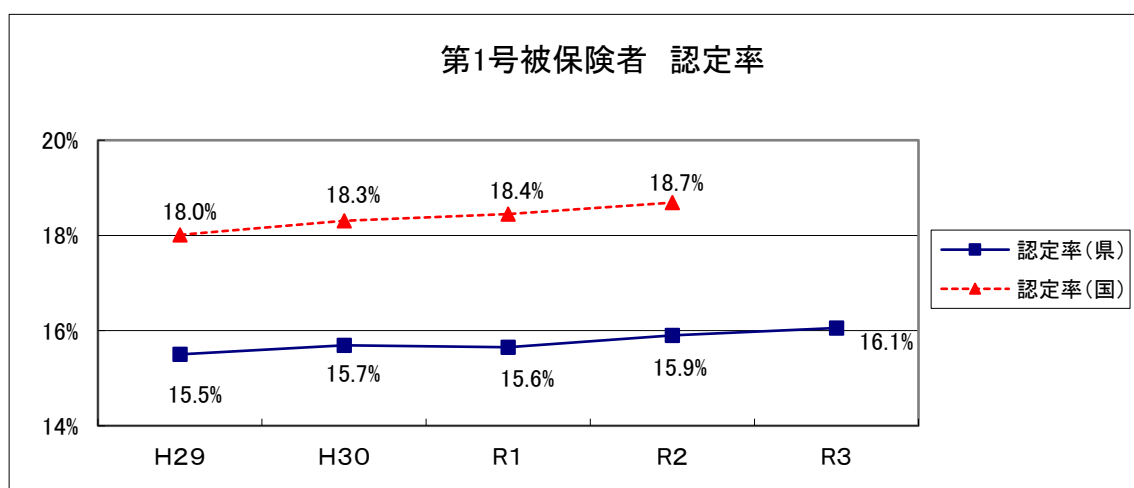
#### 7-1-1. 主観的健康観と認定率

図表1より、「主観的健康観」は前回調査からやや改善傾向となった。認定率についても全国より低い傾向が続いている(図表2)。

図表 1 高齢者の健康感（「あなたは健康だと思いますか」）



図表 2 第1号被保険者の認定率（国・山梨県）



出典：山梨県「令和3年度介護保険事業状況報告(速報値)」

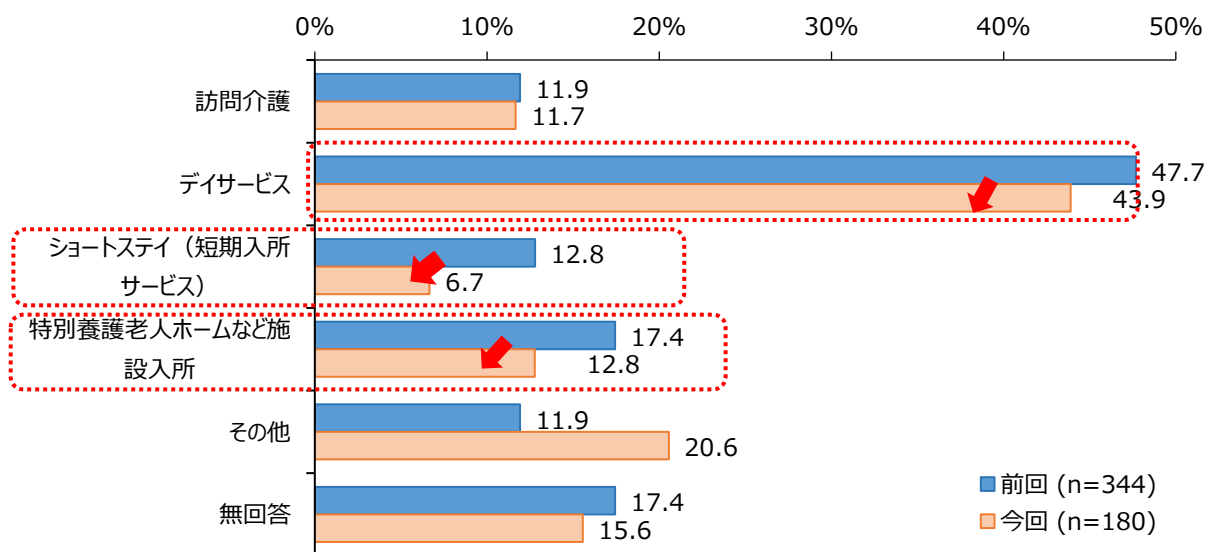
## 7-1-2. 家族の介護負担

図表3より、コロナ禍で、介護サービスの利用を控える傾向がみられた。

図表4より、日常生活の助けを「毎日」受ける頻度が「入浴」、「排泄」、「食事の準備・後始末」、「食事介助」、「家事」の全てにおいて増加しており、図表5の家族側からの回答からも、頻度の増加が確認できた。

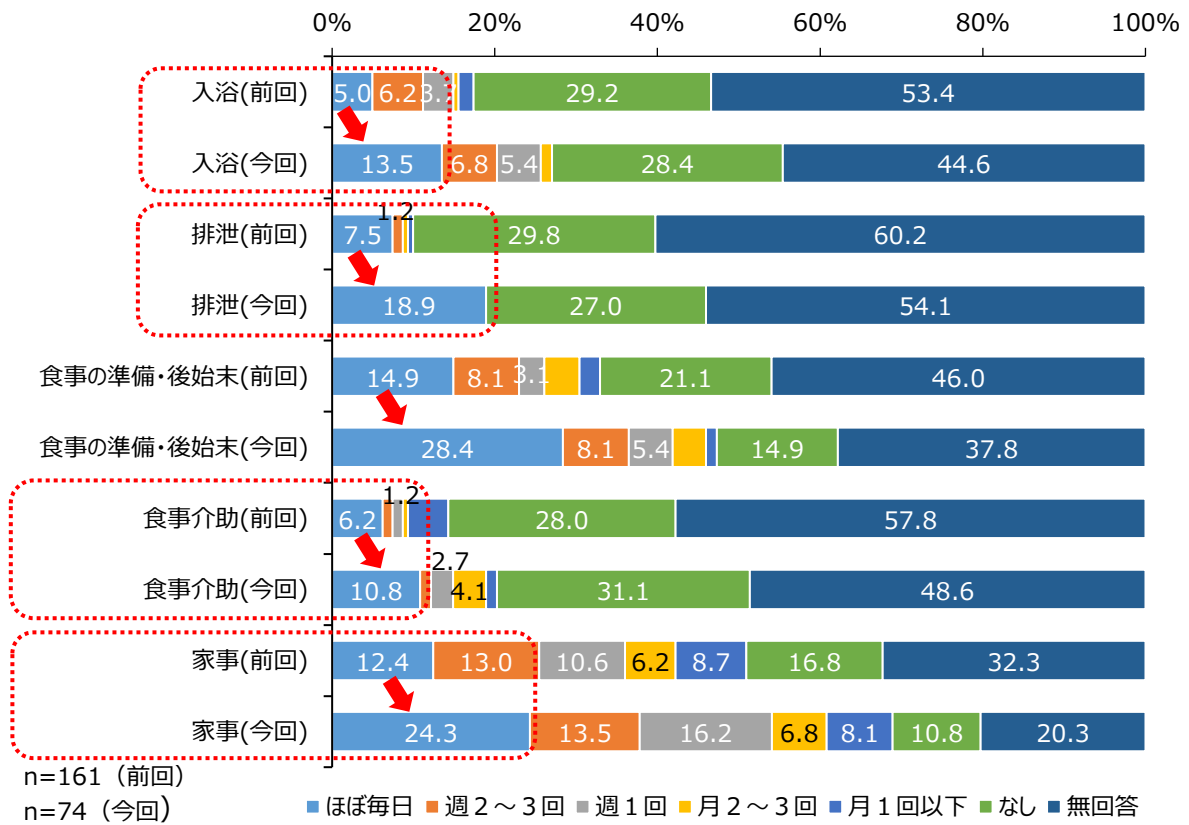
一方で、図表6～8より、家族以外からの協力は減っており、その結果、身近な介護者の負担が増加し、今後の介護を不安視する傾向がみられた。

図表 3 利用している介護サービス（高齢者本人による回答）

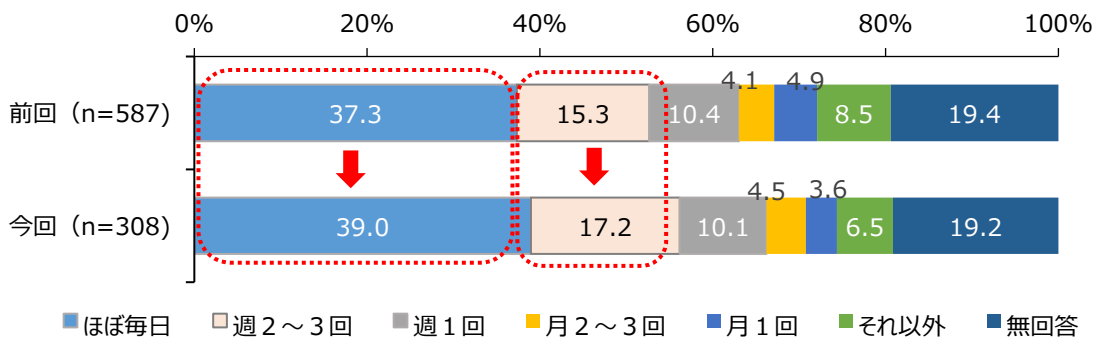


7. 調査結果からの考察

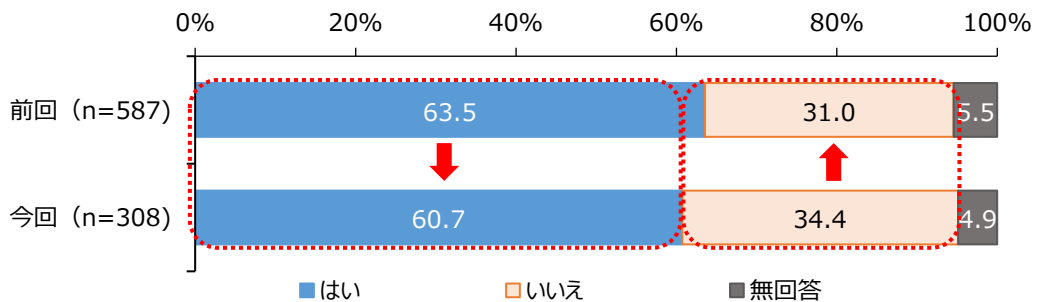
図表4 別居の親族から日常生活の助けを受けている頻度（高齢者本人による回答）



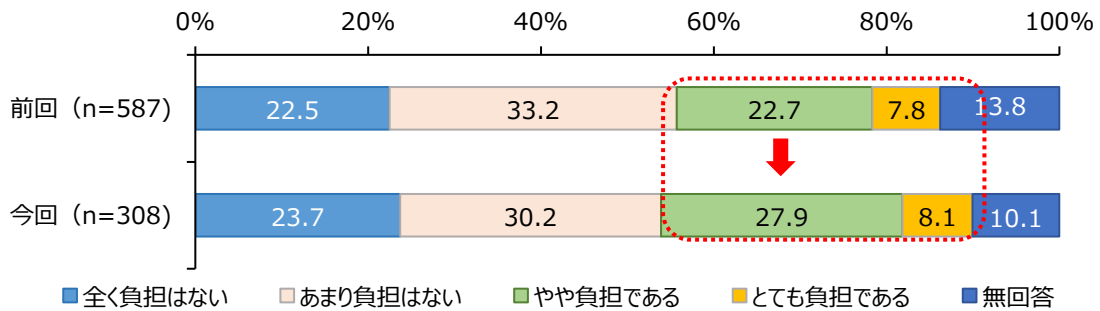
図表5 日常生活の支援等の頻度（家族による回答）



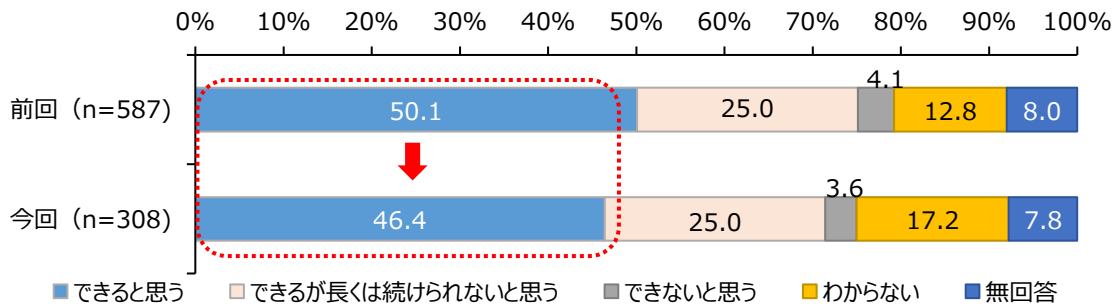
図表6 あなた（家族）以外の協力者はいるか（家族による回答）



図表7 支援の負担（家族による回答）



図表8 今後の支援（家族による回答）



### 7-1-3. 外出機会・集まりへの参加意欲・日中の過ごし方

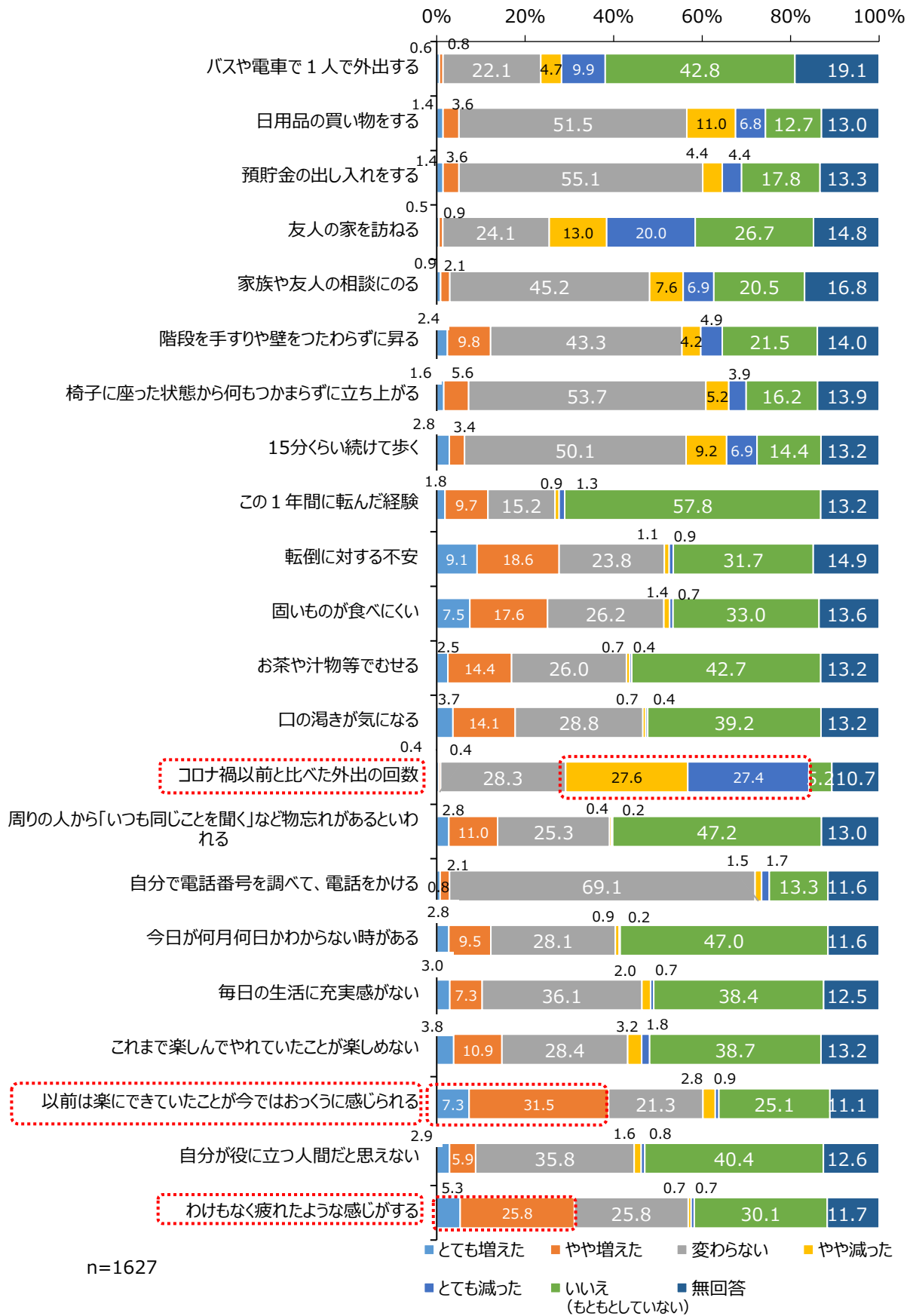
図表9から、「外出回数」が減少、「以前は楽にできたことが今ではおっくうに感じる」や「わけもなく疲れた感じがする」が増加している。

また、図表10より、集まり等の参加について「何もしたくない」が増加している。

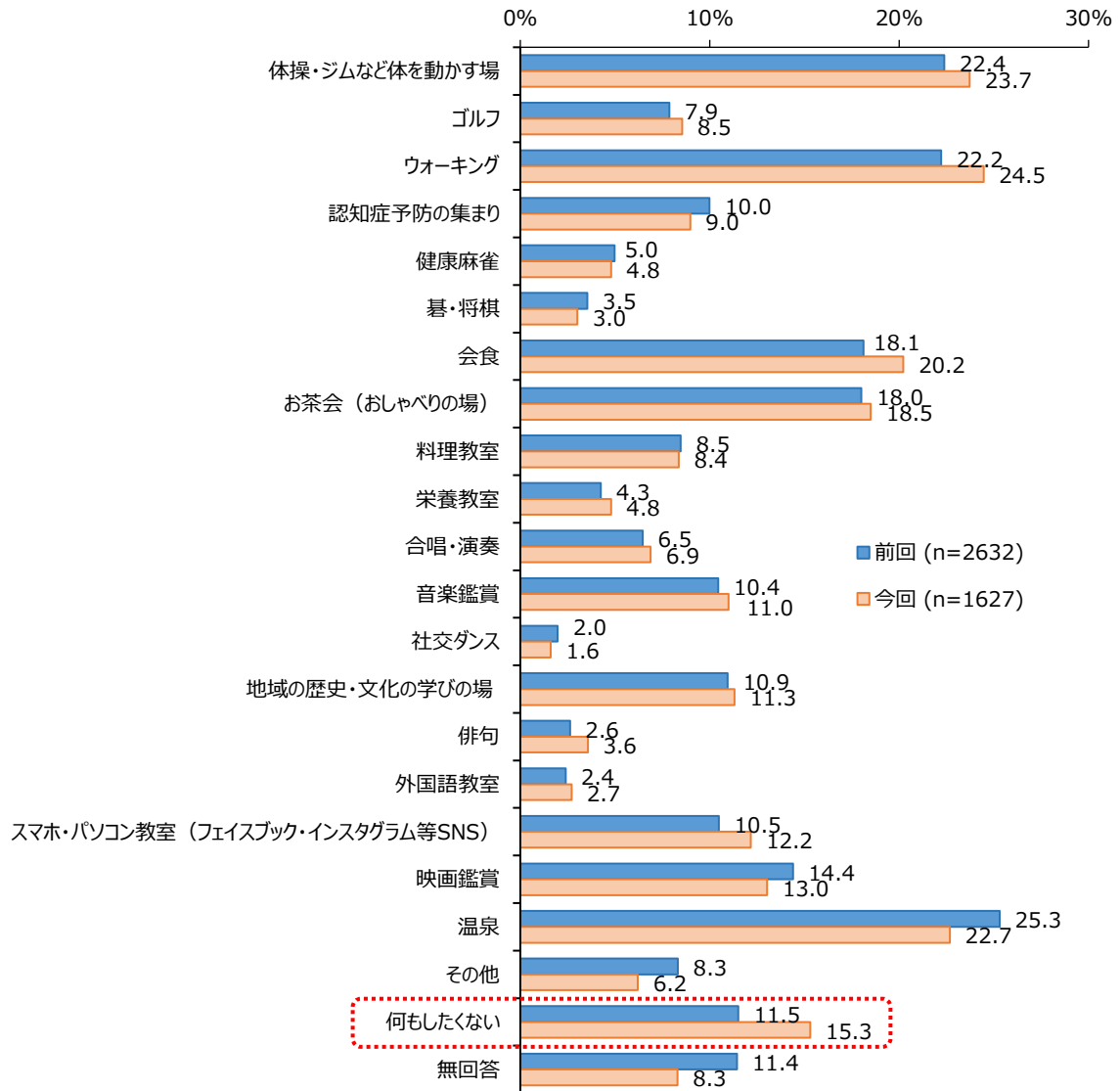
さらに、図表11より、日中は「ほとんど一人で過ごす」層と「ほとんど誰かと一緒に過ごす（家族）」が増加している。

加齢やコロナ禍により医療機関の受診や集まる機会が減少し、1人で過ごす高齢者が増えた一方で、家族が一人暮らしの高齢者宅へ支援に行く機会や、外出自粛等で同居家族も共に過ごす時間が増えたことが想定される。

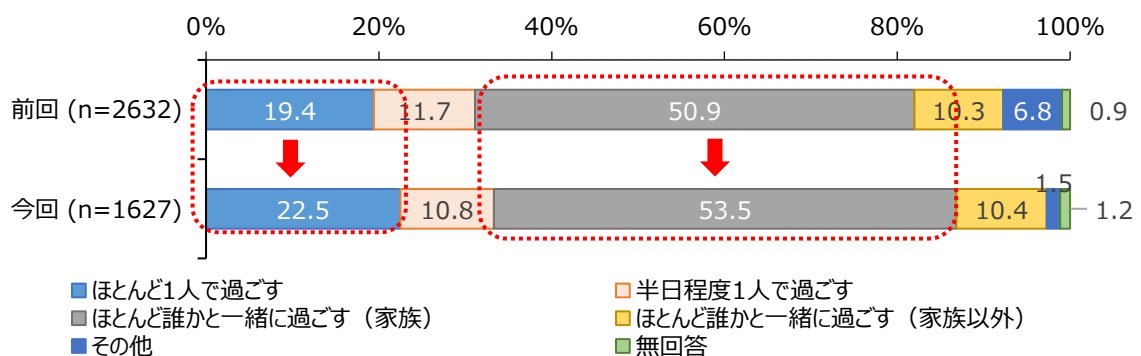
図表9 現在の状況（高齢者本人による回答）



図表 10 参加したい集まり（高齢者本人による回答）



図表 11 日中誰かと一緒に過ごしているか（高齢者本人による回答）



7-1-4. 介護保険制度の周知

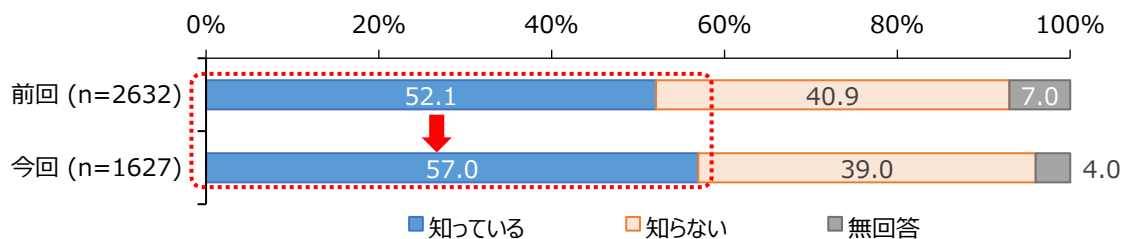
【現状】

図表 12 より地域包括支援センターの認知度は改善しているが、圏域別では、「富士・東部地域」で認知度がやや低い傾向がある(図表 13)。

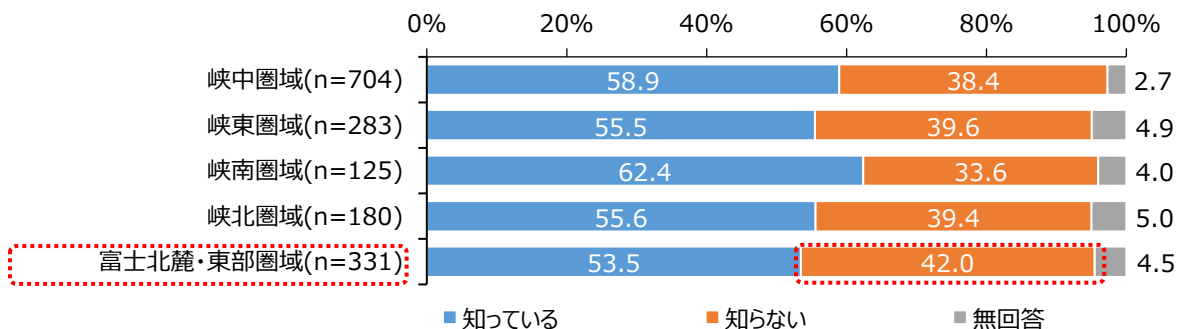
家族についても図表 14 のとおり、認知度は改善している。

一方で、高齢者、家族ともに制度の周知を求める声は一定数存在する(図表 15)。

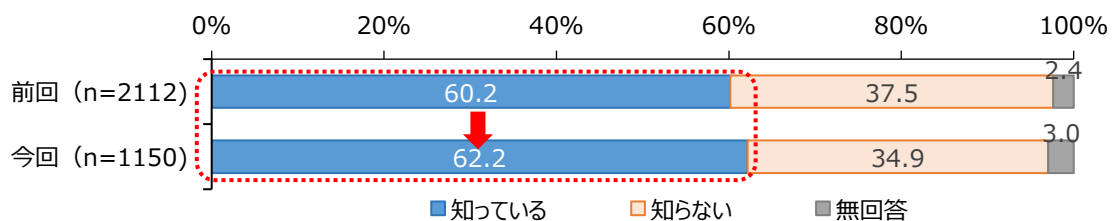
図表 12 地域包括支援センターの認知度（高齢者本人による回答）



図表 13 (圏域別)地域包括支援センターの認知度（高齢者本人による回答）



図表 14 地域包括支援センターの認知度（家族による回答）



図表 15 介護保険制度全般についての意見のなかで情報提供に関してよくみられた回答

(高齢者)
・介護保険制度の利用方法がよく分からない。
・介護保険制度を健康なうちに熟知できるよう勉強会やパンフレットなどがあれば良い。
(家族)
・介護保険を利用したいと思った時に、どこでどのような手続きをしたら良いか具体的な方法を知らない人が多い。情報をもっと分かりやすく出すべきである。
・いざというときにどこに相談すればいいかわからない。

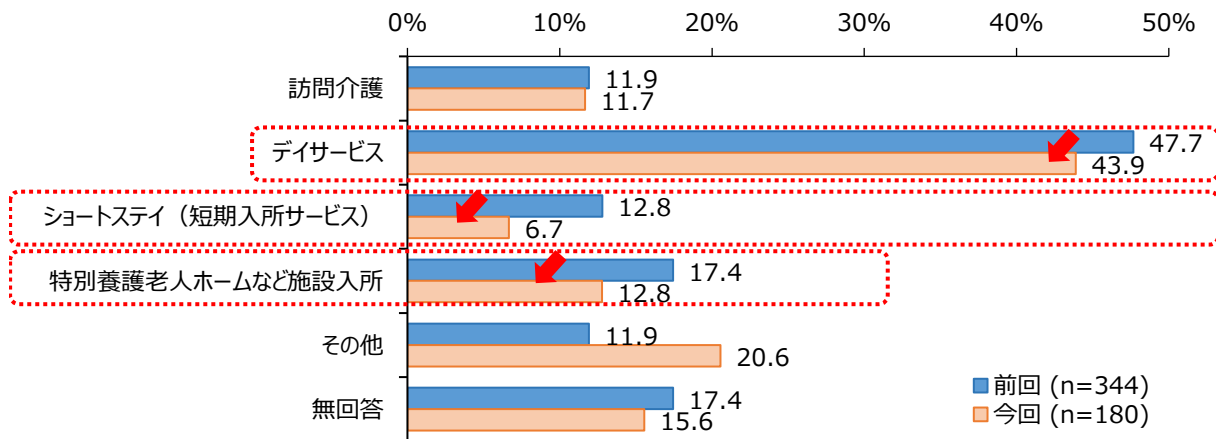


## 7-1-5. サービス利用の特徴

## 【現状】

デイサービス、ショートステイ、施設入所利用が減少している(図表 16)。これは、新型コロナウイルス感染症による介護サービスの利用控えや、サービス提供が減少したことが想定される。

図表 16 利用している介護サービス（高齢者本人による回答）

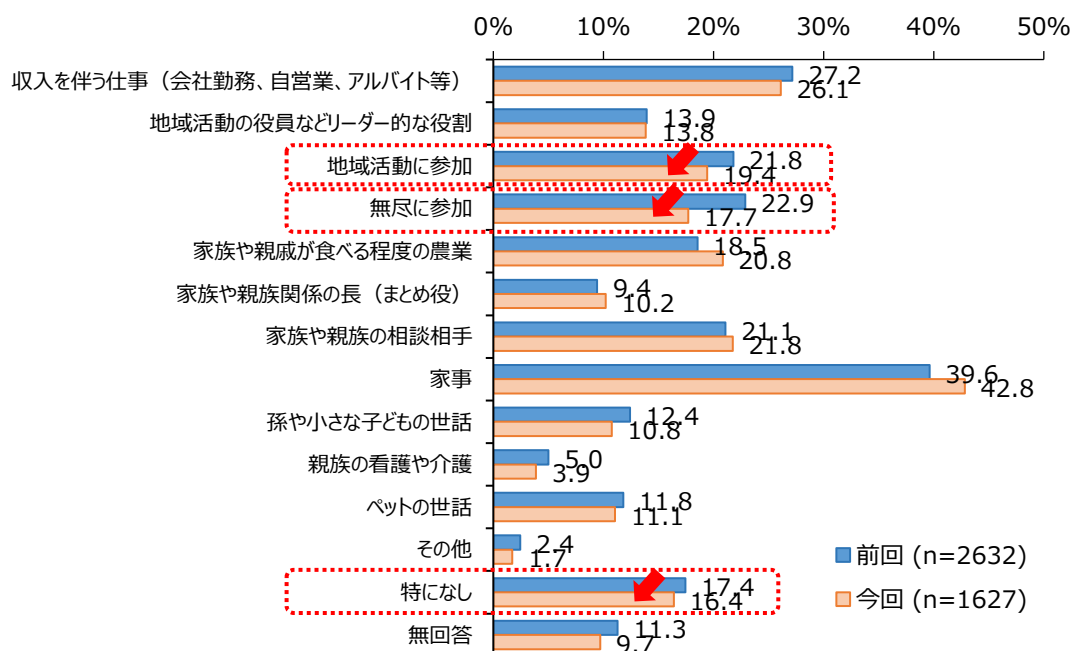


## 7-1-6. 社会参加・役割に関する圏域別の特徴

図表 17 から、「地域の活動への参加」や「無尽に参加」など、家族以外の方との交流に関する活動が減少している。これは、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる。また、「特になし」も1割強となっている。

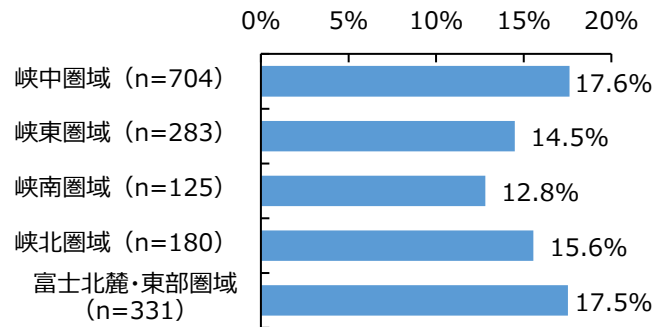
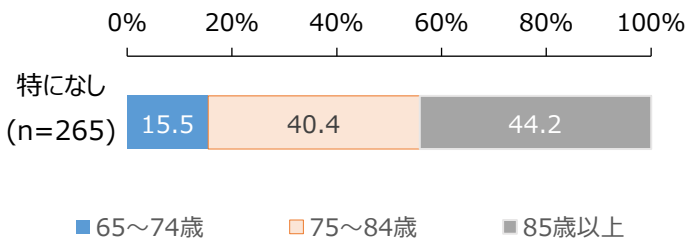
図表 18 のとおり、「特になし」の回答は年齢が上がるにつれて増えており、圏域では「峡中圏域」、「富士・東部圏域」で高くなっている(図表 19)。

図表 17 社会参加・役割\_現在の状況（高齢者本人による回答）



## 7. 調査結果からの考察

図表 18 年齢別：社会参加・役割「特になし」 図表 19 圏域別：社会参加・役割「特になし」



### 7-1-7. 人間関係について

#### (近所づきあい)

図表 20 から、「困ったときは助け合える近所の人がある」の割合が前回の調査に比べて減少し、「挨拶するくらいの関係である」が増加している。

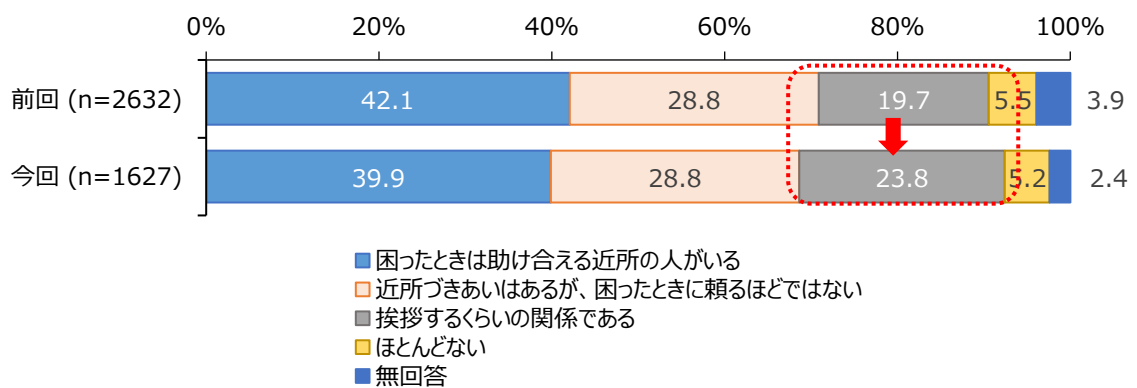
圏域別にみると、峡南圏域において「困ったときは助け合える近所の人がある」と「近所づきあいはあるが、困ったときに頼るほどではない」を合わせた＜近所づきあいがある＞割合が高く、峡中圏域で低くなっている(図表 21)。

#### (友人づきあい)

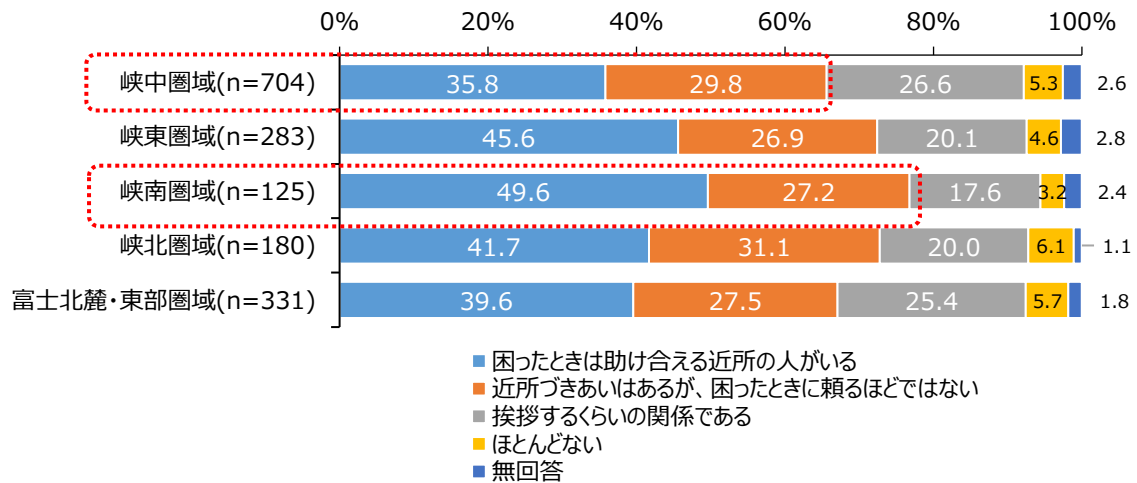
図表 22 から、「友人と付き合いはない」の割合が前回の調査に比べて増加している。

圏域別にみると、富士・東部圏域では、他の圏域と比較して、「困ったときは助け合える友人がいる」の割合が若干低くなっている。(図表 23)。

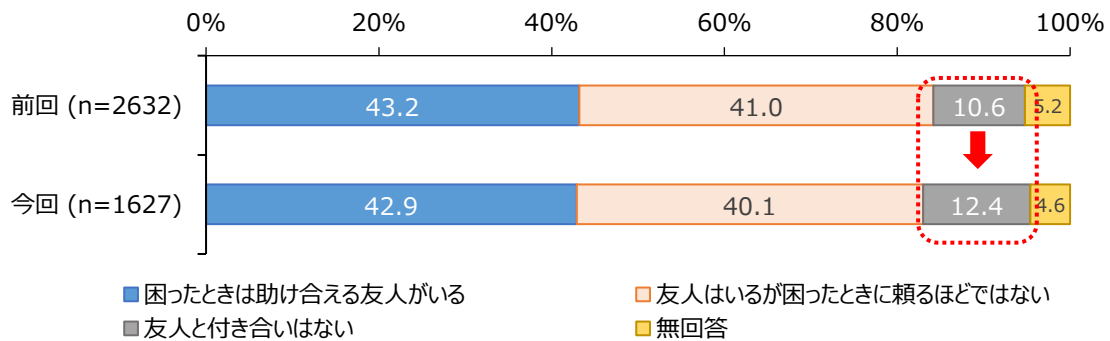
図表 20 日頃のご近所づきあい（高齢者本人による回答）



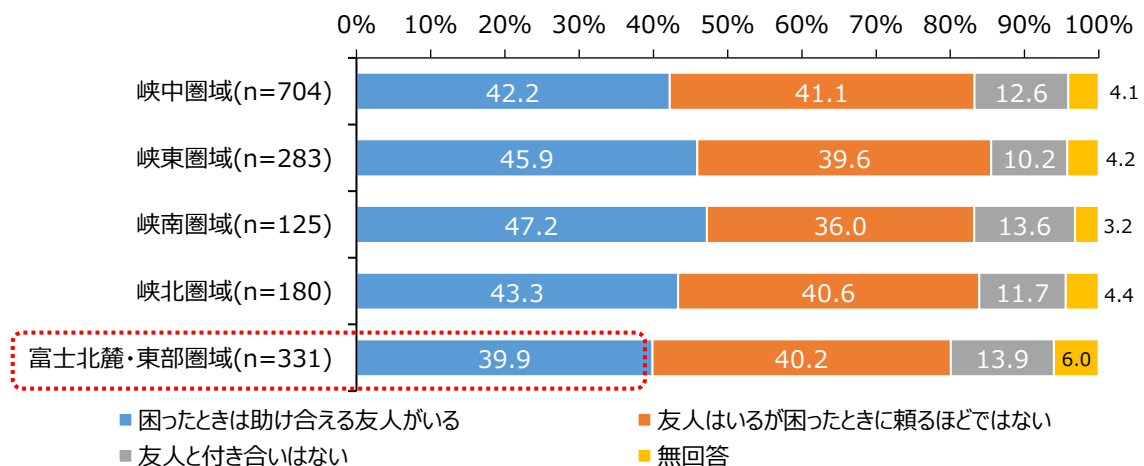
図表 21 圏域別：日頃のご近所づきあい（高齢者本人による回答）



図表 22 日頃の友人づきあい（高齢者本人による回答）



図表 23 圏域別：日頃の友人づきあい（高齢者本人による回答）



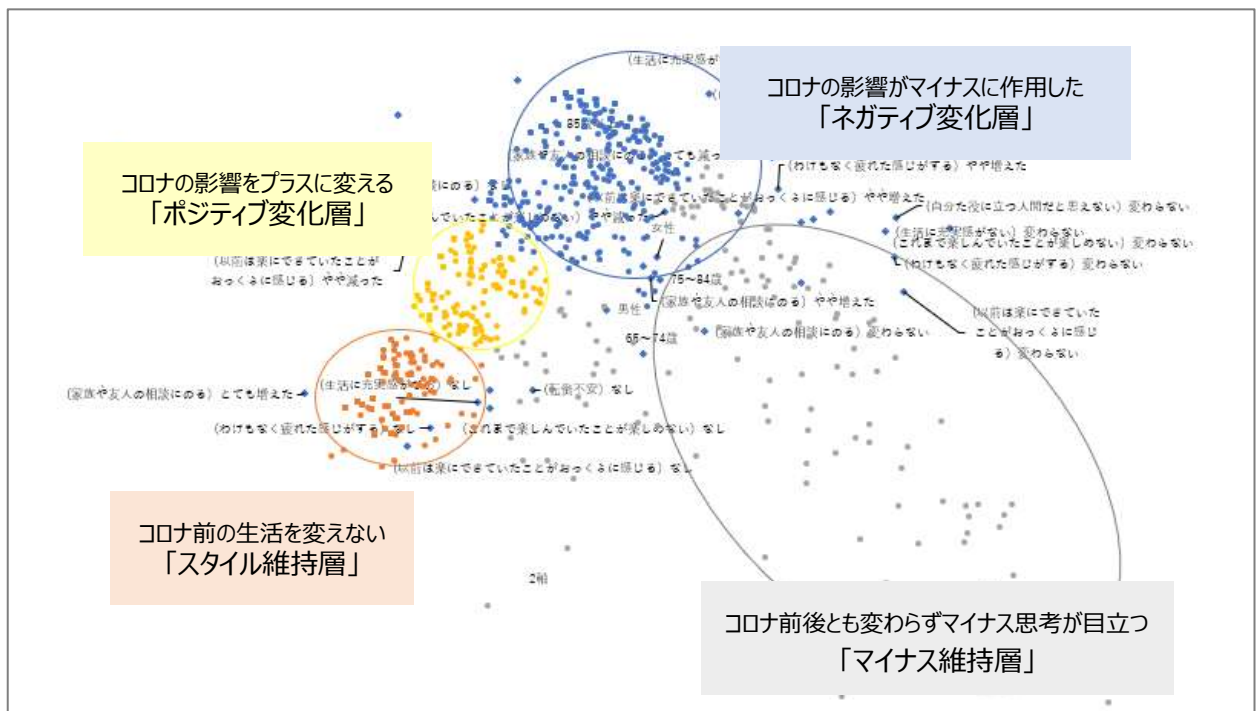
## 7. 調査結果からの考察

### 7-2. 高齢者の変化に関する分析

#### 7-2-1. 高齢者の変化に対する影響分析

問 24 の「あなたの現在の状況について、あてはまるものに○をつけてください」のうち、心的変化やコミュニケーションに関する項目（転倒不安、相談にのる、生活の充実感等）の回答結果について、多変量解析手法である数量化 3 類を行い、さらにその結果について階層的クラスタ分析を行ったところ、「ネガティブな思考に変化した層」、「コロナ前と変わらずマイナス思考を持つ層」、「コロナ前と変わらず生活スタイルを維持する層」「ポジティブな思考に変化した層」の4つの層（集団）が抽出された（図表 24）。

図表 24 クラスタ分析による層の抽出



※横軸:コロナ禍前後での心身や生活の影響度 縦軸:コロナ禍前後での心的状況の変化度

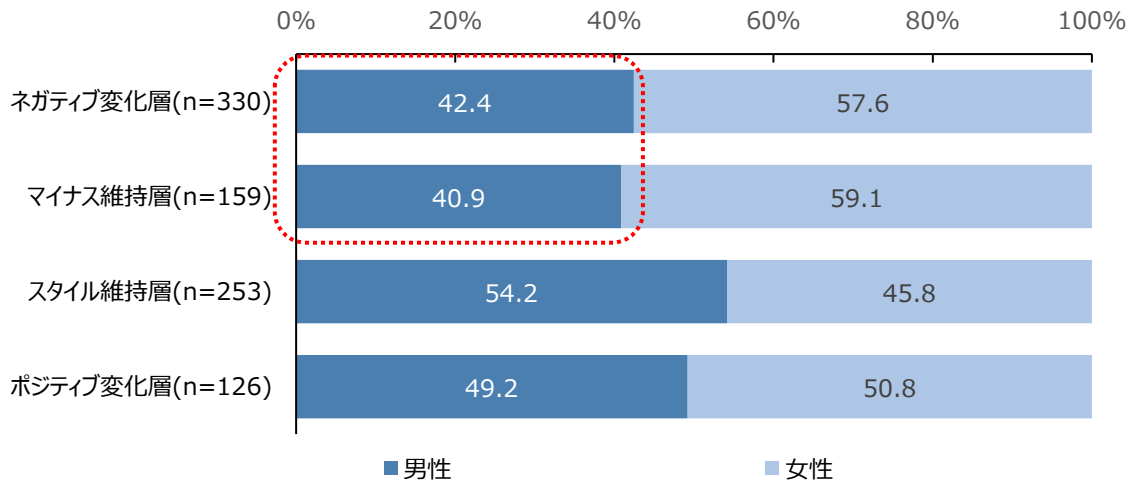
クラスター	件数	比率
ネガティブ変化層	330	38.0%
マイナス維持層	159	18.3%
スタイル維持層	253	29.2%
ポジティブ変化層	126	14.5%
合計	868	100.0%

## 7-2-2. 4つの層の分析

上記の4つの層について、アンケート結果を集計したところ、以下のとおりとなった。

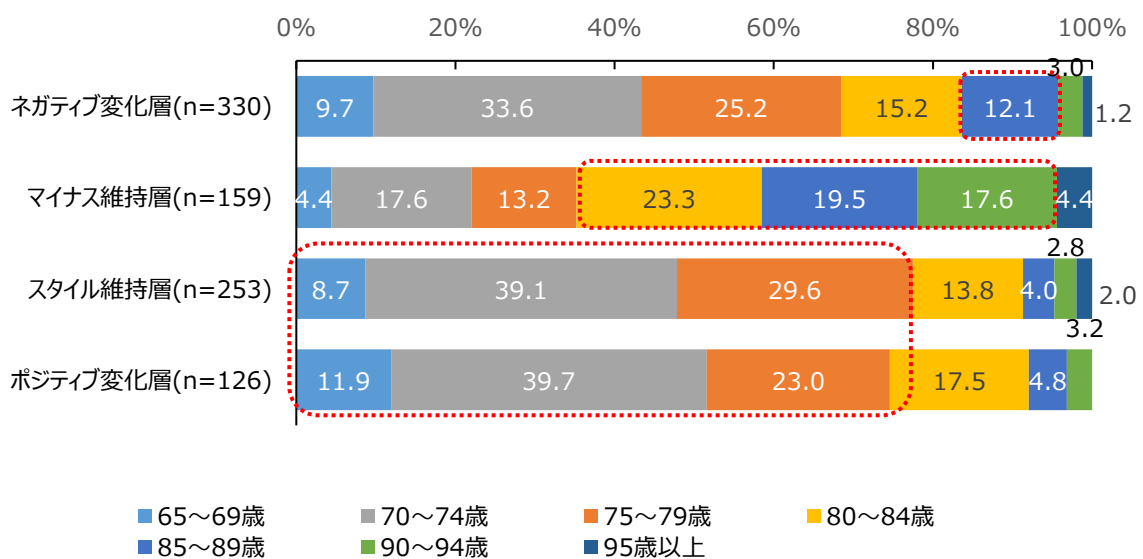
## ① 性別

■ 男性より女性にネガティブ変化層やマイナス維持層といったマイナス思考の割合が高い傾向がみられる。



## ② 年齢

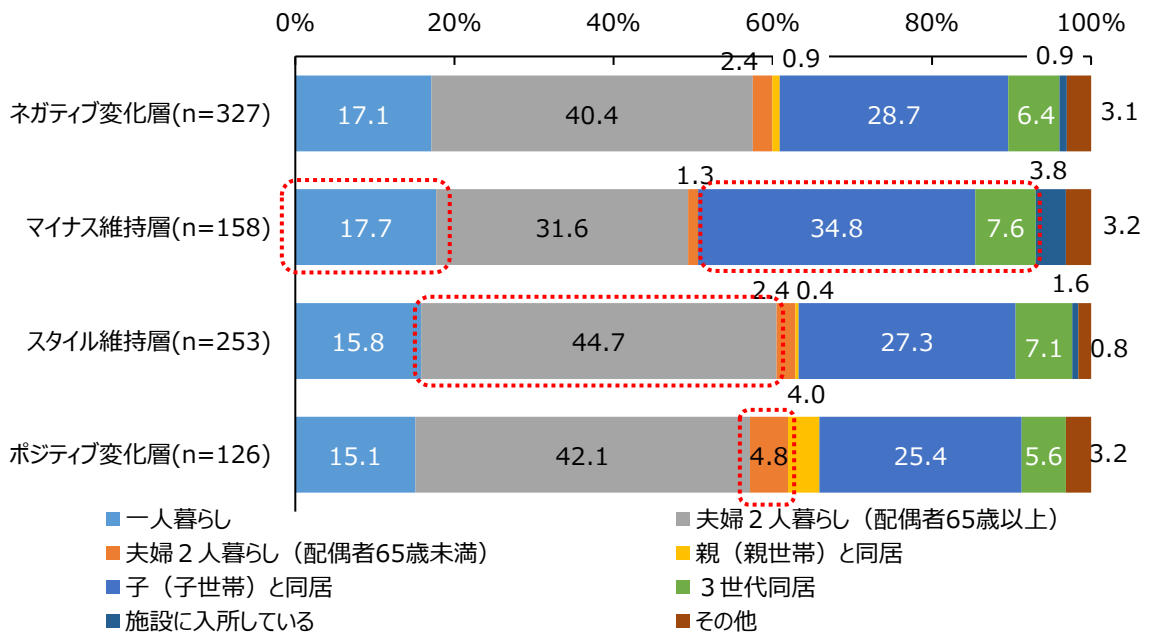
■ 80歳未満は、スタイル維持層、ポジティブ変化層の7割を占めるが、80歳以上は、マイナスの思考を持ち続けるマイナス維持層や、思考がネガティブな方向に及んでしまうネガティブ変化層で比較的比率が高くなっている。



## 7. 調査結果からの考察

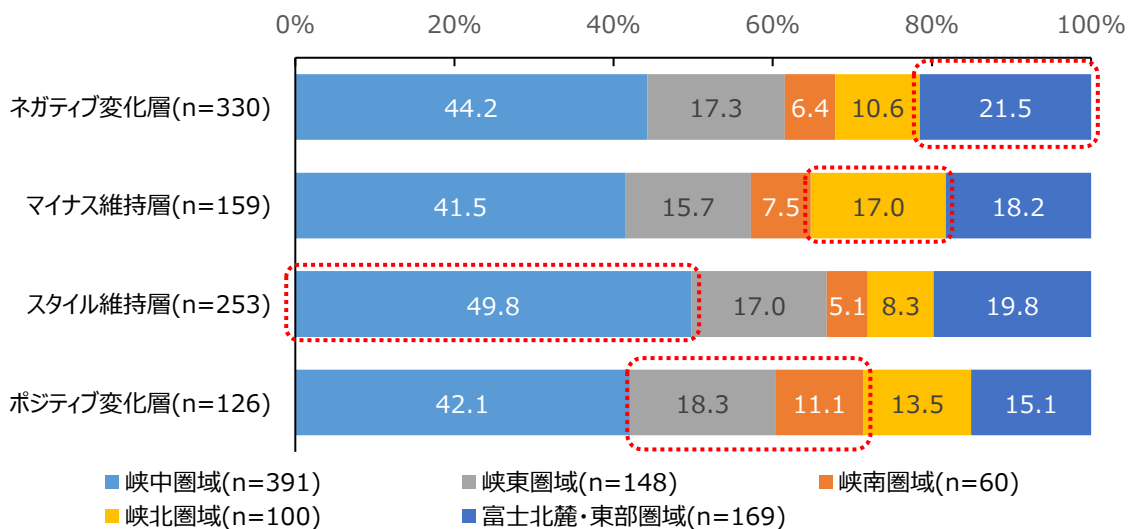
### ③ 家族構成

- マイナス維持層は、一人暮らしや子(子世帯)と同居や3世代同居が多くなっている。一人暮らしはコミュニケーションの不足によるもの、同居は子世帯への気遣い(遠慮)により活動を控えている状況も考えられる。
- スタイル維持層は、配偶者が65歳以上の夫婦2人暮らしが多く、ポジティブ変化層は、配偶者が65歳未満の夫婦2人暮らしが多くなっている。コロナ禍においても、夫婦が協力しながら変わらない生活を維持したり、気持ちをプラスに切り替えている様子がうかがえる。



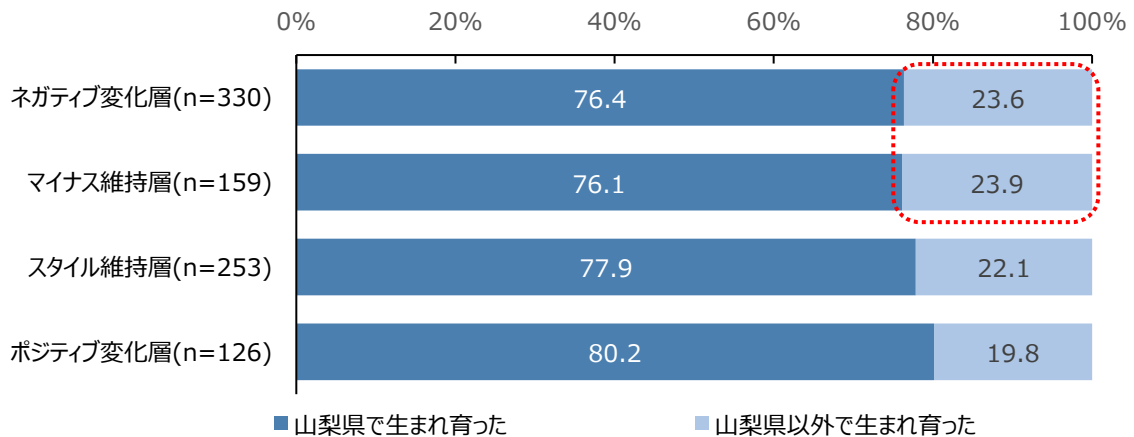
### ④ 圏域

- 圏域別にみると、峡中圏域ではスタイル維持層、峡東圏域と峡南圏域ではポジティブ変化層がやや多くなっている。
- 一方で、峡北圏域ではマイナス維持層、富士北麓・東部圏域ではネガティブ変化層がやや多くなっている。



## ⑤ 山梨県出身の有無

■ 山梨県で生まれ育った人と、山梨県以外で生まれ育った人で比べると、大きな差はないものの、山梨県以外で生まれ育った人は、ネガティブ変化層やマイナス維持層がやや多くなっている。山梨県で生まれ育った人は、以前からの人・モノ・コトの情報が多い分、コロナ禍でも気分転換やコミュニケーションが取りやすかった可能性がある。

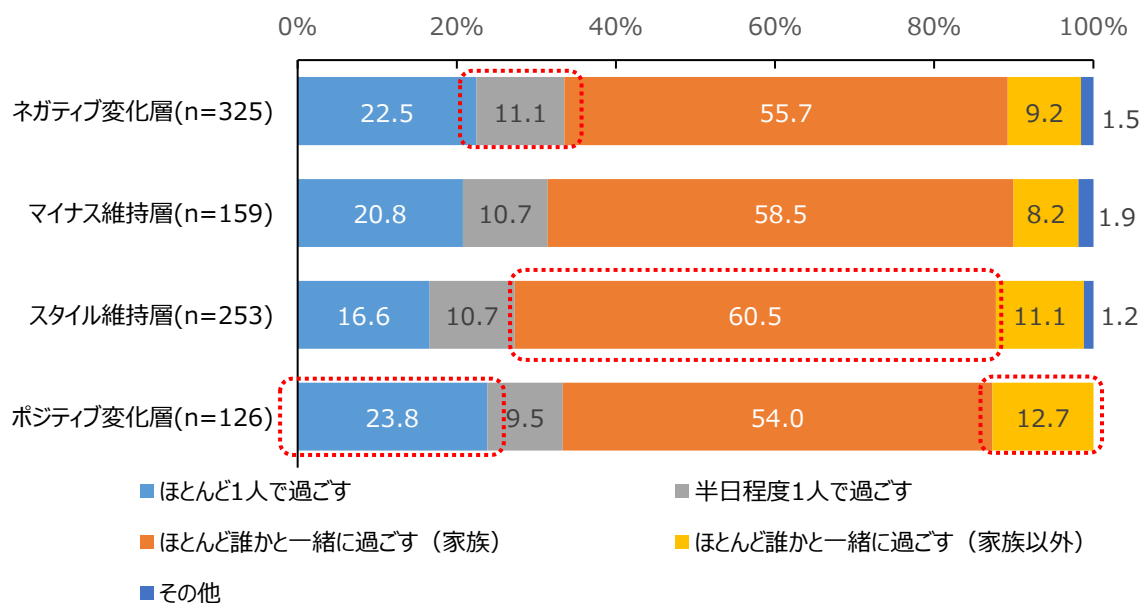


## ⑥ 日中の過ごし方

■ 日中の過ごし方では、「ほとんど1人で過ごす人」と「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族以外)」は、ポジティブ変化層に多くなっている。

■ 「半日程度1人で過ごす」人はネガティブ変化層にやや多く、「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族)」人は、スタイル維持層に多くなっている。

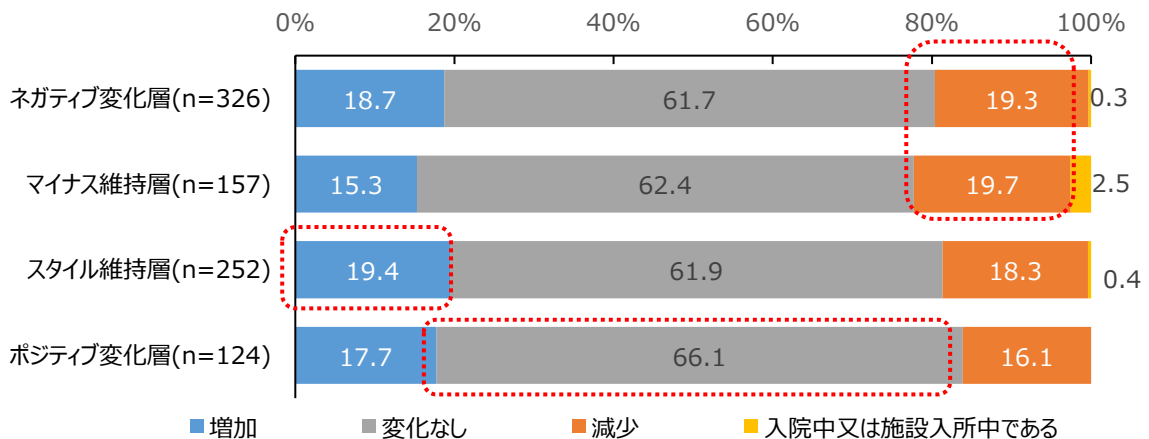
■ 1人でも苦にならない人と、誰かとコミュニケーションが取れる人は、これまで通りの生活を維持できたり、思考をプラスに変えられたことが想定される。



## 7. 調査結果からの考察

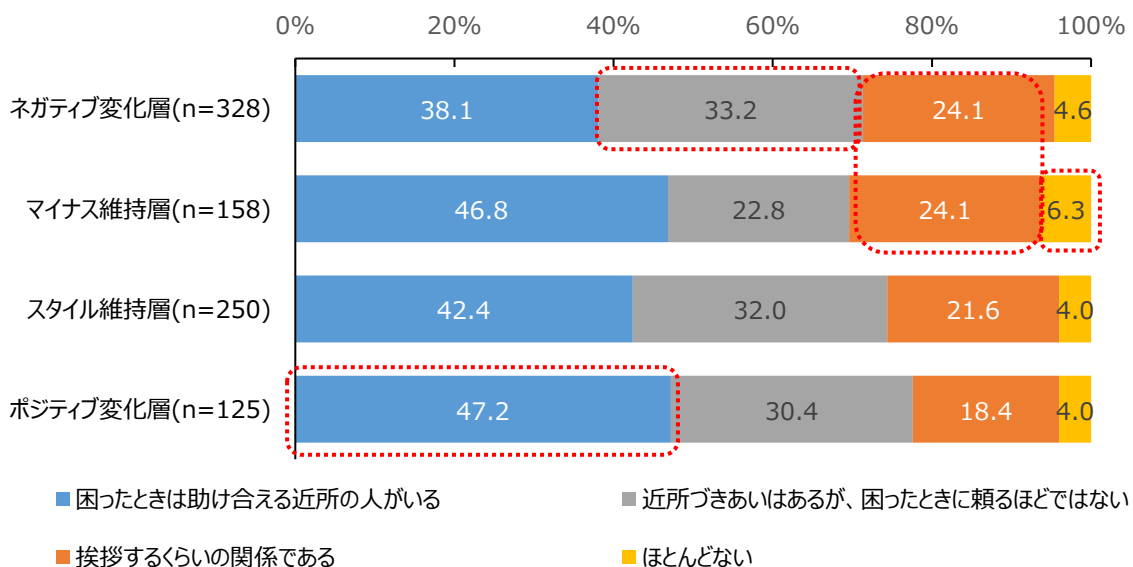
### ⑦ 病院の受診回数の増減

- 病院の受診回数を前回調査との増減で見ると「減少」でネガティブ変化層とマイナス維持層が多く、「増加」ではスタイル維持層、「変化なし」ではポジティブ変化層が多くなっている。
- 受診回数が減少した人のほうがマイナス思考（ネガティブ変化層＋マイナス維持層）が多い傾向があり、病院への受診後に立ち寄る機会の減少など、病院以外での外出機会も減少したことによる影響がマイナス思考へ作用した可能性も考えられる。  
※「入院中又は施設入所中である」はサンプル数が少ないため参考値とする。



### ⑧ 近所づきあい

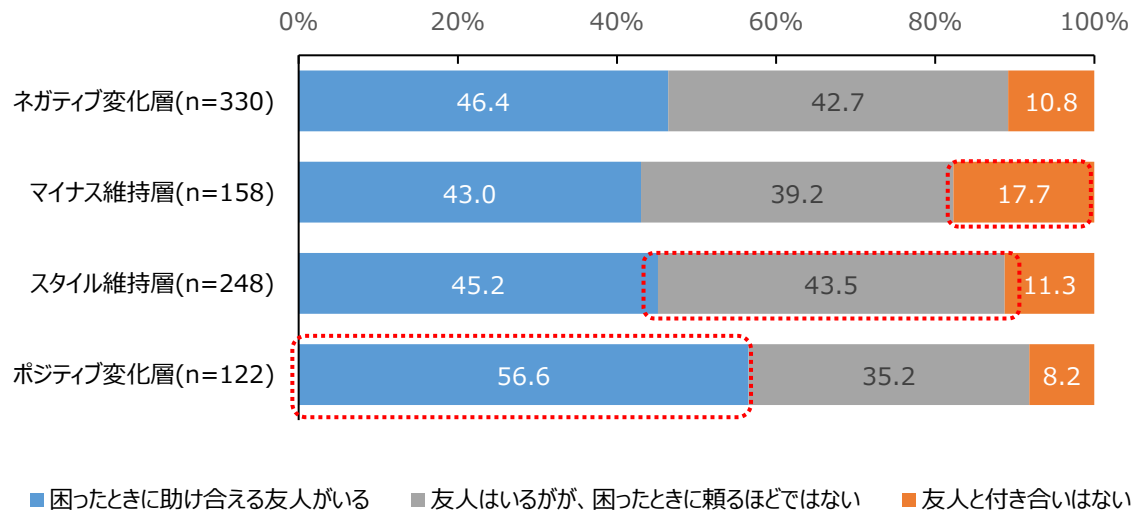
- 「困った時は助け合える近所の人がいる」人は、ポジティブ変化層に多く、「近所づきあいはあるが、困ったときに頼るほどではない」程度の付き合いや「挨拶するくらい関係である」、「ほとんどない」の近所づきあいが少ない人や全くない人はネガティブ変化層やマイナス維持層に多い傾向がある。





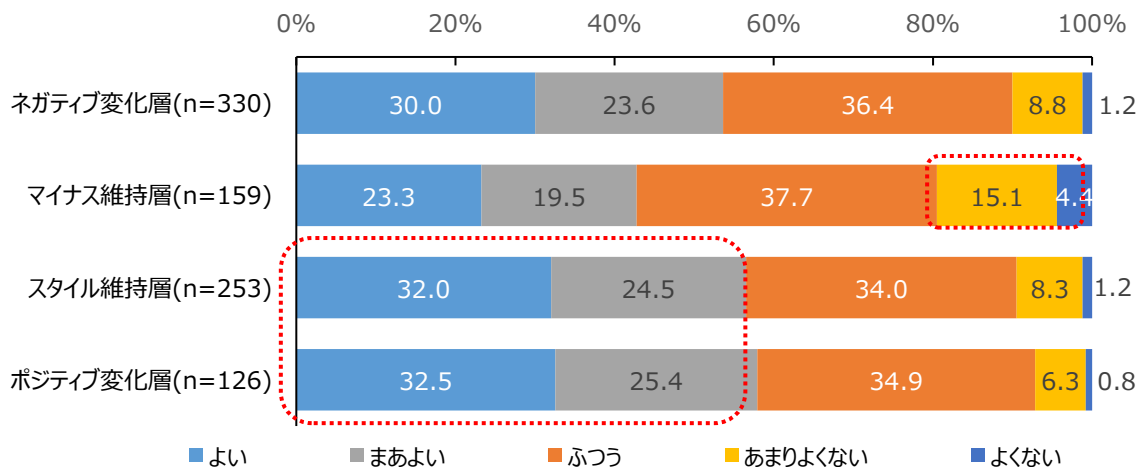
## ⑨ 友人づきあい

- 「困った時は助け合える友人がいる」人は、ポジティブ変化層に多く、「友人はいるが、困ったときに頼るほどではない」人は、スタイル維持層に多くなっている。
- 「友人と付き合いはない」人は、マイナス維持層に多くなっており、⑧の「近所づきあい」同様、コミュニケーションの相手がいる人ほど、思考がプラスになっている傾向がうかがえる。

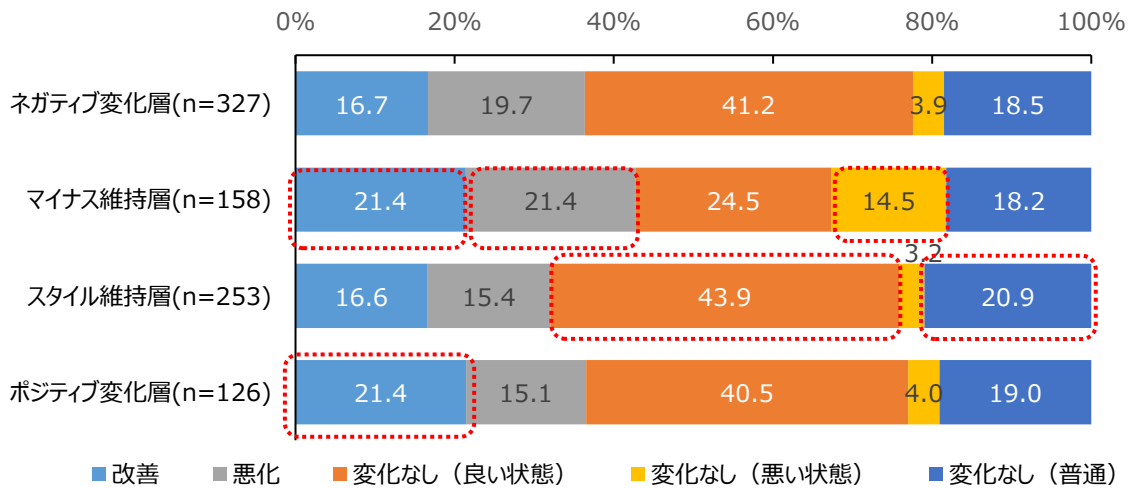


## ⑩ 健康感

- 自身の健康感が「よい」、「まあよい」だった人は、スタイル維持層やポジティブ変化層といったプラス思考に多く、「あまりよくない」、「よくない」人はマイナス維持層に多い傾向がある。
- 前回調査と今回調査の健康感の変化をクラスター別にみると、健康感が3年前に比べて「改善」した人はマイナス維持層とポジティブ変化層に多い。3年前に比べて「悪化」した人および「変化なし(悪い状態)」はマイナス維持層、「変化なし(良い状態)/(普通)」はスタイル維持層に多い。



## 7. 調査結果からの考察

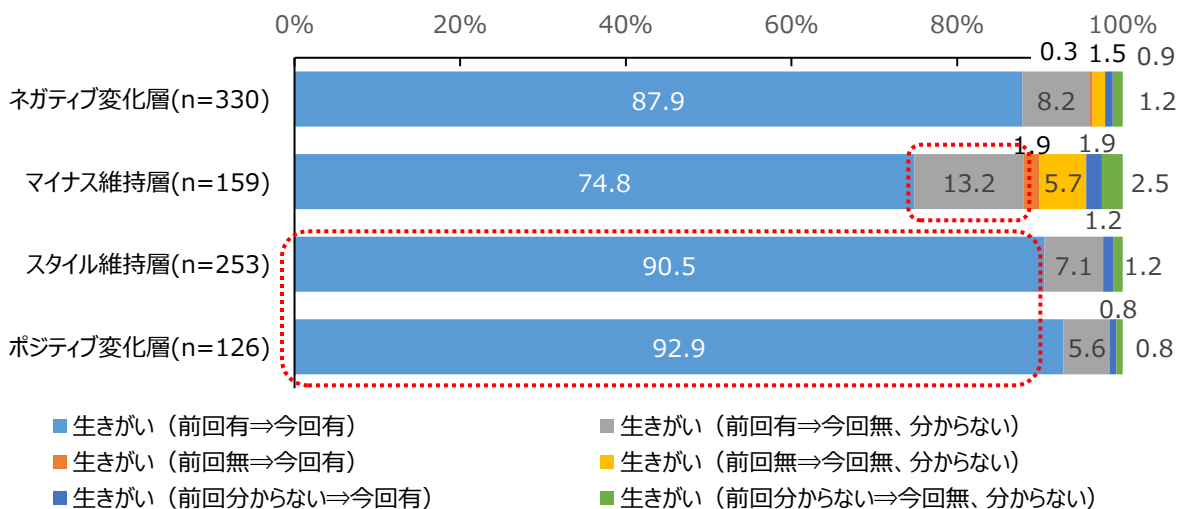


### ⑪ 生きがいの変化

■ 前回調査と今回調査の生きがいの有無をみると、生きがいが前回も今回もある人は、スタイル維持層やポジティブ変化層で多くなっている。

■ 前は生きがいが「ある」と答え、今回は「ない」または「分からない」と答えた方は、マイナス維持層に多い。

※「生きがい(前回無⇒今回有)」、「生きがい(前回無⇒今回無、分からない)」はサンプル数が少ないため参考値とする



## 7-3. まとめ

## 7-3-1. クラスタ分析による分類

クラスタ分析による4つの層の分類から、各層にみられる特徴をまとめた(図表 25)

図表 25 各層にみられる特徴

<p><b>コロナの影響がマイナスに作用した ネガティブ変化層 (n=330)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性に多い。</li> <li>● 70歳代が多い</li> <li>● 「一人暮らし」が多い</li> <li>● 富士・東部圏域で、この層の方の割合がやや高い</li> <li>● 日中は「1人で過ごす」割合が高い</li> <li>● 病院の受診回数が減少した方の割合が高い</li> <li>● 近所づきあいが少ない方の割合が高い</li> </ul>	<p><b>コロナ前の生活を変えない スタイル維持層 (n=253)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● やや男性に多い</li> <li>● 70歳代、特に75～79歳が多い</li> <li>● 「夫婦2人暮らし(65歳以上)」が多い</li> <li>● 峡中圏域で、この層の方の割合がやや高い</li> <li>● 日中は「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族)」方の割合が高い</li> <li>● 病院の受診回数が増加した方の割合が高い</li> <li>● 近所づきあいはあるが、困ったときに助け合える割合は比較的低い</li> <li>● 「友人はいるが、困ったときに頼るほどではない」方の割合が高い</li> <li>● 健康について「よい」、「まあよい」方の割合がやや高い</li> </ul>
<p><b>コロナ前後とも変わらずマイナス思考が目立つ マイナス維持層 (n=159)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性に多い</li> <li>● 80歳代が多い</li> <li>● 「一人暮らし」と「子(子世帯)と同居」、「3世代同居」が多い</li> <li>● 峡北圏域で、この層の方の割合がやや高い</li> <li>● 日中は「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族)」方の割合がやや高い</li> <li>● 病院の受診回数が減少した方の割合が高い</li> <li>● 近所づきあいはあいさつ程度の方、ほとんどない方の割合がやや高い</li> <li>● 友人との付き合いがない方の割合が高い</li> <li>● 健康について、「ふつう」、「あまりよくない」、「よくない」方の割合が高い</li> <li>● 生きがいが3年前はあったが今は「ない」または「分からない」方の割合がやや高い</li> </ul>	<p><b>コロナの影響をプラスに変える ポジティブ変化層 (n=126)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 65～74歳が多い</li> <li>● 「夫婦2人暮らし(65歳未満)」、「夫婦2人暮らし(65歳以上)」が多い</li> <li>● 峡東圏域、峡南圏域で、この層の方の割合がやや高い</li> <li>● 約8割が県内出身</li> <li>● 日中は「ほとんど一人で過ごす」、「ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族以外)」方の割合が高い</li> <li>● 病院の受診回数は変化がない方が多い</li> <li>● 近所づきあいが深い方の割合が高い</li> <li>● 困ったときに助け合える友人がいる方の割合が高い</li> <li>● 健康について「よい」、「まあよい」方の割合がやや高い</li> <li>● 生きがいは3年前も今も「ある」方が多い</li> </ul>

### 【典型的な人物像】

#### ネガティブ変化層

一人暮らしの 70 代女性。近所づきあいが少ないことから、1 人で過ごすことが多い。また、コロナ禍で病院の受診回数は減る傾向にあるが、健康状態はそれほど悪くない。友人づきあいはそれなりにあるが、最近ではコロナ禍で会えないことも多い。日々生きがいを持って暮らしているが、最近気持ちの変化もみられる。

#### マイナス維持層

家族と同居する 80 歳代女性。高齢なこともあり、日中は家族の誰かと一緒に過ごすことが多く、家族に面倒をみてもらっていることから近所づきあいはあまりないか挨拶程度で、困ったときに頼ることも少ない。健康状態はあまり良くないが、コロナ禍で感染の不安があることから、病院の受診回数は減っている。友人とつながる機会がなくなり、それが生きがいにも影響している。

#### スタイル維持層

夫婦 2 人暮らしの 70 代後半の男性。夫婦暮らしであることから、日中は 2 人で過ごすことが多く、また近所づきあいはあるものの、夫婦で助け合っているため、近所や友人に頼る機会は少ない。健康状態は良好であるが、病院の受診回数は増える傾向にある。今の生活に生きがいを感じている。

#### ポジティブ変化層

夫婦 2 人暮らしの 70 歳前後の男性。日中は夫婦で過ごすか、妻が外出しているときは 1 人で過ごす。健康については特に問題はなく、病院の受診回数も変化はない。近所とのつながりもあり、困ったときに助けてもらえる友人などもいて、生きがいを持って暮らしている。

### 7-3-2.まとめ

「7-1. 前回(3年前)調査と今回(2022年)調査比較から見る現状」および「7-2. 高齢者の変化に関する分析」を整理する。

- 男性より女性、また80歳以上で<マイナス思考>(ネガティブ変化層+マイナス維持層)の傾向が見られた。
- “健康感”については、前回調査と今回調査で大きな差は見られなかったものの、“健康感”が「よい」、「まあよい」方は、“スタイル維持層”や“ポジティブ変化層”に多い傾向が見られたことから、「健康」と感じられる状態であることや環境づくりが重要。
- 一人暮らしや子・三世代同居者に、“マイナス維持層”が多くみられた。コロナ禍における介護サービスの利用控えなどで家族の負担の増加が懸念される。また、高齢者が、支援してくれている家族に気を遣っている(気兼ねしている)傾向や、集まりへの参加意欲の低下(何もしたくないの増加)が見られた。
- 日中の過ごし方では、1人で過ごす方や家族以外と過ごす方に、“ポジティブ変化層”が多い傾向がみられた。1人の時間を楽しんだり、第三者とのコミュニケーションをとることが、プラス思考に作用していた可能性がある。また、病院の受診回数が減少した人に<マイナス思考>(ネガティブ変化層+マイナス維持層)が多い傾向がみられたことから、受診機会(受診に付随した様々な活動)の減少が、マイナス思考に影響していたことが推察される。
- 圏域別では、峡北圏域では“マイナス維持層”、富士・東部圏域では“ネガティブ変化層”がやや多く見られた。また、山梨県出身者に“ポジティブ変化層”がやや多かったこと、富士・東部圏域で、近所・友人づきあいが他圏域に比べて少なく、地域包括支援センターの認知度が低かったことから、県外からの移住者が多い、峡北圏域や富士・東部圏域では、今回のような感染症による行動制限などにより、地域や近所、友人たちとのコミュニケーションの機会が減少し、孤立やマイナス思考に影響した可能性が考えられる。

### 7-4. 調査結果を踏まえた今後の支援のポイント

アンケート結果や分析から、高齢者等への支援のポイントについて整理する。

#### 7-4-1. 外出・つながる機会づくり、メンタルケアと生きがいづくり

調査結果より、コロナ禍で、高齢者の外出機会（友人の家に遊びに行く、通院など）が減少している状況がみえてきた。また、地域での活動や無尽などが中止となるなか、近所づきあいや友人づきあい、社会的役割を果たす機会が減少するなど、人間関係が希薄になることによる、生きがいや活力の減退が懸念される。調査結果からは、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめない」、「わけもなく疲れた感じがする」状況が増加している傾向がみられた。

また、日中1人で過ごせたり、家族以外の人と過ごす人は、プラス思考につながる傾向もみられた。

こうしたことを踏まえると、高齢者が生きがいを見出すためにも、感染予防に留意しながら、定期的な社会参加（外出）等の機会を確保していくことが必要である。また、高齢者にとっては働くことも生きがいにつながる可能性もある。

#### 7-4-2. 家族介護者の負担軽減

山梨県では、全国的狀況と比べ、訪問介護の利用が少なく、通所介護、短期入所生活介護の利用が多い傾向があり、今回の調査でも同様の傾向がみられた。また、新型コロナウイルスの影響により、デイサービスなどの利用を控え、代わりに家族が介護をしているケースがあったことが見えてきた。また、感染が拡大した一部の施設では、一時的にサービス提供を控えたケースも想定される。そうしたなか、家族による介護の負担が増え、今後の介護に不安を抱く回答もみられた。こうした事態に対応するため、コロナ禍のような有事であっても介護サービスが提供できる体制づくりが必要である。

一方で、支援を受けている一部の高齢者に家族に気兼ねしている傾向が見られたため、高齢者が家族に気兼ねなく生活、活動するための支援が必要である。

#### 7-4-3. 地域包括ケアセンターの認知度向上

今回の調査結果から、地域包括支援センターの認知度が前回調査に比べ上昇しているものの、介護保険制度への要望などを伺った自由回答などでは、介護保険制度の周知を求める声が一定数あった。また、移住者が多い富士・東部圏域においては、地域包括支援センターの認知度が他圏域に比べて低い傾向も見られた。

今後、高齢化が進展していくなか、新たに介護保険制度の活用が必要となる人の増加が想定されることから、継続的かつ効率的な介護保険制度の周知が必要である。

#### 7-4-4. クラスタ分析からの示唆

クラスタ分析の結果、高齢者の心的状況により、以下の4つの層が抽出された。

- クラスタ① コロナの影響がマイナスに作用した“ネガティブ変化層”
- クラスタ② コロナ前後とも変わらずマイナス思考が目立つ“マイナス維持層”
- クラスタ③ コロナ前の変えない“スタイル維持層”
- クラスタ④ コロナの影響をプラスに変える“ポジティブ変化層”

新型コロナウイルス感染症等、社会・経済活動が大きく制約されることがあっても、クラスタ④「ポジティブ変化層」であることが理想である。3年前の調査においても、高齢者自身の主観的健康観が、本県の介護認定率の低さに影響している結果が得られている。

そのため、以下に留意した取組を行うことが望ましい。

(“健康”を実感できる機会づくり)

- 地域・近所・友人とのふれあう機会づくり
- 女性や85歳以上の方が、日中、家族以外の方と過ごす機会づくり
- メンタル機能、運動機能低下への対策
- 外部環境からマイナスの影響を受けやすい方へのケア

## 資料編

- 「健康長寿やまなし」に関する実態調査票(高齢者ご本人様用)
- 「健康長寿やまなし」に関する実態調査票(ご家族様用)



## 「健康長寿やまなし」に関する実態調査

### ＜ 調査ご協力をお願い ＞

県では、高齢者が元気でいきいきと活躍する『健康長寿やまなし』を推進しております。

このたび、本県の健康長寿の要因や特徴などを明らかにするため、3年前に実施した同様の調査にご協力いただいた方を対象に調査を実施いたします。

皆様からいただいた回答は、今後、県や市町村が行う高齢者福祉施策の参考とさせていただきます。皆様からいただいた回答は、今後、県や市町村が行う高齢者福祉施策の参考とさせていただきます。

この調査票は、令和元年度の調査にご協力いただいた皆様にお送りしています。そのため、既にお亡くなりになられた方やご不在の方へ郵送されてしまう場合があります。何卒ご容赦賜りますようお願い申し上げます。その場合の調査への回答は不要となりますが、ご協力いただける場合は、以下の質問にのみご回答いただき、この調査票を同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

質問: 当てはまる番号に○をつけてください。

・あて名の方が、(1. 逝去、2. その他( ))のため、返信します。

令和4年9月 山梨県福祉保健部 健康長寿推進課

### ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、あて名の方の生活の支援を最も多く行っている方（もしくはその予定のご家族の方）がご回答ください。
- この調査は、封筒のあて名の方にご記入いただく調査票（あて名の方用調査票）と、ご家族（同居・別居問わず）の方にご記入いただく調査票（ご家族様用調査票）があります。
- 本調査票には、当てはまる番号に○印をつけていただく設問と、具体的な内容を記述していただく設問があります。設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンではっきりとご記入ください。（回答の目安：約5～10分）
- 回答いただいた本調査票は、回答済の「あて名の方用調査票」と一緒に同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**9月30日（金）まで**にご投函してください。

#### ＜お問合わせ先＞

山梨県福祉保健部 健康長寿推進課 地域包括ケア推進担当  
TEL：055-223-1453 Mail：chouju@pref.yamanashi.lg.jp

### 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

#### 【個人情報の保護および活用目的について】

この調査は、本県の健康長寿の要因や特徴などを明らかにし、県及び市町村が行う高齢者福祉施策の参考にするために行うものであり、当該目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、山梨県個人情報保護条例に基づき、適切に管理いたします。

なお、今後、お住まいの市町村からあて名の方の要介護度等介護保険に関するデータを取得し、本調査で得られた情報と関連付け分析を行うことにより、県及び市町村が行う施策立案に活用することがあります。また、分析にあたっては、山梨大学及び山梨県立大学、山梨総合研究所のご協力をいただき、個人情報を保護したうえで、成果を論文等で発表する場合がありますのでご了承ください。

- ◆あて名の方のご家族様に関する設問と、あて名の方の介護全般に関する設問があります。設問にしたがってご回答をお願いします。

### ご回答いただいているご家族様について

問1 あなたの年齢をお答えください。（当てはまる番号1つに○）

- |        |        |        |          |        |
|--------|--------|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代   | 5. 50代 |
| 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80代 | 9. 90代以上 |        |

問2 あなたの性別をお答えください。（当てはまる番号1つに○）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あて名の方からみたあなたの続柄をお答えください。（当てはまる番号1つに○）

\* 「同居」には、同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含めます。

- |                        |
|------------------------|
| 1. 配偶者（妻・夫）            |
| 2. 同居の子どもや子どもの配偶者（嫁・婿） |
| 3. 別居の子どもや子どもの配偶者（嫁・婿） |
| 4. 上記以外の同居の親族          |
| 5. 上記以外の別居の親族          |
| 6. その他（ ）              |



問4 あなたからみて、現在のあて名の方の健康状態はいかがですか。  
(当てはまる番号1つに○)

- |            |         |       |
|------------|---------|-------|
| 1. よい      | 2. まあよい | 3. ふう |
| 4. あまりよくない | 5. よくない |       |

問5 あなたからみて、あて名の方は現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(当てはまる番号1つに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|



問6へお進みください

問5で「1.ある」と回答した方におうかがいします。

問5-1 それはどのようなことに影響がありますか。(当てはまる番号すべてに○)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）  |
| 2. 外出（時間や作業量などが制限される）       |
| 3. 仕事、家事、家業（時間や作業量などが制限される） |
| 4. 運動（スポーツを含む）              |
| 5. その他                      |

問6 あて名の方が病気になった時や介護が必要になった時、あて名の方が今後望む生活について、あなたはあて名の方と話をしたことがありますか。(当てはまる番号1つに○)

- |       |               |                    |
|-------|---------------|--------------------|
| 1. ある | 2. ないが、今後話したい | 3. ないし、今後も話すつもりはない |
|-------|---------------|--------------------|

問6で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

問6-1 あて名の方の意思を尊重したいと考えていますか。(当てはまる番号1つに○)

- |          |              |                |
|----------|--------------|----------------|
| 1. 尊重したい | 2. 尊重したいが難しい | 3. 尊重することはできない |
|----------|--------------|----------------|



あて名の方に関する介護保険の利用について

問7 あなたは介護保険の相談先である地域包括支援センターを知っていますか。  
(当てはまる番号1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問8 あて名の方は要介護認定を受けていますか。(当てはまる番号1つに○)

\*要介護認定：介護保険のサービスを受けるためには、被保険者が市町村（保険者）に申請し、「要介護」または「要支援」の認定を受ける必要があります。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 要介護認定を受けていない | 2. 要介護認定を受けている |
|-----------------|----------------|



問8-5へお進みください

問8で「1. 要介護認定を受けていない」と回答した方におうかがいします。

問8-1 ご家族の立場として、「要介護認定を受けていない」もしくは「申請しない、相談しない」理由があればお答えください。(特に当てはまる番号3つに○)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. あて名の方が健康だから必要ない                 |
| 2. あて名の方の健康に不安はあるが、介護保険を利用するほどではない |
| 3. あて名の方は医療機関を受診しているから心配はない        |
| 4. 要介護認定を受けたいが、相談先が分からない           |
| 5. 相談したが申請には至らなかった                 |
| 6. 申請したが非該当（自立）だった                 |
| 7. あて名の方の生活に家族や親族の助けがある            |
| 8. あて名の方の生活に近所の人助けがある              |
| 9. あて名の方の生活に友人の助けがある               |
| 10. 受けたいサービスがない（受けたいサービス：_____）    |
| 11. 費用が心配                          |
| 12. 家族としては、あて名の方が他人の世話になってほしくない    |
| 13. あて名の方が、他人の世話になりたがらない           |
| 14. 家族としては、世間体が気になる                |
| 15. あて名の方が、世間体を気にする                |
| 16. 介護保険のことは分からない                  |
| 17. その他（_____）                     |



ご家族様用 調査票

問 8-2 あて名の方が介護の専門家による介護サービスが必要となった場合、要介護認定の相談または申請を行いますか。(当てはまる番号 1 つに○)

1. する	2. しない	3. 分からない
-------	--------	----------

↓

→ 問 9 へお進みください

問 8-2 で「1. する」と回答した方におうかがいします。

問 8-3 あて名の方に介護が必要になった場合に、あなたが希望する、あて名の方の暮らし方は、どのようなものですか。(当てはまる番号 1 つに○)

- あて名の方が今住んでいる家に暮らし続けてほしい
- 別居している子どもなど親族と同居してほしい
- 特別養護老人ホームなど高齢者施設で暮らしてほしい
- サービス付高齢者住宅など高齢者向け集合住宅で暮らしてほしい
- その他 ( )

問 8-4 あて名の方に介護が必要になった場合に、あなたが希望する介護はどのようなものですか。(当てはまる番号すべてに○)

- 訪問介護 (自宅にホームヘルパーが訪問し、食事・排泄などの介護や生活の援助をしてくれるサービス)
- デイサービス (通所介護:施設に通い、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを受けるサービス)
- ショートステイ (短期入所サービス)
- 特別養護老人ホームなど施設入所
- その他 ( )

→ 問 9 へお進みください

ご家族様用 調査票

問 8 で「2. 要介護認定を受けている」と回答した方におうかがいします。

問 8-5 あて名の方の、3 年前から現在までの要介護度をお答えください。

(当てはまる番号 1 つに○) \*介護保険被保険者証をご確認ください。

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	分からない・認定を受けていない
記入例	1	2	3	4	5	6	7	8
現在	1	2	3	4	5	6	7	
1 年前	1	2	3	4	5	6	7	8
2 年前	1	2	3	4	5	6	7	8
3 年前	1	2	3	4	5	6	7	8

問 8-6 要介護認定はどなたが勧めましたか。(当てはまる番号 1 つに○)

\*同居には、同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含めます。

- あて名の方の意思
- あなた
- あなた以外の親族 (あて名の方と同居)
- あなた以外の親族 (あて名の方と別居)
- 医師や医療機関
- 近所の人
- あて名の方の友人
- 民生委員
- 市役所や役場の職員 (地域包括支援センターを含む)
- その他 ( )

ご家族様用 調査票

問 8-7 どのようなきっかけから要介護認定の相談をしましたか。  
(特に当てはまる番号3つまで○)

1. あて名の方が65歳になった
2. あて名の方の身体の衰えを感じた
3. あて名の方が家事(食事の準備・後始末、買い物、掃除、ごみ出し等)をするのが大変になった
4. あて名の方が入浴するのが大変になった
5. あて名の方が排泄するのが大変になった
6. あて名の方の認知症状(もの忘れ、理解力の低下、徘徊、暴言等)が心配になった
7. あて名の方が日中一人で過ごすのが不安になった
8. あて名の方が話し相手をほしくなった
9. あて名の方のお金の管理が心配になった
10. あて名の方の服薬が心配になった
11. あて名の方が外出するのに送迎が必要になった
12. あなた自身が介護できなくなった
13. その他( )



ご家族様用 調査票

問 8-8 現在、利用している介護サービスをお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

1. 訪問介護(自宅にホームヘルパーが訪問し、食事・排泄などの介護や生活の援助をしてくれるサービス)
2. デイサービス(通所介護:施設に通い日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを受けるサービス)
3. ショートステイ(短期入所サービス)
4. 特別養護老人ホームなど施設入所
5. その他( )

問 9 へ

問 8-8 で 2~5 のみに○をつけた方は問 8-9 にお進みください。

問 8-9 訪問介護を利用しない理由をお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

1. 必要がないから
2. サービスがあることを知らないから
3. 利用したいが、事業所がないから
4. 家族としてはいろいろな人に会えるデイサービス(通所介護)を勧めたいから
5. 身体の状態に合わないから
6. 他人が自宅に入ることに抵抗があるから
7. 訪問介護の人が来る前の準備が大変だから
8. 費用がかかるから
9. その他( )

問 9 あなたは、あて名の方の日常生活の支援や介護をしていますか。  
(当てはまる番号1つに○)

1. はい(同居)(同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含めます)
2. はい(別居)
3. いいえ
4. あて名の方は施設入所中である

問 10 へお進みください

問 9 で「1. はい(同居)」、「2. はい(別居)」と回答した方におうかがいします。

問 9-1 あなた以外に支援や介護に協力してくれる人はいますか。(当てはまる番号1つに○)

1. はい(具体的に: )
2. いいえ

ご家族様用 調査票

問 9-2 支援や介護の頻度をお答えください。(当てはまる番号 1つに○)

- |          |          |         |
|----------|----------|---------|
| 1. ほぼ毎日  | 2. 週2～3回 | 3. 週1回  |
| 4. 月2～3回 | 5. 月1回   | 6. それ以外 |

問 9-3 支援や介護についてはどのように感じていますか。(当てはまる番号 1つに○)

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 全く負担はない  | → 問 9-5 へお進みください                                    |
| 2. あまり負担はない |   |
| 3. やや負担である  | → 問 9-3 で「3. やや負担である」、「4. とても負担である」と回答した方におうかがいします。 |
| 4. とても負担である |   |

問 9-3 で「3. やや負担である」、「4. とても負担である」と回答した方におうかがいします。

問 9-4 あなたが負担に感じるのはどのようなことですか。(特に当てはまる番号 3つに○)

- |                                  |          |               |
|----------------------------------|----------|---------------|
| 1. 入浴                            | 2. 日中の排泄 | 3. 夜間の排泄      |
| 4. 食事の準備・後始末                     | 5. 食事介助  | 6. 掃除         |
| 7. ごみ出し                          | 8. 金銭の管理 | 9. 外出の送迎や付き添い |
| 10. 認知症状(もの忘れ、理解力の低下、徘徊、暴言等)への対応 |          |               |
| 11. 要介護者との人間関係                   |          |               |
| 12. 親族等との人間関係                    |          |               |
| 13. 介護サービス事業者との人間関係              |          | 14. 自分自身の健康問題 |
| 15. 時間が自由にならないこと                 |          | 16. 費用負担      |
| 17. 相談先がわからないこと                  |          | 18. 先が見通せないこと |
| 19. その他( )                       |          |               |

ご家族様用 調査票

問 9-5 支援や介護をすることで、あなたの生活にどのような影響がありますか。  
(当てはまる番号すべてに○)

- 
1. 自分自身の趣味や楽しみをやめたり回数をへらしたりした
  2. 家事をする時間が少なくなった
  3. 働き方を変えた(短時間勤務やパート、アルバイトにした)
  4. 転職した
  5. 常勤の仕事をやめた
  6. パート、アルバイトをやめた
  7. 影響はない
  8. その他( )
- 

問 9-6 あなたは、今後も支援や介護を続けることができると思えますか。  
(当てはまる番号 1つに○)

1. できると思う
2. できるが長くは続けられないと思う
3. できないと思う
4. わからない



ご家族様用 調査票

問 10 あなたからみて、あて名の方の状況について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。「はい」を選んだ方は、コロナ禍前後での行動の変化についてお答えください（令和2年2月以前のことを思い返しながらかお答えください）。（選択肢1～24についてそれぞれ当てはまる番号1つに○）

質問項目	は い					
	と と も 増 え た	や や 増 え た	変 わ ら な い	や や 減 つ た	と と も 減 つ た	い い え
1. バスや電車で1人で外出する	1	2	3	4	5	6
2. 日用品の買い物をする	1	2	3	4	5	6
3. 預貯金の出し入れをする	1	2	3	4	5	6
4. 友人の家を訪ねる	1	2	3	4	5	6
5. 家族や友人の相談にのる	1	2	3	4	5	6
6. 階段を手すりや壁をつたわずに昇る	1	2	3	4	5	6
7. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる	1	2	3	4	5	6
8. 15分くらい続けて歩く	1	2	3	4	5	6
9. この1年間に転んだ経験	1	2	3	4	5	6
10. 転倒に対する不安は大きいですか	1	2	3	4	5	6
11. 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少			1			6
12. 固いものが食べにくい	1	2	3	4	5	6
13. お茶や汁物等でむせる	1	2	3	4	5	6
14. 口の渇きが気になる	1	2	3	4	5	6
15. コロナ禍以前と比べた外出の回数	1	2	3	4	5	6
16. コロナ禍以前と比べた医療機関の受診回数	1	2	3	4	5	-
17. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる	1	2	3	4	5	6
18. 自分で電話番号を調べて、電話をかける	1	2	3	4	5	6
19. 今日が何月何日かわからない時がある	1	2	3	4	5	6
20. 毎日の生活に充実感がない	1	2	3	4	5	6
21. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない	1	2	3	4	5	6
22. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1	2	3	4	5	6
23. 自分が役に立つ人間だと思えない	1	2	3	4	5	6
24. わけもなく疲れたような感じがする	1	2	3	4	5	6

ご家族様用 調査票

問 11 介護保険制度全般について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

- ◆ アンケートはこれで終了です。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。  
回答済の「あて名の方用」調査票と一緒に同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**9月30日（金）**までに投函してください。



## 「健康長寿やまなし」に関する実態調査

### < 調査ご協力のお願い >

県では、高齢者が元気でいきいきと活躍する『健康長寿やまなし』を推進しております。  
このたび、本県の健康長寿の要因や特徴などを明らかにするため、3年前に実施した同様の調査にご協力いただいた方を対象に調査を実施いたします。  
皆様からいただいた回答は、今後、県や市町村が行う高齢者福祉施策の参考とさせていただきます。皆様からいただいた回答は、今後、県や市町村が行う高齢者福祉施策の参考とさせていただきます。

この調査票は、令和元年度の調査にご協力いただいた皆様にお送りしております。  
そのため、既にお亡くなりになられた方やご不在の方へ郵送されてしまう場合があります。  
その場合の回答は不要となりますので、何卒ご容赦賜りますようお願い申し上げます。

令和4年9月 山梨県 福祉保健部 健康長寿推進課

ご回答いただいた本調査票は、回答済のご家族様用調査票と一緒に、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**9月30日（金）までに**投函してください。ご家族様用の調査票を記入する方がいない場合は、「あて名の方用」調査票のみ投函してください。

本調査についてご不明な点などございましたら、下記までご連絡ください。

#### < お問い合わせ先 >

山梨県 福祉保健部 健康長寿推進課 地域包括ケア推進担当  
TEL : 055-223-1453 Mail : chouju@pref.yamanashi.lg.jp



### ご記入にあたってのお願い

- この調査は、封筒のあて名の方にご記入いただく調査票（あて名の方用調査票）と、ご家族（同居・別居問わず）の方にご記入いただく調査票（ご家族様用調査票）があります。

\*あて名の方への調査票について  
あて名の方がご記入できない場合、ご家族様等があて名の方の意向をお聞きしながら、ご回答ください。

- 本調査票には、当てはまる番号に○印をつけていただく設問と、具体的な内容を記述していただく設問があります。設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンではっきりとご記入ください。  
〔回答の目安：約10～15分〕

### 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

#### 【個人情報の保護および活用目的について】

この調査は、記名式で行い、本県の健康長寿の要因や特徴などを明らかにし、県及び市町村が行う高齢者福祉施策の参考にするために行うものであり、当該目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、山梨県個人情報保護条例に基づき、適切に管理いたします。

なお、今後、お住まいの市町村から貴殿の要介護度等介護保険に関するデータを取得し、本調査で得られた情報と関連付け分析を行うことにより、県及び市町村が行う施策立案に活用することがあります。また、分析にあたっては、山梨大学及び山梨県立大学、山梨総合研究所のご協力をいただき、個人情報を保護したうえで、成果を論文等で発表する場合がありますのでご了承ください。

◆ご記入されているのはどなたですか。(当てはまる番号 1つに○)

1. あて名の方ご本人
2. ご家族様 (あて名の方からみた続柄: \_\_\_\_\_ )
3. その他 ( \_\_\_\_\_ )

**あて名の方について**

問1 あなたの年齢をご記入ください。(□内に数字をご記入ください)

\_\_\_\_\_ 歳 (アンケート記入日の年齢を記入して下さい)

問2 あなたの性別をお答えください。(当てはまる番号 1つに○)

1. 男性
2. 女性

問3 あなたのお住まいの市町村をご記入ください。(□内に市町村名をご記入ください)

\_\_\_\_\_ 市・町・村

問4 あなたは山梨県で生まれ育ちましたか。(当てはまる番号 1つに○)

1. はい
2. いいえ

問4-1 あなたの山梨県での居住年数をお答えください。(当てはまる番号 1つに○)

1. 5年未満
2. 5~10年未満
3. 10~20年未満
4. 20~30年未満
5. 30年以上

問5 あなたの現在の家族構成をお答えください。(当てはまる番号 1つに○)

\*同居には同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含めます。

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳未満)
4. 親(親世帯)と同居
5. 子(子世帯)と同居
6. 3世代同居
7. 施設に入所している
8. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問6 あなたは日中誰かと一緒に過ごしていますか。(主に当てはまる番号 1つに○)

1. ほとんど1人で過ごす
2. 半日程度1人で過ごす
3. ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族)
4. ほとんど誰かと一緒に過ごす(家族以外)
5. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問7 あなたが頼りにする親族(子、親、兄弟姉妹、親戚等)の方はいますか。

(当てはまる番号 1つに○)

1. はい
2. いいえ

問8へお進みください

問7で「1.はい」と回答した方におうかがいします。

問7-1 その方の住んでいる場所までの所要時間をお答えください。(当てはまる番号 1つに○)

\*複数人いる場合は、最も頼りにしている方1人についてお答えください。

1. 一緒に住んでいる(同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含めます)
  2. 徒歩5分程度の場所に住んでいる
  3. 片道15分未満の場所に住んでいる
  4. 片道30分未満の場所に住んでいる
  5. 片道1時間未満の場所に住んでいる
  6. 片道1時間以上の場所に住んでいる
- 注:「3」~「6」は普段行き来している交通手段(徒歩も含む)によるものとします。乗り換え時間等も所要時間を含めます。

問8 あなたが普段利用している主な移動手段をお答えください。(当てはまる番号 3つまで○)

1. 自分で運転する車
2. 家族が運転する車
3. 近所の人・友人が運転する車
4. 公共交通機関(バス・電車)
5. タクシー
6. 徒歩
7. 自転車・バイク
8. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問9 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(当てはまる番号 1つに○)

1. よい
2. まあよい
3. ぶつう
4. あまりよくない
5. よくない

問10 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

(当てはまる番号 1つに○)

1. ある
2. ない

問11へお進みください

問10で「1.ある」と回答した方におうかがいします。

問10-1 それはどのようなことに影響がありますか。(当てはまる番号 すべてに○)

1. 日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など)
2. 外出(時間や作業量などが制限される)
3. 仕事、家事、家業(時間や作業量などが制限される)
4. 運動(スポーツを含む)
5. その他 ( \_\_\_\_\_ )





問 15 で「1」～「4」と回答した方におうかがいします。

問 15-1 日常生活の助けを受けている頻度についてお答え下さい。  
 (当てはまる番号すべてに○) \*家事:買い物・掃除・ごみ出し等を含めご回答ください。

例

	内容	ほぼ毎日	週2~3回	週1回	月2~3回	月1回以下	なし
近所の人 内容と頻度	入浴	1	2	3	④	5	6
	排泄	①	2	3	4	5	6
	食事の準備・後始末	1	②	3	4	5	6
	食事介助	④	2	3	4	⑤	6
	家事	1	2	③	4	5	6
		ほぼ毎日	週2~3回	週1回	月2~3回	月1回以下	なし
同居の親族 内容と頻度	入浴	1	2	3	4	5	6
	排泄	1	2	3	4	5	6
	食事の準備・後始末	1	2	3	4	5	6
	食事介助	1	2	3	4	5	6
	家事	1	2	3	4	5	6
		ほぼ毎日	週2~3回	週1回	月2~3回	月1回以下	なし
別居の親族 内容と頻度	入浴	1	2	3	4	5	6
	排泄	1	2	3	4	5	6
	食事の準備・後始末	1	2	3	4	5	6
	食事介助	1	2	3	4	5	6
	家事	1	2	3	4	5	6
		ほぼ毎日	週2~3回	週1回	月2~3回	月1回以下	なし
近所の人 内容と頻度	入浴	1	2	3	4	5	6
	排泄	1	2	3	4	5	6
	食事の準備・後始末	1	2	3	4	5	6
	食事介助	1	2	3	4	5	6
	家事	1	2	3	4	5	6
		ほぼ毎日	週2~3回	週1回	月2~3回	月1回以下	なし
友人 内容と頻度	入浴	1	2	3	4	5	6
	排泄	1	2	3	4	5	6
	食事の準備・後始末	1	2	3	4	5	6
	食事介助	1	2	3	4	5	6
	家事	1	2	3	4	5	6

あて名の方の社会参加・役割について

問 16 あなたの社会参加・役割について、現在の状況と今後の希望の両方についてお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

	現在の状況 現在している項目に○	今後の希望 今後希望する項目に○
1. 収入を伴う仕事(会社勤務、自営業、アルバイト等) 農業の場合は栽培種目をご記入ください ( )	1	1
2. 地域活動の役員などリーダー的な役割 (自治会役員、老人クラブ役員、総代、ボランティア、 サークル活動等)	2	2
3. 地域活動に参加 (老人クラブ、ボランティア、サークル活動等)	3	3
4. 無尽に参加	4	4
5. 家族や親戚が食べる程度の農業	5	5
6. 家族や親族関係の長(まとめ役)	6	6
7. 家族や親族の相談相手	7	7
8. 家事	8	8
9. 孫や小さな子どもの世話	9	9
10. 親族の看護や介護	10	10
11. ペットの世話	11	11
12. その他(具体的に )	12	12
13. 特になし	13	13

問 17 あなたの日頃のご近所づきあいについてお答えください。(当てはまる番号 1つに○)

1. 困ったときは助け合える近所の人がある
2. 近所づきあいはあるが、困ったときに頼るほどではない
3. 挨拶するくらいの関係である
4. ほとんどない

問 18 あなたの日頃の友人づきあいについてお答えください。(当てはまる番号 1つに○)

1. 困ったときは助け合える友人がいる
2. 友人はいるが困ったときに頼るほどではない
3. 友人と付き合いはない

問 19 あなたはどのような集まりがあれば参加してみたいと思いますか。  
(当てはまる番号すべてに○)

- |                  |                                       |           |
|------------------|---------------------------------------|-----------|
| 1. 体操・ジムなど体を動かす場 | 2. ゴルフ                                | 3. ウォーキング |
| 4. 認知症予防の集まり     | 5. 健康麻雀                               | 6. 碁・将棋   |
| 7. 会食            | 8. お茶会 (おしゃべりの場)                      | 9. 料理教室   |
| 10. 栄養教室         | 11. 合唱・演奏                             | 12. 音楽鑑賞  |
| 13. 社交ダンス        | 14. 地域の歴史・文化の学びの場                     | 15. 俳句    |
| 16. 外国語教室        | 17. スマホ・パソコン教室 (フェイスブック・インスタグラム等 SNS) |           |
| 18. 映画鑑賞         | 19. 温泉                                |           |
| 20. その他 ( )      | 21. 何もしたくない                           |           |



問 20 あなたは、現在、どの程度生きがい (喜びや楽しみ) を感じていますか。  
(当てはまる番号 1つに○)

1. 十分感じている
2. 多少感じている
3. あまり感じていない
4. まったく感じていない
5. わからない

問 20-2 へお進みください

問 20で「1」「2」と回答した方におうかがいします。

問 20-1 どのような時に生きがいを感じますか。(当てはまる番号すべてに○)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 仕事に打ち込んでいる時      | 2. 旅行に行っている時         |
| 3. 勉強や教養などに身を入れている時 | 4. 他人から感謝された時        |
| 5. 趣味やスポーツに熱中している時  | 6. 収入があった時           |
| 7. 孫の面倒をみている時       | 8. 若い世代と交流している時      |
| 9. 家族との団らんの時        | 10. 友人や知人と食事、雑談している時 |
| 11. 社会奉仕や地域活動をしている時 | 12. 無尽               |
| 13. その他 ( )         | 14. わからない            |

問 20で「3」「4」と回答した方におうかがいします。

問 20-2 生きがい (喜びや楽しみ) を感じていない理由をご記入ください。(自由記入)



あて名の方の介護保険の利用について

問 21 あなたは介護保険の相談先である地域包括支援センターを知っていますか。  
(当てはまる番号 1つに○)

1. はい                      2. いいえ

問 22 あなたは要介護認定を受けていますか。(当てはまる番号 1つに○)

\*要介護認定:介護保険のサービスを受けるためには、65歳以上の方が市町村(保険者)に申請し、「要介護」または「要支援」の認定を受ける必要があります。

1. 要介護認定を受けていない                      2. 要介護認定を受けている



問 22-5 へお進みください

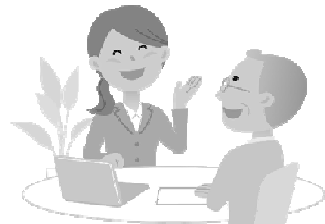
問 22で「1. 要介護認定を受けていない」と回答した方におうかがいします。

問 22-1 あなたが要介護認定を受けていない理由をお答えください。(特に当てはまる番号 3つに○)

- 1. 健康だから必要ない
- 2. 健康には不安はあるが、介護保険を利用するほどではない
- 3. 医療機関を受診しているから心配はない
- 4. 要介護認定を受けたいが、相談先が分からない
- 5. 相談したが申請には至らなかった
- 6. 申請したが非該当(自立)だった
- 7. 家族や親族の助けがある
- 8. 近所の人の助けがある
- 9. 友人の助けがある
- 10. 費用が心配
- 11. 他人の世話になりたくない
- 12. 世間体が悪い
- 13. 介護保険のことは分からない
- 14. 受けたいサービスがない(受けたいサービス: )
- 15. その他( )

問 22-2 あなたに専門家による介護サービスが必要となった場合、要介護認定の申請を行いますか。(当てはまる番号 1つに○)

1. する                      2. しない                      3. 分からない



問 22-3 あなたに介護が必要となった場合、希望する暮らし方はどのようなものですか。  
(当てはまる番号 1つに○)

- 1. 今、住んでいる家に暮らし続けたい
- 2. 別居している子どもなど親族と同居したい
- 3. 特別養護老人ホームなど高齢者施設で暮らしたい
- 4. サービス付高齢者住宅など高齢者向けの集合住宅で暮らしたい
- 5. その他( )

問 22-4 あなたに介護が必要になった場合に、希望する介護サービスはどのようなものですか。  
(当てはまる番号 すべてに○)

- 1. 訪問介護(自宅にホームヘルパーが訪問し、食事・排泄などの介護や生活の援助をしてくれるサービス)
- 2. デイサービス(通所介護:施設に通い、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを受けるサービス)
- 3. ショートステイ(短期入所サービス)
- 4. 特別養護老人ホームなど施設入所
- 5. その他( )

問 22で「2. 要介護認定を受けている」と回答した方におうかがいします。

問 22-5 3年前から現在までの、あなたの要介護度をお答えください。  
(当てはまる番号 1つに○) \*介護保険被保険者証をご確認ください。

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	分からない・認定を受けていない
記入例	1	2	3	4	5	6	7	8
現在	1	2	3	4	5	6	7	/
1年前	1	2	3	4	5	6	7	
2年前	1	2	3	4	5	6	7	
3年前	1	2	3	4	5	6	7	

問 22-6 要介護認定はどなたから勧められましたか。(当てはまる番号 1つに○)

- 1. 自分から
- 2. 同居の親族
- 3. 別居の親族
- 4. 医師や医療機関
- 5. 近所の人
- 6. 友人
- 7. 民生委員
- 8. 市役所や役場の職員(地域包括支援センターを含む)
- 9. その他( )

あて名の方用 調査票

問 22-7 どのようなきっかけから要介護認定の相談をしましたか。

(特に当てはまる番号 3 つまで○) \*「家事」:食事の準備・後始末、買い物、掃除、ごみ出し等

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 65 歳になった         | 2. 体の衰えを感じた      |
| 3. 家事 (*注) が大変になった  | 4. 入浴が大変になった     |
| 5. 排泄が大変になった        | 6. もの忘れが心配になった   |
| 7. 日中一人で過ごすのが不安になった | 8. 話し相手がほしくなった   |
| 9. お金の管理が心配になった     | 10. 服薬が心配になった    |
| 11. 外出するのに送迎が必要になった | 12. 家族の負担を軽減するため |
| 13. その他 ( )         |                  |

問 22-8 現在、利用している介護サービスをお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 訪問介護 (自宅にホームヘルパーが訪問し、食事・排泄などの介護や生活の援助をしてくれるサービス) |
| 2. デイサービス (通所介護:施設に通い日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを受けるサービス)   |
| 3. ショートステイ (短期入所サービス)                               |
| 4. 特別養護老人ホームなど施設入所                                  |
| 5. その他 ( )  |

問 23 へ

2～5のみ○をつけた方は問 22-9 へお進みください。

問 22-9 訪問介護を利用しない理由をお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1. 必要がないから             | 2. サービスがあることを知らないから |
| 3. 利用したいが事業所がないから      | 4. 家族がデイサービスを勧めるから  |
| 5. いろいろな人に会いたいから       | 6. 身体の状態に合わないから     |
| 7. 他人が自宅に入ることに抵抗があるか   |                     |
| 8. 訪問介護の人が来る前の準備が大変だから |                     |
| 9. 費用がかかるから            | 10. その他 ( )         |

問 23 介護保険制度全般について、ご意見があればご記入ください。(自由記入)

あて名の方用 調査票

問 24 あなたの現在の状況について、あてはまるものに○をつけてください。「はい」を選んだ方は、コロナ禍前後での行動の変化についてお答えください (令和 2 年 2 月以前のことを思い返しながらかお答えください)。

(選択肢 1～25 についてそれぞれ当てはまる番号 1 つに○)

質問項目	はい					
	とても増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	とても減った	いえ
1. バスや電車で 1 人で外出する	1	2	3	4	5	6
2. 日用品の買い物をする	1	2	3	4	5	6
3. 預貯金の出し入れをする	1	2	3	4	5	6
4. 友人の家を訪ねる	1	2	3	4	5	6
5. 家族や友人の相談にのる	1	2	3	4	5	6
6. 階段を手すりや壁をつたわずに昇る	1	2	3	4	5	6
7. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる	1	2	3	4	5	6
8. 15 分くらい続けて歩く	1	2	3	4	5	6
9. この 1 年間に転んだ経験	1	2	3	4	5	6
10. 転倒に対する不安	1	2	3	4	5	6
11. 6 ヶ月間で 2～3 kg 以上の体重減少	1		6			
12. 身長・体重	身長: _____ cm		体重: _____ kg			
13. 固いものが食べにくい	1	2	3	4	5	6
14. お茶や汁物等でむせる	1	2	3	4	5	6
15. 口の渇きが気になる	1	2	3	4	5	6

あて名の方用 調査票

質問項目	は い					い い え
	と と も 増 え た	や や 増 え た	変 わ ら な い	や や 減 っ た	と と も 減 っ た	
16. コロナ禍以前と比べた外出の回数	1	2	3	4	5	6
17. コロナ禍以前と比べた医療機関の受診回数	1	2	3	4	5	
18. 周りの人から「いつも同じことを聞く」など物忘れがあるといわれる	1	2	3	4	5	6
19. 自分で電話番号を調べて、電話をかける	1	2	3	4	5	6
20. 今日が何月何日かわからない時がある	1	2	3	4	5	6
21. 毎日の生活に充実感がない	1	2	3	4	5	6
22. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない	1	2	3	4	5	6
23. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1	2	3	4	5	6
24. 自分が役に立つ人間だと思えない	1	2	3	4	5	6
25. わけもなく疲れたような感じがする	1	2	3	4	5	6

◆調査は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

回答済みの「ご家族様用調査票」と一緒に返信用封筒に入れて、

**9月30日（金）までに投函してください。**

※切手は必要ありません





「健康長寿やまなし」に関する実態調査(追跡調査)  
調査結果報告書

令和5年3月

山梨県福祉保健部健康長寿推進課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内 1-6-1  
電話 055-223-1453